

令和2年度
「まちづくりアンケート調査」
報告書

令和2年9月

市長直轄総合政策課

目次

I. 調査の概要	2
1. 調査の目的	3
2. 調査設計	3
3. 報告書の見方	3
II. 回答者の属性	4
1. あなたご自身について	5
III. 調査分析結果	34
2. 市情報の入手方法などについて	35
3. 買物場所や交通関係などについて	59
4. 住み心地について	74
5. 市民活動や地域活動等について	89
6. 防災について	101
7. 健康について	116
8. 新型コロナウイルス感染症について	146

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本業務は、①「伊達市第2次総合計画後期基本計画（令和元～令和4年度）」に掲げる施策に対する市民の意識を把握すること、②「第2期伊達な地域創生戦略」に掲げる数値目標の推移を確認すること、③今後の市の施策展開に資する情報を収集すること、を目的に実施しました。

2. 調査設計

- A) 調査対象地域 伊達市全域
- B) 調査対象 令和2年6月1日現在で市内に居住する満16歳以上の者
- C) 調査数 2,000人
- D) 抽出方法 住民基本台帳から単純無作為抽出
- E) 調査方法 郵送による配布・郵送回収
- F) 調査期間 令和2年7月14日（火）～7月27日（月）
- G) 回収結果

項目	調査
サンプル数	2,000
有効回収サンプル数	744
有効回収率	37.2%

3. 報告書の見方

- A) 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単純回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100%にならない場合があります。
- B) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は、選択肢ごとの有効回答数に対してそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%・サンプル数を超えることがあります。
- C) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- D) 本文中の質問の選択肢等について、長い文は簡略化しているところがあります。
- E) クロス表の数値が低い部分については、グラフを見やすくするために表現を省略していることがあります。

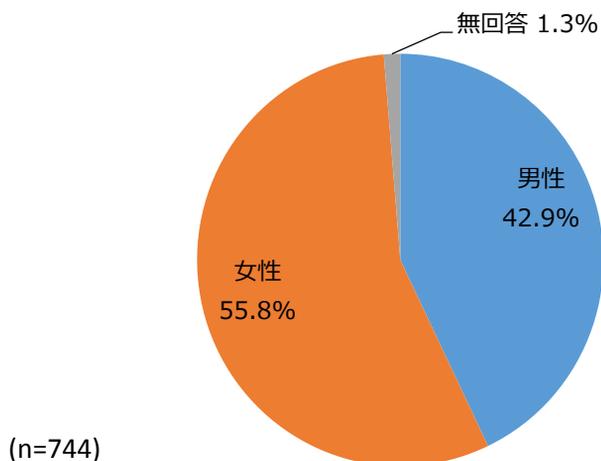
II. 回答者の属性

回答者の性別

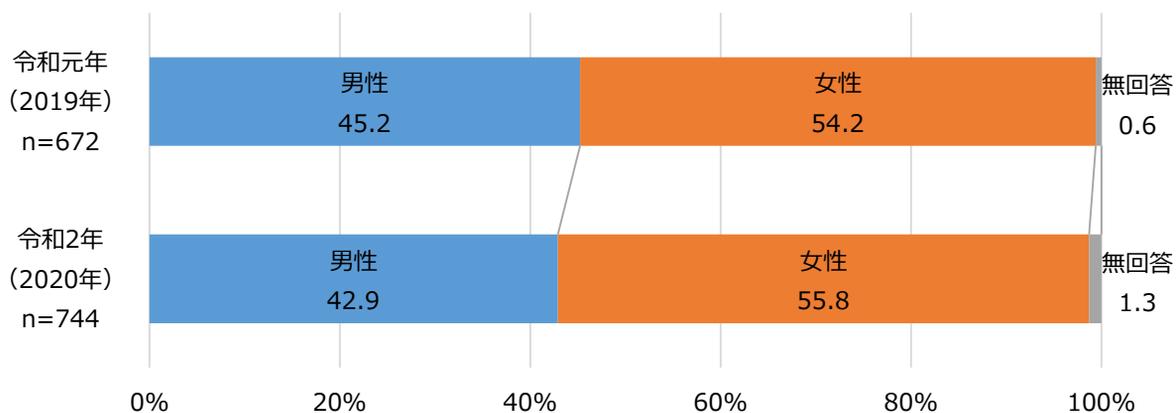
問1 あなたの性別を教えてください。【1つだけ選択】

- 回答者の性別は「男性」が42.9%、「女性」が55.8%であり、女性が男性を12.9ポイント上回っています。
- 前年調査との比較では、今回も女性の回答者数が上回り、男女比の差はやや拡大しました。

回答者の性別



前年調査との比較

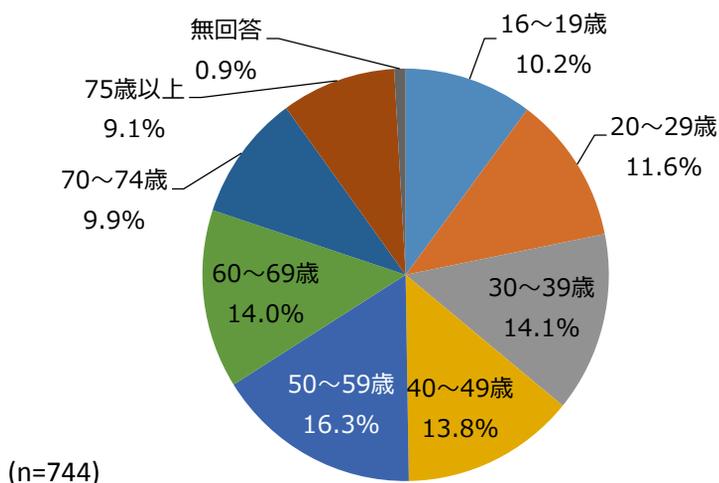


回答者の年齢

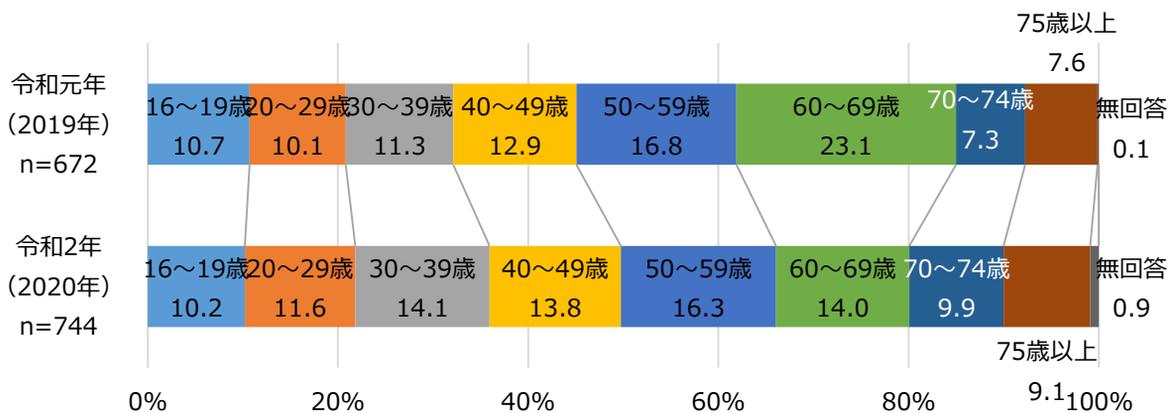
問2 あなたの年齢は次のどれですか。【1つだけ選択】

- 回答者の年齢は「50～59歳」が16.3%で最も多く、次いで「30～39歳」が14.1%、「60～69歳」が14.0%と続き、50歳未満と50歳以上で約半々となっています。
- 前年調査と比較すると、60～69歳の構成比が小さくなり、前年よりも年代の偏りが小さくなっています。

回答者の年齢



前年調査との比較



回答者の居住地

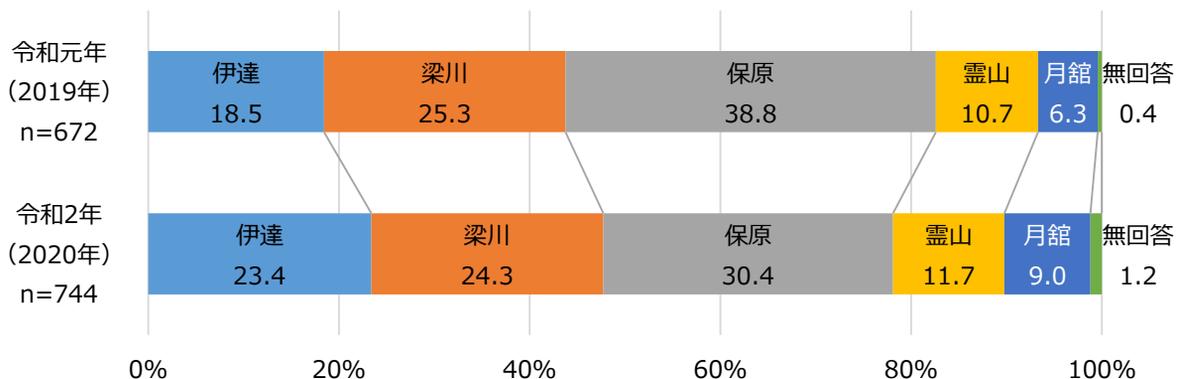
問3 あなたが住んでいる地区(大字)はどちらですか。【1つだけ選択】

- 回答者の居住地（大字区分）をみると、「伊達」が17.5%で最も多く、次いで「保原」が16.7%、「梁川」が13.0%と続いています。
- 地域別にみると、保原地域が30.4%で最も多く、次いで梁川地域が24.3%、伊達地域が23.4%と続いています。前年調査との比較では伊達地域の割合の高まりが目立っています。

回答者の居住地（大字区分）

	居住地区	構成比 (%)		居住地区	構成比 (%)
1	伊達	17.5	15	柱沢（柱田、所沢）	2.2
2	保原	16.7	16	富成（富沢、高成田）	2.0
3	梁川	13.0	17	小国（下小国、上小国）	1.5
4	上保原（上保原、大柳）	5.9	18	東大枝	1.2
5	掛田（掛田、山野川）	5.2	19	富野（八幡、舟生）	1.1
6	大田（大泉、金原田、二井田、大立目）	3.6		五十沢	1.1
7	粟野（粟野、二野袋、向川原、柳田）	3.5		糠田	1.1
8	月館	3.4	22	山舟生	0.8
9	伏黒	3.2		下手渡	0.8
10	堰本（大関、新田、細谷）	3.1	24	白根	0.5
11	御代田	3.0	25	布川	0.4
12	箱崎	2.7		上手渡	0.4
	霊山（大石、中川、泉原）	2.7	-	無回答	1.2
14	石戸（山戸田、石田）	2.3	(n=744)		

前年調査との比較（5地域区分）



性別、年齢、居住地域のクロス集計

- 回答者の居住地域を性別で見ると、すべての地域で「女性」の割合が「男性」を上回り、特に保原地域は「女性」が61.1%で6割を超えています。
- 回答者の居住地域を年代別で見ると、割合が20%を超えたのは月舘地域の「60～69歳」の20.9%のみで、各年代が相応の構成比となっています。伊達地域と保原地域では50歳未満の割合が5割を超えています。

居住地域×性別

		n=	男性	女性	無回答
全体		(744)	42.9	55.8	
居住地域	伊達	(174)	42.0	57.5	
	梁川	(181)	49.2	50.8	
	保原	(226)	38.5	61.1	
	霊山	(87)	48.3	51.7	
	月舘	(67)	41.8	56.7	1.5
	無回答	(9)	22.2	77.8	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

居住地域×年代

		n=	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全体		(744)	10.2	11.6	14.1	13.8	16.3	14.0	9.9	9.1	
居住地域	伊達	(174)	14.4	10.9	13.8	14.4	18.4	11.5	8.6	8.0	
	梁川	(181)	6.6	14.9	12.7	13.3	13.3	17.1	10.5	11.6	
	保原	(226)	10.2	9.7	18.6	15.0	18.1	11.1	9.7	7.5	
	霊山	(87)	11.5	11.5	11.5	11.5	17.2	16.1	9.2	11.5	
	月舘	(67)	7.5	11.9	9.0	13.4	13.4	20.9	14.9	9.0	
	無回答	(9)	11.1	11.1							77.8

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

性別×年代

		n=	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全体		(744)	10.2	11.6	14.1	13.8	16.3	14.0	9.9	9.1	
性別	男性	(319)	8.2	10.0	12.9	16.3	16.6	15.0	10.0	11.0	
	女性	(415)	11.8	13.0	15.4	12.3	16.1	13.5	10.1	7.7	
	無回答	(10)	10.0	10.0	10.0						70.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

性別、年齢、居住地域のクロス集計

- 回答者の年代を性別で見ると、男性の割合が上回ったのは「40～49歳」「75歳以上」のみで、他の年代はすべて女性の割合が高くなっています。
- 10代から30代にかけては、女性の割合が6割を超えています。

年代×性別

		n=	男性	女性	無回答
全体	(744)		42.9	55.8	1.3
16～19歳	(76)		34.2	64.5	1.3
20～29歳	(86)		37.2	62.8	
30～39歳	(105)		39.0	61.0	
40～49歳	(103)		50.5	49.5	
50～59歳	(121)		43.8	55.4	
60～69歳	(104)		46.2	53.8	
70～74歳	(74)		43.2	56.8	
75歳以上	(68)		51.5	47.1	1.5
無回答	(7)		100.0		

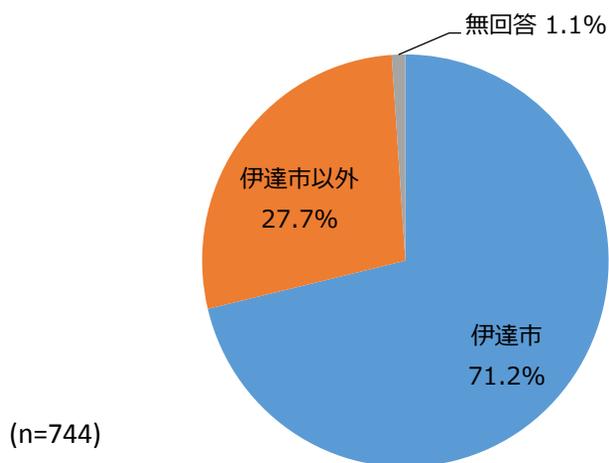
1%未満のデータは非表示 (%)

回答者の出身地

問4 あなたの出身地(生まれ育った場所)をお答えください。【1つだけ選択】

- 出身地をみると、「伊達市（旧伊達町・梁川町・保原町・霊山町・月舘町を含む）」が71.2%と7割を超え、「伊達市以外」が27.7%となっています。
- 前年調査との比較では「伊達市以外」の割合が5.8ポイント増加しています。

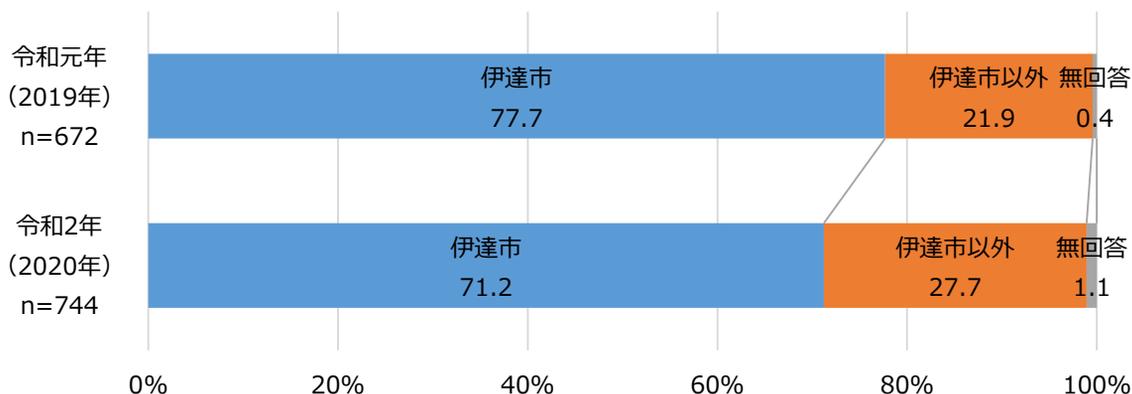
回答者の出身地



伊達市以外の内訳

		(人)
福島県内	福島市	68
	川俣町	14
	桑折町	13
	国見町	12
	郡山市	6
	その他県内	35
計		148
福島県外	宮城県	8
	山形県	8
	東京都	5
	新潟県	4
	神奈川県	4
	その他県外	25
計		54
無回答		4
合計		206

前年調査との比較



回答者の出身地（性別、年代別）

問4 あなたの出身地（生まれ育った場所）をお答えください。【1つだけ選択】

性別

- 出身地を性別で見ると、「伊達市」と回答したのは男性が79.6%に対し女性は66.0%と、13.6ポイントの差がみられます。これは、伊達市外の女性が結婚により伊達市内に移り住むケースが多いためと考えられます。

		n=	伊達市	伊達市以外	無回答
全体		(744)	71.2	27.7	1.1
性別	男性	(319)	79.6	20.4	
	女性	(415)	66.0	33.7	
	無回答	(10)	20.0	10.0	70.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、「伊達市」の割合は10代と20代、75歳以上で高く、30代から60代にかけては60%台となっています。「70～74歳」は59.5%と唯一60%を下回りました。

		n=	伊達市	伊達市以外	無回答
全体		(744)	71.2	27.7	
年代	16～19歳	(76)	94.7	5.3	
	20～29歳	(86)	82.6	17.4	
	30～39歳	(105)	66.7	33.3	
	40～49歳	(103)	68.9	31.1	
	50～59歳	(121)	66.9	33.1	
	60～69歳	(104)	65.4	34.6	
	70～74歳	(74)	59.5	40.5	
	75歳以上	(68)	77.9	20.6	1.5
	無回答	(7)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の出身地（居住地地域別、子どもの有無別）

問4 あなたの出身地（生まれ育った場所）をお答えください。【1つだけ選択】

居住地地域別

- 居住地地域別で見ると、「伊達市」は梁川・霊山地域で80%を超えています。一方、伊達地域は「伊達市」出身が61.5%と最も低く、伊達市以外からの転入者が多い傾向がみられません。

		n=	伊達市	伊達市以外	無回答
全体		(744)	71.2	27.7	1.1
居住地地域	伊達	(174)	61.5	38.5	
	梁川	(181)	80.7	19.3	
	保原	(226)	67.7	31.9	
	霊山	(87)	83.9	16.1	
	月舘	(67)	74.6	25.4	
	無回答	(9)	11.1	11.1	77.8

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、子どもがいる人については「伊達市以外」の割合が35.8%と3割を超えています。一方、子どもがいない人は若年層が多く含まれることもあり、「伊達市」の割合が84.8%と8割を超えています。

		n=	伊達市	伊達市以外	無回答
全体		(744)	71.2	27.7	1.1
子どもの有無	子どもはいる	(455)	64.0	35.8	
	子どもはいない	(276)	84.8	15.2	
	無回答	(13)	38.5	7.7	53.8

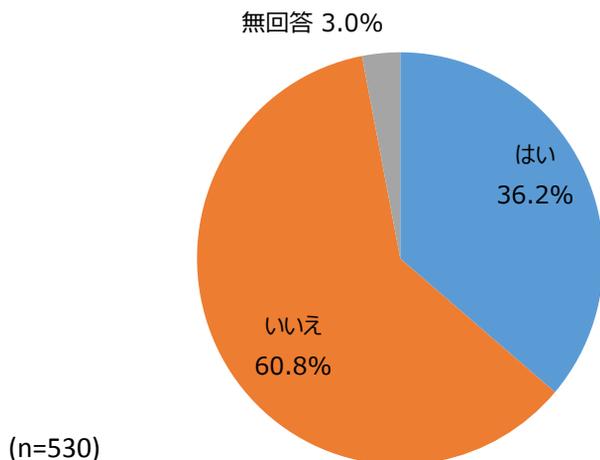
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

伊達市以外の居住経験（伊達市出身者）

問5 現在住んでいる場所以前に伊達市外に住んでいたことはありますか。【1つだけ選択】【出身地が伊達市の人】

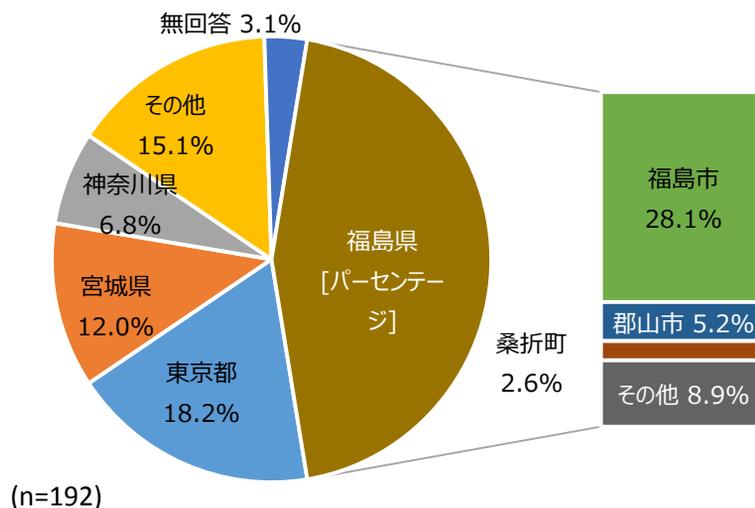
伊達市外の居住経験（伊達市出身者）

- 伊達市出身者のうち、以前「伊達市外」に住んだことがある人の割合は36.2%と3分の1を超えています。



伊達市外の居住地域（伊達市出身者）

- 伊達市外で以前住んだことがある地域は「福島県」が44.8%を占め、このうち「福島市」が28.1%で最も多く、「郡山市」が5.2%、「桑折町」が2.6%などとなっています。他県では「東京都」が18.2%で最も多く、「宮城県」が12.0%、「神奈川県」が6.8%と続いています。



伊達市以外の居住経験（伊達市出身者）

問5 現在住んでいる場所以前に伊達市外に住んでいたことはありますか。【1つだけ選択】【出身地が伊達市の人】

性別

- 伊達市外の居住経験を性別で見ると、男性が37.0%、女性が35.4%と、男性がやや上回っています。

		n=	はい	いいえ	無回答
全体		(530)	36.2	60.8	3.0
性別	男性	(254)	37.0	60.2	2.8
	女性	(274)	35.4	61.3	3.3
	無回答	(2)	50.0	50.0	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、伊達市外の居住経験は、「30～39歳」「50～59歳」では5割を超え、「40～49歳」も4割を超えています。

		n=	はい	いいえ	無回答
全体		(530)	36.2	60.8	3.0
年代	16～19歳	(72)	11.1	87.5	1.4
	20～29歳	(71)	25.4	70.4	4.2
	30～39歳	(70)	52.9	47.1	
	40～49歳	(71)	43.7	52.1	4.2
	50～59歳	(81)	58.0	40.7	1.2
	60～69歳	(68)	36.8	58.8	4.4
	70～74歳	(44)	31.8	65.9	2.3
	75歳以上	(53)	22.6	69.8	7.5
	無回答	(0)			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

伊達市以外の居住経験（伊達市出身者）

問5 現在住んでいる場所以前に伊達市外に住んでいたことはありますか。【1つだけ選択】【出身地が伊達市の人】

居住地域別

- 居住地域別でみると、月舘・伊達地域で伊達市外の居住経験が4割を超え、最も低い霊山地域でも31.5%と3割を超えています。

		n=	はい	いいえ	無回答
全体		(530)	36.2	60.8	3.0
居住地域	伊達	(107)	43.0	56.1	
	梁川	(146)	34.9	61.6	3.4
	保原	(153)	32.7	62.1	5.2
	霊山	(73)	31.5	65.8	2.7
	月舘	(50)	44.0	56.0	
	無回答	(1)		100.0	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいる人の伊達市外の居住経験は45.7%で、子どもがいない人の24.8%を20.9ポイント上回っています。

		n=	はい	いいえ	無回答
全体		(530)	36.2	60.8	3.0
子どもの有無	子どもがいる	(291)	45.7	50.9	3.4
	子どもはいない	(234)	24.8	72.6	2.6
	無回答	(5)			0.0

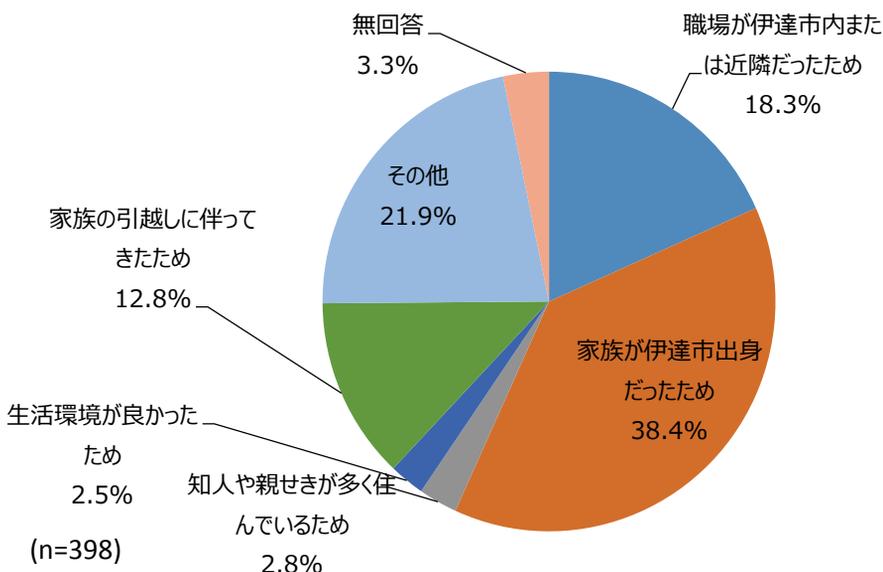
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（伊達市へ転入したきっかけ）

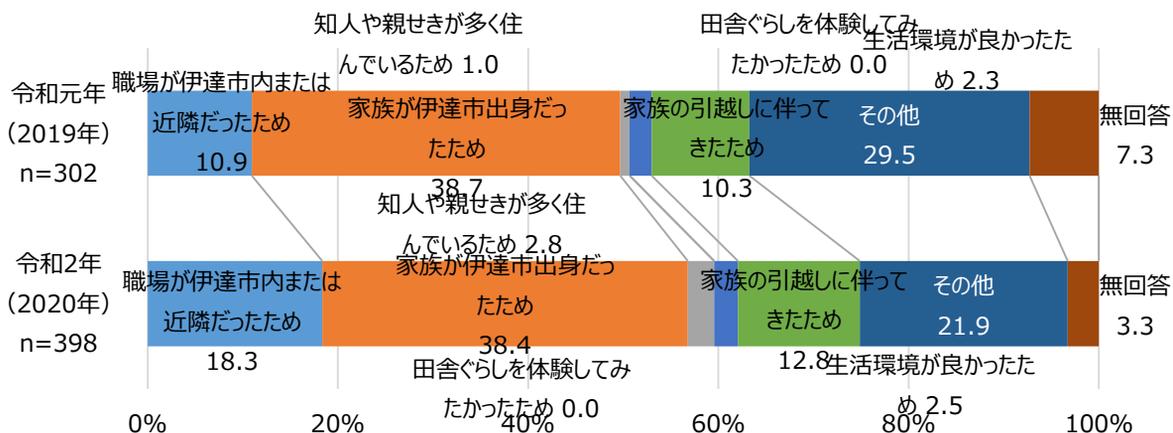
問6 あなたが伊達市へ転入されたきっかけ、または理由をお答えください。【1つだけ選択】【出身地が伊達市以外または伊達市出身で伊達市外の居住経験ある人】

伊達市へ転入のきっかけ・理由

- 伊達市へ転入のきっかけ・理由は、「家族が伊達市出身だったため」が38.4%で最も多く、次いで「職場が伊達市内または近隣だったため」が18.3%、「家族の引越しに伴ってきたため」が12.8%となっています。
- 「その他」では、「家を建てたため」「土地が安かったため」などの回答がみられました。
- 前回調査と同様、「家族が伊達市出身だったため」が最多となっています。



前回調査との比較

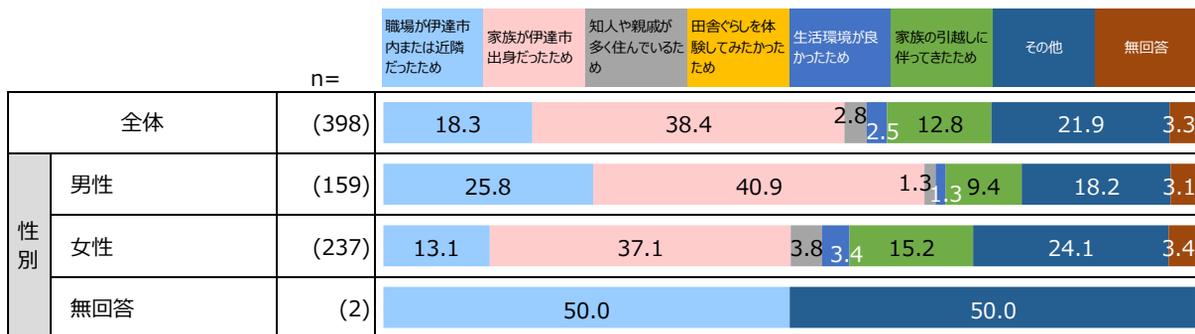


回答者の属性（伊達市へ転入したきっかけ）

問6 あなたが伊達市へ転入されたきっかけ、または理由をお答えください。【1つだけ選択】【出身地が伊達市以外または伊達市出身で伊達市外の居住経験ある人】

性別

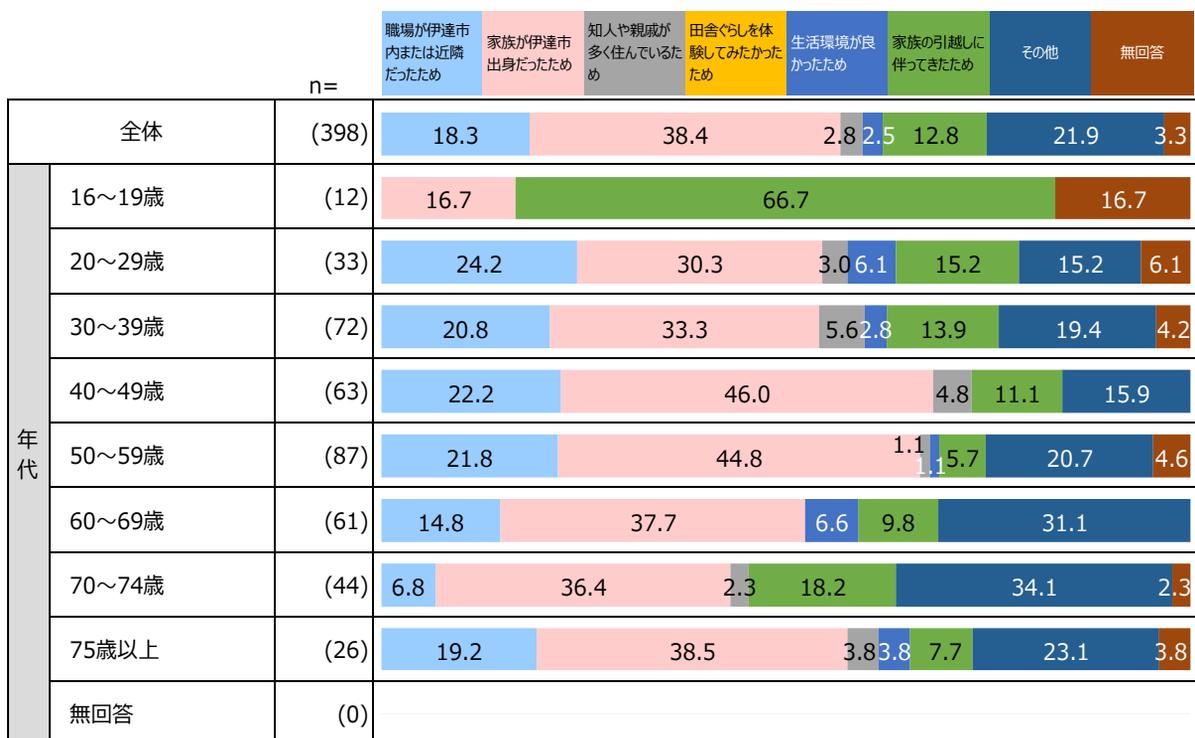
- 伊達市へ転入のきっかけ・理由を性別で見ると、男女ともに「家族が伊達市出身だったため」が最も多い結果となりましたが、男性では「職場が伊達市内または近隣だったため」も25.8%と4分の1に上っています。



1%未満のデータレベルは非表示（%）

年代別

- 年代別で見ると、「家族が伊達市出身だったため」は40～50代で4割を超えているほか、幅広い年代で多くなっています。



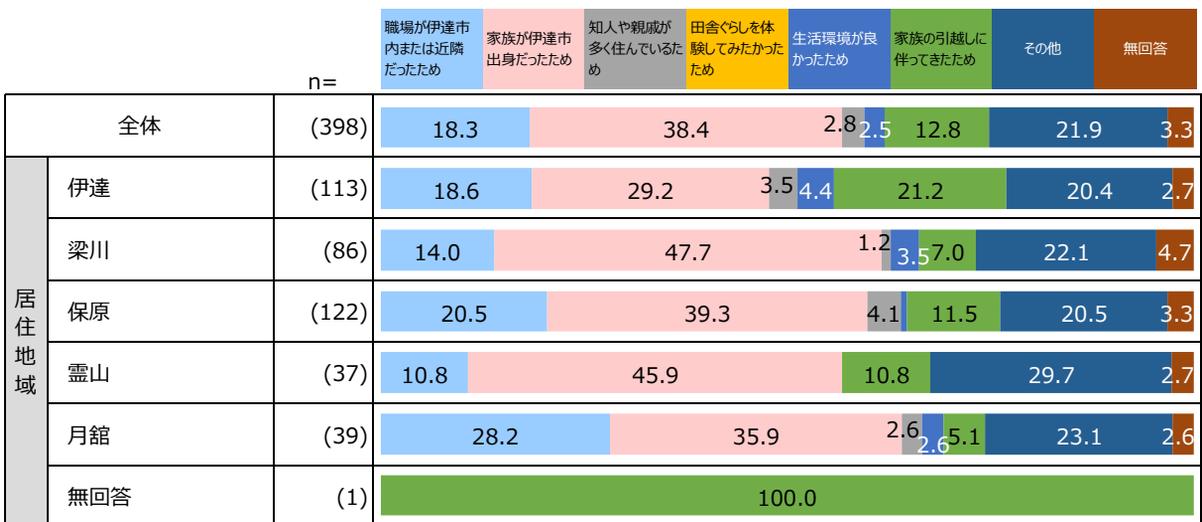
1%未満のデータレベルは非表示（%）

回答者の属性（伊達市へ転入したきっかけ）

問6 あなたが伊達市へ転入されたきっかけ、または理由をお答えください。【1つだけ選択】【出身地が伊達市以外または伊達市出身で伊達市外の居住経験ある人】

居住地域別

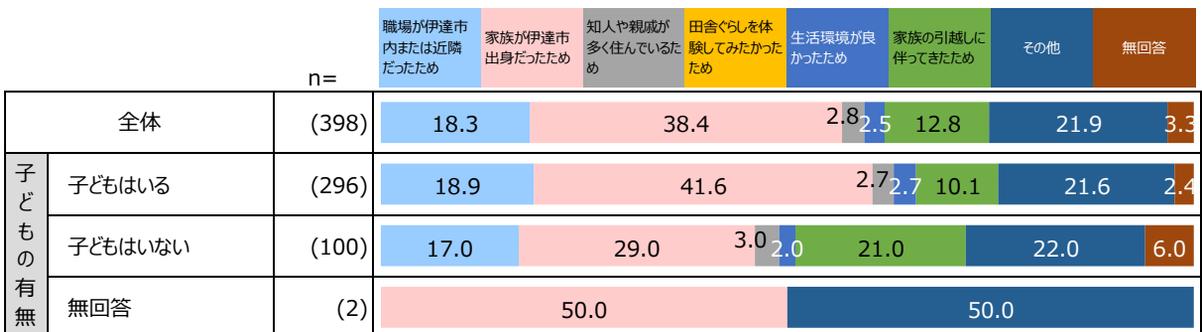
- 居住地域別で見ると、「家族が伊達市出身だったため」は梁川地域で47.7%、霊山地域で45.9%と4割を超える一方、伊達地域では29.2%と3割を下回っています。「職場が伊達市内または近隣だったため」は月舘地域で28.2%に上っています。



1%未満のデータは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、「家族の引越しに伴ってきたため」は若年層が多く含まれる「子どもはいない」人で21.0%で高い結果となっています。



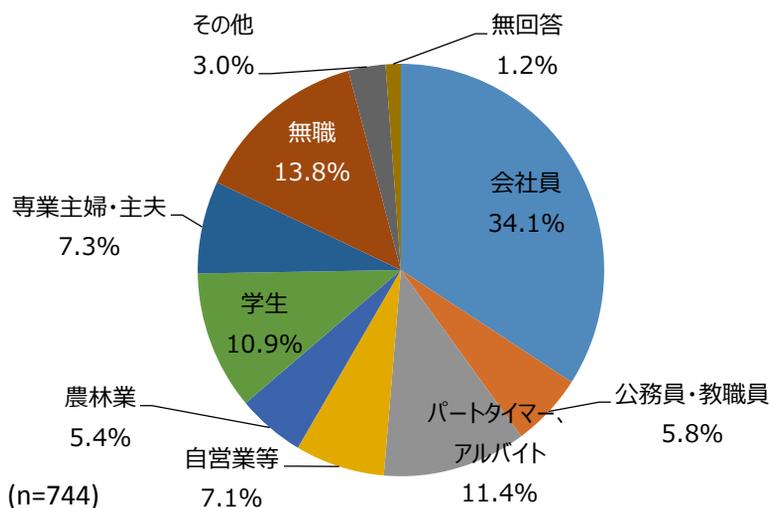
1%未満のデータは非表示（%）

回答者の属性（主な職業）

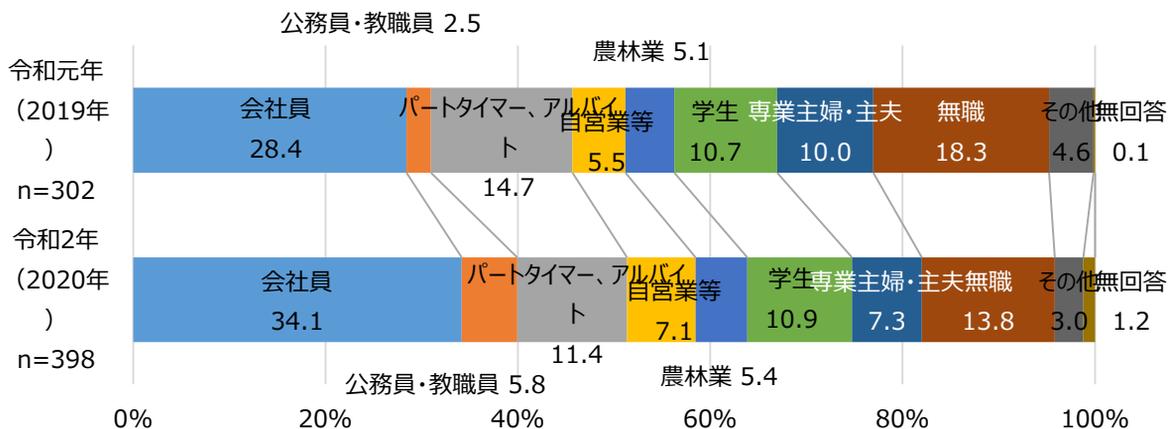
問7 あなたの主な職業は何ですか。【1つだけ選択】

- 主な職業については、「会社員」が34.1%で最も多く、次いで「無職」が13.8%、「パートタイマー、アルバイト」が11.4%、「学生」が10.9%となっています。
- 前年調査と比較すると、「会社員」が最も多いのは前年同様で、何らかの職に就いている人の割合は前年より増加し6割を超えています。

回答者の主な職業



前年調査との比較



回答者の属性（主な職業）

問7 あなたの主な職業は何ですか。【1つだけ選択】

性別

- 回答者の職業を性別で見ると、男女ともに「会社員」が最多となっています。「専業主婦・主夫」は女性が13.0%に対し、男性からの回答はありませんでした。

		n=	会社員	公務員・教職員	パートタイム、アルバイト	自営業等	農林業	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答
全体		(744)	34.1	5.8	11.4	7.1	5.4	10.9	7.3	13.8	3.0	1.2
性別	男性	(319)	43.3	8.8	3.1	8.8	7.5	8.8	16.3	3.1		
	女性	(415)	27.7	3.6	18.1	5.8	3.9	12.5	13.0	12.3	2.9	
	無回答	(10)	10.0	10.0	10.0	70.0						

1%未満のデータラベルは非表示（%）

年代別

- 年代別で見ると、何らかの職に就いている割合は30代～50代で8割以上、学生を含む20代でも7割以上となり、75歳以上の方についても3割を超えています。

		n=	会社員	公務員・教職員	パートタイム、アルバイト	自営業等	農林業	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答	
全体		(744)	34.1	5.8	11.4	7.1	5.4	10.9	7.3	13.8	3.0	1.2	
年代	16～19歳	(76)	6.6					92.1				1.3	
	20～29歳	(86)	58.1				7.0	8.1	12.8	2.3	3.5	7.0	
	30～39歳	(105)	57.1				11.4	10.5	6.7	1.9	1.0	4.8	
	40～49歳	(103)	54.4				7.8	18.4	5.8	2.9	6.8	1.9	
	50～59歳	(121)	43.0				9.1	20.7	9.9	3.3	5.0	5.0	4.1
	60～69歳	(104)	23.1	1.9	17.3	10.6	8.7	15.4		21.2	1.9		
	70～74歳	(74)	5.4	4.1	14.9	13.5	16.2		41.9		1.4		
	75歳以上	(68)	4.4	2.9	7.4	17.6	7.4		54.4		1.5	1.5	
	無回答	(7)	100.0										

1%未満のデータラベルは非表示（%）

回答者の属性（主な職業）

問7 あなたの主な職業は何ですか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域による大きな違いはみられませんが、「農林業」は梁川地域で9.9%、月舘地域で9.0%とやや高くなっています。

		n=	会社員	公務員・教職員	パートタイマー、アルバイト	自営業等	農林業	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答	
全体		(744)	34.1			5.8	11.4	7.1	5.4	10.9	7.3	13.8	3.0
居住地域	伊達	(174)	29.3			8.6	13.8	6.9	3.4	14.4	7.5	15.5	
	梁川	(181)	34.3			5.5	9.4	6.1	9.9	7.7	6.1	16.0	3.9
	保原	(226)	38.5			5.3	11.1	8.0	3.1	11.5	8.4	11.5	2.7
	霊山	(87)	39.1			2.3	11.5	8.0	3.4	12.6	6.9	13.8	2.3
	月舘	(67)	29.9			6.0	11.9	7.5	9.0	6.0	7.5	13.4	9.0
	無回答	(9)		11.1	11.1								77.8

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいない人については約3割が学生であり、職に就いている人の割合は57.6%と、子どもがいる人の68.8%を10ポイント以上下回っています。
- 子どもがいる人は女性の回答者が多いこともあり、「パートタイマー、アルバイト」「専業主婦・主夫」の割合が高くなっています。

		n=	会社員	公務員・教職員	パートタイマー、アルバイト	自営業等	農林業	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答	
全体		(744)	34.1			5.8	11.4	7.1	5.4	10.9	7.3	13.8	3.0
子どもの有無	子どもはいる	(455)	31.9			6.2	14.5	9.2	7.0	10.5		17.6	2.9
	子どもはいない	(276)	39.1			5.4	6.9	3.6	2.5	29.0	1.8	8.0	3.3
	無回答	(13)	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7						61.5

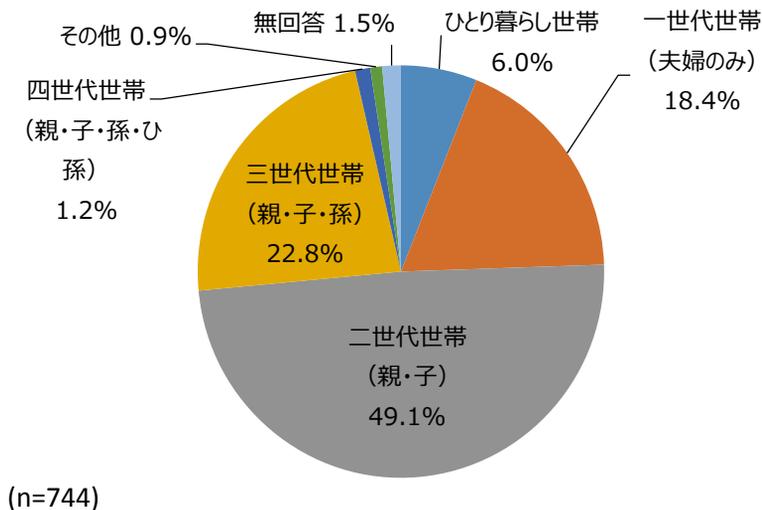
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（家族構成）

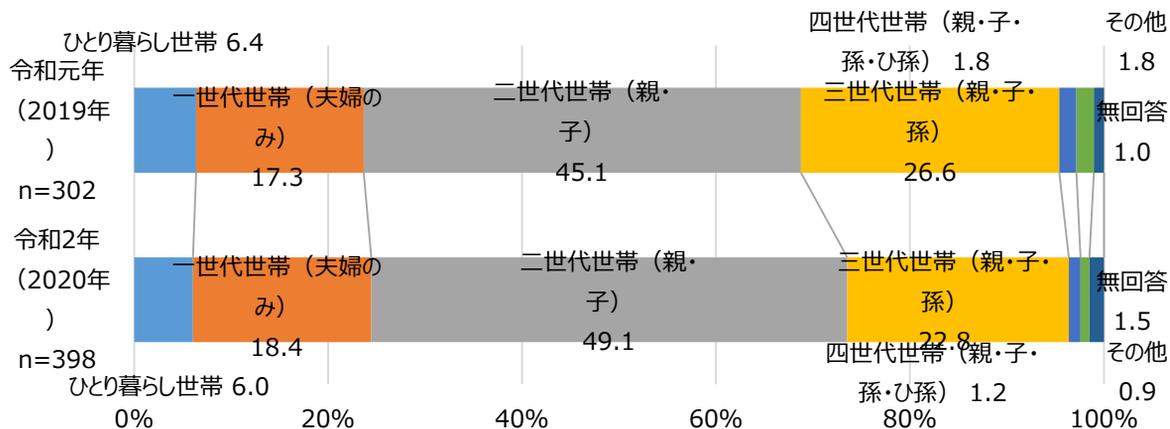
問8 あなたの家族構成を教えてください。【1つだけ選択】

- 回答者の家族構成は、「二世世代世帯（親・子）」が49.1%で最も多く、次いで「三世世代世帯（親・子・孫）」が22.8%、「一世世代世帯（夫婦のみ）」が18.4%、「ひとり暮らし世帯」が6.0%となっています。
- 前年調査との比較では、「二世世代世帯（親・子）」が増加し、「三世世代世帯（親・子・孫）」が減少しています。

回答者の家族構成



前年調査との比較



回答者の属性（家族構成）

問8 あなたの家族構成を教えてください。【1つだけ選択】

性別

- 回答者の家族構成を性別で見ると、男女ともに「二世世代世帯（親・子）」が5割前後と最も多くなり、大きな違いはみられませんでした。

		n=	ひとり暮らし世帯	一世代世帯 (夫婦のみ)	二世世代世帯 (親・子)	三世世代世帯 (親・子・孫)	四世代世帯 (親・子・孫・ひ孫)	その他	無回答
全体		(744)	6.0	18.4	49.1	22.8	1.2	1.5	
性別	男性	(319)	8.2	18.2	48.3	21.6	1.6	1.9	
	女性	(415)	4.6	18.8	50.6	24.1	1.0		
	無回答	(10)	10.0	10.0	10.0	70.0			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、「三世世代世帯（親・子・孫）」は10代～20代では4割を超えています。
- ひとり暮らし世帯は、75歳以上で19.1%と約2割に上っています。

		n=	ひとり暮らし世帯	一世代世帯 (夫婦のみ)	二世世代世帯 (親・子)	三世世代世帯 (親・子・孫)	四世代世帯 (親・子・孫・ひ孫)	その他	無回答
全体		(744)	6.0	18.4	49.1	22.8	1.2	1.5	
年代	16～19歳	(76)			59.2	40.8			
	20～29歳	(86)	2.3	35.8	43.0	43.0	2.3	1.2	
	30～39歳	(105)	2.9	9.5	66.7	17.1	1.9	1.0	
	40～49歳	(103)	1.0	9.7	63.1	22.3	1.9	1.9	
	50～59歳	(121)	6.6	9.1	62.0	20.7			
	60～69歳	(104)	10.6	41.3	33.7	13.5	1.0		
	70～74歳	(74)	9.5	45.9	24.3	16.2	2.7	1.4	
	75歳以上	(68)	19.1	35.3	29.4	14.7	1.5		
	無回答	(7)	100.0						

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（家族構成）

問8 あなたの家族構成を教えてください。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「二世世代世帯（親・子）」はすべての地域で最も多くなっています。
- 「三世世代世帯（親・子・孫）」は月舘地域で32.8%と唯一 3 割を超えています。

		n=	ひとり暮らし世帯	一世代世帯 (夫婦のみ)	二世世代世帯 (親・子)	三世世代世帯 (親・子・孫)	四世代世帯 (親・子・孫・ひ孫)	その他	無回答
全体		(744)	6.0	18.4	49.1	22.8	1.2	1.5	
居住地域	伊達	(174)	7.5	16.1	52.9	20.7	1.1		
	梁川	(181)	5.5	18.2	50.8	21.5	2.8		
	保原	(226)	5.8	19.0	51.3	22.1	1.3		
	霊山	(87)	6.9	20.7	43.7	26.4	1.1	1.1	
	月舘	(67)	4.5	22.4	37.3	32.8	1.5	1.5	
	無回答	(9)		22.2		77.8			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「二世世代世帯（親・子）」は子どもがいない人で54.0%と高く、子どもがいる人との差がみられますが、親子の子にあたる回答者が多かったことが要因と考えられます。

		n=	ひとり暮らし世帯	一世代世帯 (夫婦のみ)	二世世代世帯 (親・子)	三世世代世帯 (親・子・孫)	四世代世帯 (親・子・孫・ひ孫)	その他	無回答
全体		(744)	6.0	18.4	49.1	22.8	1.2	1.5	
子どもの有無	子どもはいる	(455)	4.6	22.6	47.3	22.0	2.0	1.1	
	子どもはいない	(276)	8.0	11.6	54.0	25.4			
	無回答	(13)	15.4	15.4	7.0	61.5			

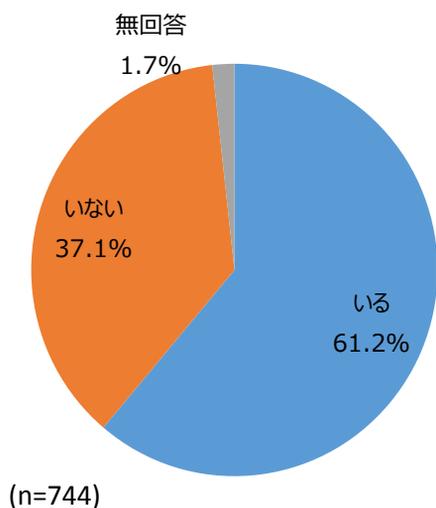
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（子どもの有無）

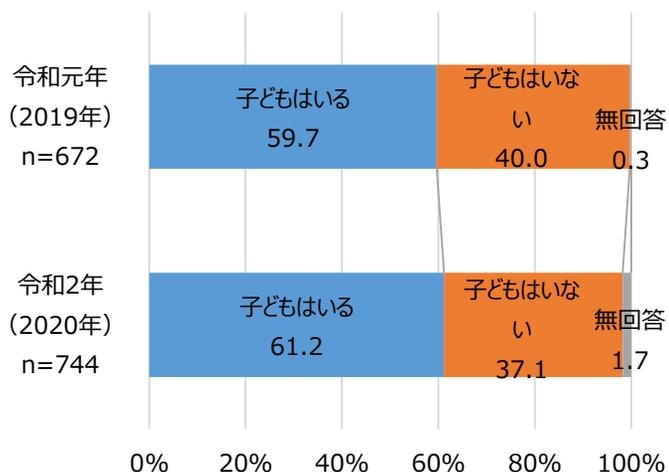
問9 お子さんはいますか。【1つだけ選択】

- 子どもの有無については、「子どもはいる」が61.2%、「子どもはいない」が37.1%となっています。
- 前年調査との比較では、「子どもはいる」がやや増加しました。
- 子どもがいる回答者の子どもの人数は、「2人」が49.5%で最も多く、次いで「3人」が27.0%、「1人」が16.7%となり、4人以上の回答が前年より減少しています。

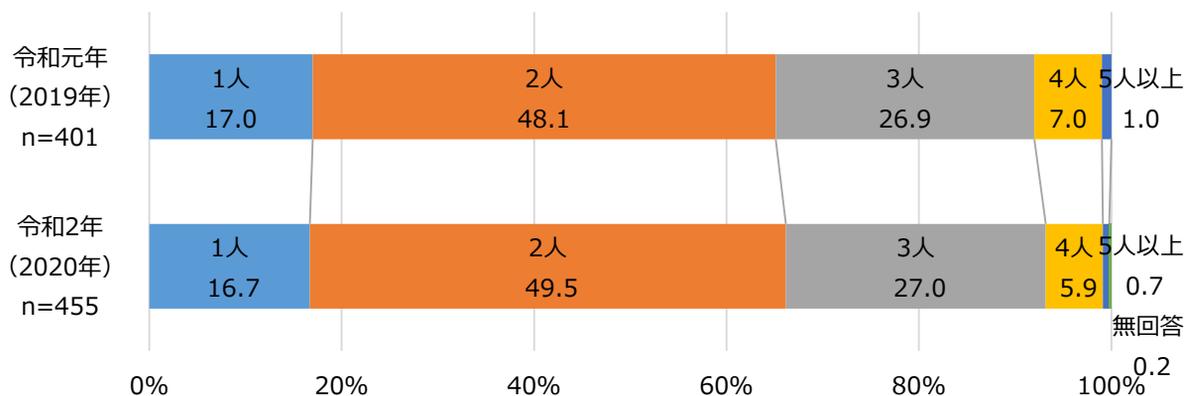
子どもの有無



前年調査との比較



子どもの人数（子どもがいる人のみ回答）

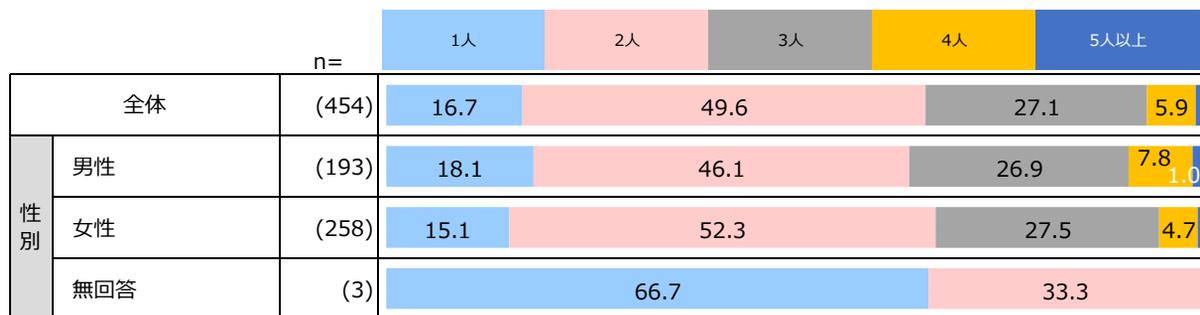


回答者の属性（子どもの人数）

問9 お子さんはいますか。【1つだけ選択】

性別

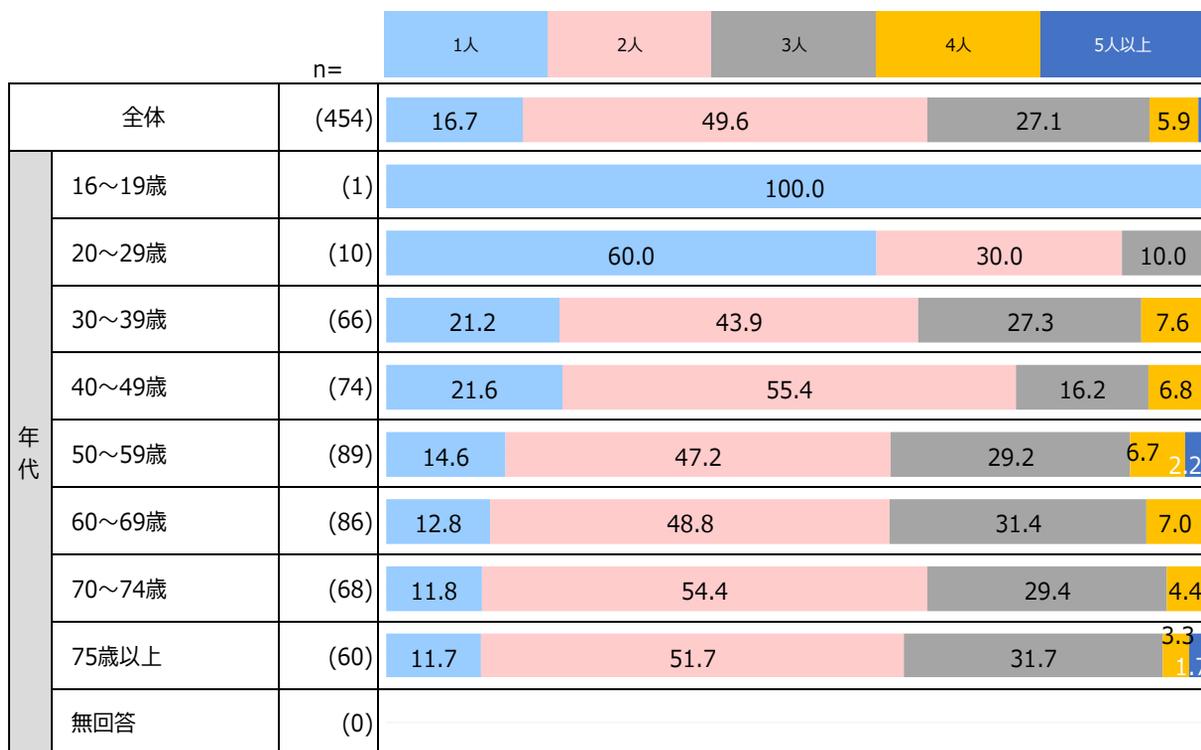
- 子どもの人数は性別による大きな違いはみられませんが、男女ともに「2人」が最も多く、女性では5割を超えています。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、50代以上で3人以上の割合が高い傾向がみられます。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（子どもの人数）

問9 お子さんはいますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、伊達・保原地域では2人以下の割合が7割を超えています。
- 一方、霊山・月舘地域では3人以上の割合が4割を超えています。

		n=	1人	2人	3人	4人	5人以上
全体		(454)	16.7	49.6	27.1	5.9	
居住地域	伊達	(111)	18.0	54.1	21.6	5.4	
	梁川	(112)	14.3	47.3	30.4	7.1	
	保原	(135)	20.0	51.1	23.7	5.2	
	霊山	(51)	13.7	45.1	35.3	5.9	
	月舘	(45)	13.3	44.4	33.3	6.7	2.2
	無回答	(0)					

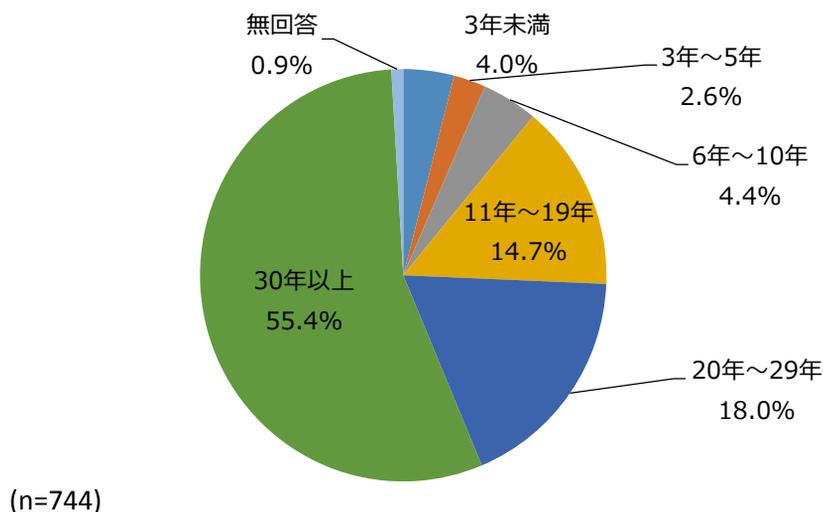
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（伊達市での居住年数）

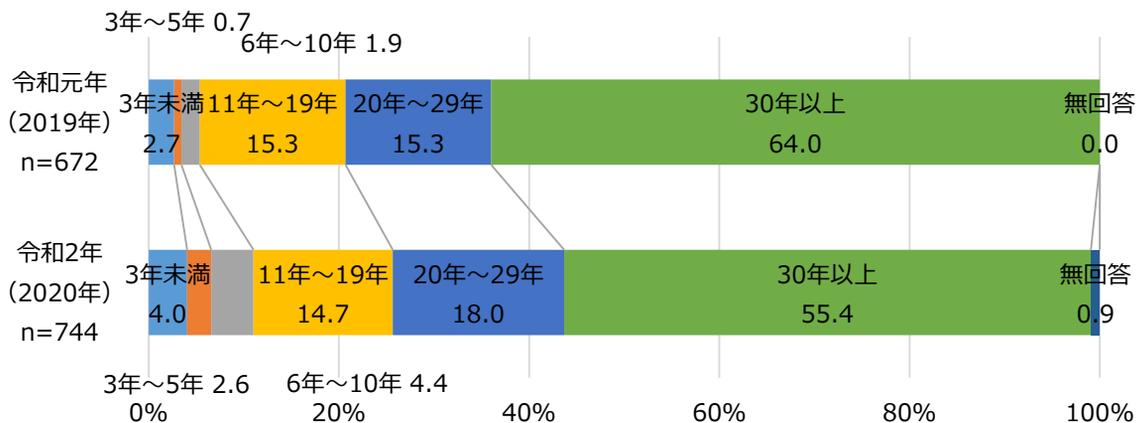
問10 あなたは伊達市に住んで何年になりますか。【1つだけ選択】

- 伊達市での居住年数については、「30年以上」が55.4%で圧倒的に多く、次いで「20～29年」が18.0%、「11～19年」が14.7%となり、10年超の回答が9割近くを占めています。
- 前年調査との比較でみると、10年未満がやや増加しています。

伊達市での居住年数



前年調査との比較



回答者の属性（伊達市での居住年数）

問10 あなたは伊達市に住んで何年になりますか。【1つだけ選択】

性別

- 伊達市での居住年数を性別でみると、「30年以上」は男性が63.9%と、女性の49.9%を上回る一方、「11～19年」「20～29年」では女性がやや上回っています。

		n=	3年未満	3年～5年	6年～10年	11年～19年	20年～29年	30年以上	無回答
	全体	(744)	4.0 2.6	4.4	14.7	18.0		55.4	
性別	男性	(319)	2.8 2.2	5.0	11.6	14.4		63.9	
	女性	(415)	4.8 2.9	4.1	17.1	21.2		49.9	
	無回答	(10)	10.0	10.0	10.0		70.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、年代が上がるほど居住年数も長いのは当然の傾向ですが、70代以上は「30年以上」が9割を超えています。

		n=	3年未満	3年～5年	6年～10年	11年～19年	20年～29年	30年以上	無回答
	全体	(744)	4.0 2.6	4.4	14.7	18.0		55.4	
年代	16～19歳	(76)	1.3 1.3					97.4	
	20～29歳	(86)	10.5	3.5 2.3	4.7		79.1		
	30～39歳	(105)	12.4	9.5	15.2	5.7	11.4	45.7	
	40～49歳	(103)	3.9 3.9	8.7	14.6	8.7		60.2	
	50～59歳	(121)	2.5 4.1	4.1	25.6		62.8		
	60～69歳	(104)	1.9	11.5			85.6		
	70～74歳	(74)	1.4				98.6		
	75歳以上	(68)	2.9 2.9				94.1		
	無回答	(7)					100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（伊達市での居住年数）

問10 あなたは伊達市に住んで何年になりますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 伊達地域は「30年以上」が46.0%と唯一5割を下回り、「11～19年」「20～29年」の合計が40.8%とやや多い結果となりました。

		n=	3年未満	3年～5年	6年～10年	11年～19年	20年～29年	30年以上	無回答
全体		(744)	4.0 2.6	4.4	14.7	18.0	55.4		
居住地域	伊達	(174)	4.0 2.9	6.3	19.5	21.3	46.0		
	梁川	(181)	2.2 4.4	2.2	9.4	19.9	61.9		
	保原	(226)	6.6	2.2 5.8	17.3	14.2	54.0		
	霊山	(87)	4.6	14.9		16.1	64.4		
	月舘	(67)	4.5 1.5	1.5	7.5	22.4	62.7		
	無回答	(9)	11.1		11.1	77.8			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子供がいる人はいない人に比べ年代が上がる傾向にあるため、「30年以上」が68.6%と7割近くに上っています。一方、子供がいない人は6割以上が「30年未満」となっています。

		n=	3年未満	3年～5年	6年～10年	11年～19年	20年～29年	30年以上	無回答
全体		(744)	4.0 2.6	4.4	14.7	18.0	55.4		
子どもの有無	子どもはいる	(455)	2.4 2.9	5.5	6.6	14.1	68.6		
	子どもはいない	(276)	6.9 2.2	2.9	28.6	25.0	34.4		
	無回答	(13)	7.7		38.5		53.8		

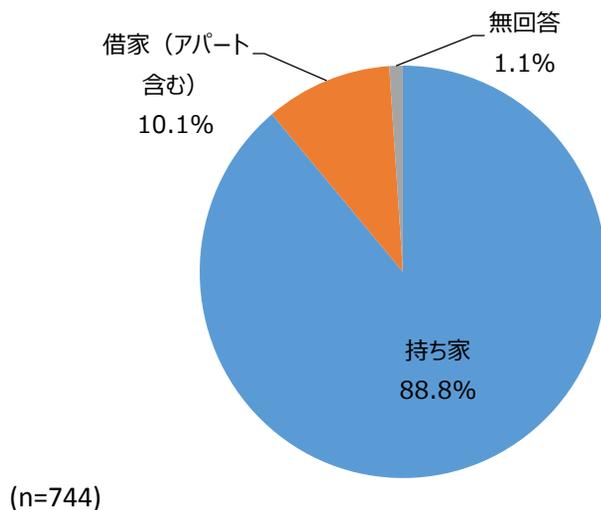
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（住まいの状況）

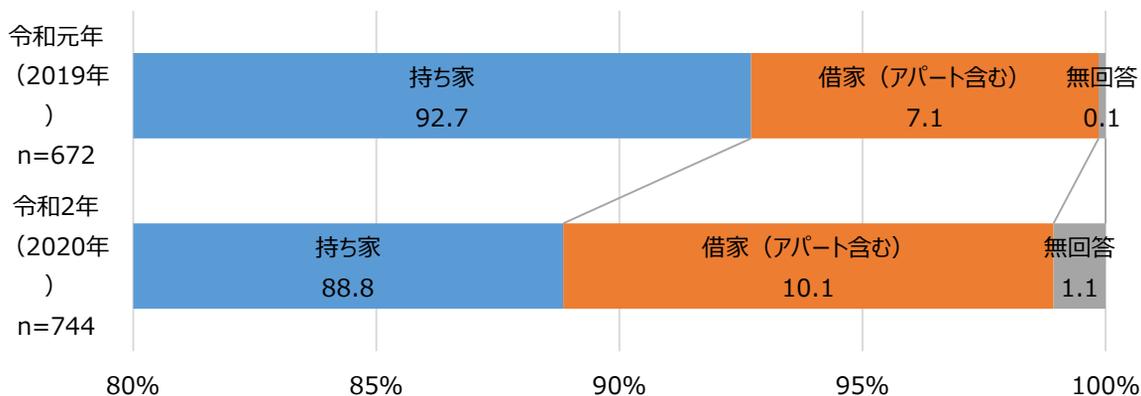
問11 お住まいの状況を教えてください。【1つだけ選択】

- 住まいの状況については、「持ち家」が88.8%と9割近くを占めています。
- 前年調査と比較すると、「借家（アパート含む）」が10.1%でやや増加しています。

住まいの状況



前年調査との比較



回答者の属性（住まいの状況）

問11 お住まいの状況を教えてください。【1つだけ選択】

性別

- お住まいの状況を性別で見ると、「持ち家」と回答したのは男女ともに9割前後を占め、大きな違いはみられません。

		n=	持ち家	借家（アパート含む）	無回答
全体		(744)	88.8	10.1	1.1
性別	男性	(319)	90.9	8.8	
	女性	(415)	88.9	11.1	
	無回答	(10)	20.0	10.0	70.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、「持ち家」は40代以上で9割を超えています。一方、「30～39歳」では「借家（アパート含む）」が21.9%と2割を超えています。

		n=	持ち家	借家（アパート含む）	無回答
全体		(744)	88.8	10.1	1.1
年代	16～19歳	(76)	89.5	10.5	
	20～29歳	(86)	86.0	14.0	
	30～39歳	(105)	77.1	21.9	1.0
	40～49歳	(103)	91.3	8.7	
	50～59歳	(121)	90.9	9.1	
	60～69歳	(104)	94.2	5.8	
	70～74歳	(74)	94.6	5.4	
	75歳以上	(68)	97.1	2.9	
	無回答	(7)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

回答者の属性（住まいの状況）

問11 お住まいの状況を教えてください。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別では、全体的に大きな違いはみられませんが、保原地域では「借家（アパート含む）」が15.9%と唯一1割を超えています。

		n=	持ち家	借家（アパート含む）	無回答
全体		(744)	88.8	10.1	1.1
居住地域	伊達	(174)	92.5	7.5	
	梁川	(181)	90.1	9.9	
	保原	(226)	84.1	15.9	
	霊山	(87)	94.3	5.7	
	月舘	(67)	94.0	4.5	1.5
	無回答	(9)	22.2	77.8	

1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「持ち家」の割合は子どもがいる人がやや高く、子どもがいない人では「借家（アパート含む）」が12.3%と1割を超えています。

		n=	持ち家	借家（アパート含む）	無回答
全体		(744)	88.8	10.1	1.1
子どもの有無	子どもはいる	(455)	91.0	8.8	
	子どもはいない	(276)	87.7	12.3	
	無回答	(13)	7.7	53.8	

1%未満のデータレベルは非表示（%）

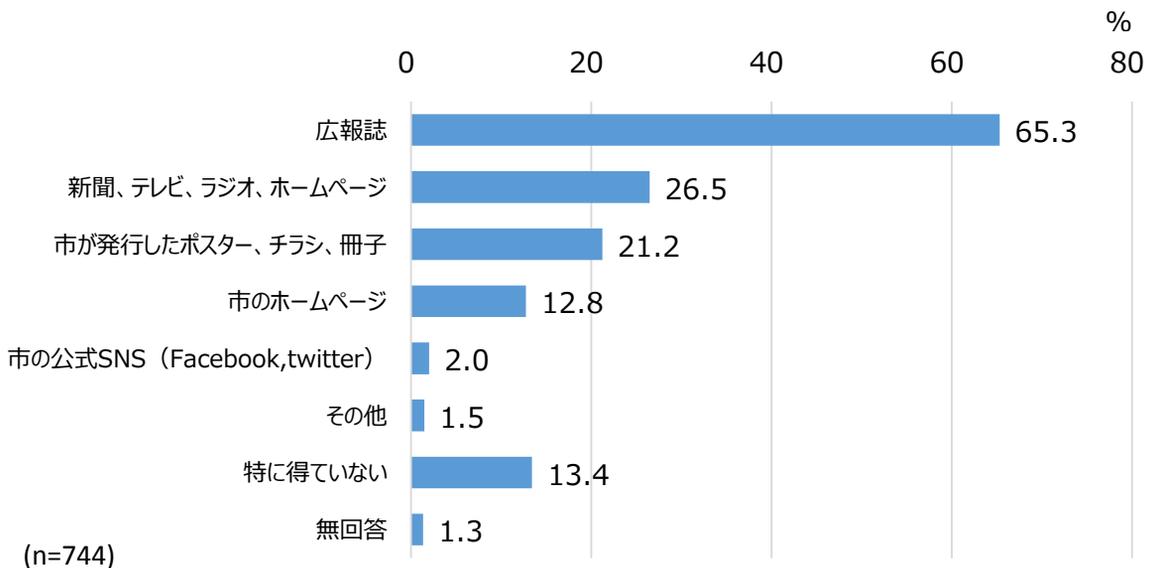
III. 調查分析結果

2. 市情報の入手方法など（市に関する情報源）

問12 あなたは市の情報（事業や行事、お知らせなど）を何から得ていますか。【2つまで選択】

- 伊達市に関する情報を何から得ているかについては、「広報誌」が65.3%で最も多く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、Webサイト」が26.5%、「市が発行したポスター、チラシ、冊子」が21.2%、「市のホームページ」が12.8%と続いています。
- 一方、「特に得ていない」は13.4%でした。

伊達市に関する情報源



2. 市情報の入手方法など（市に関する情報源）

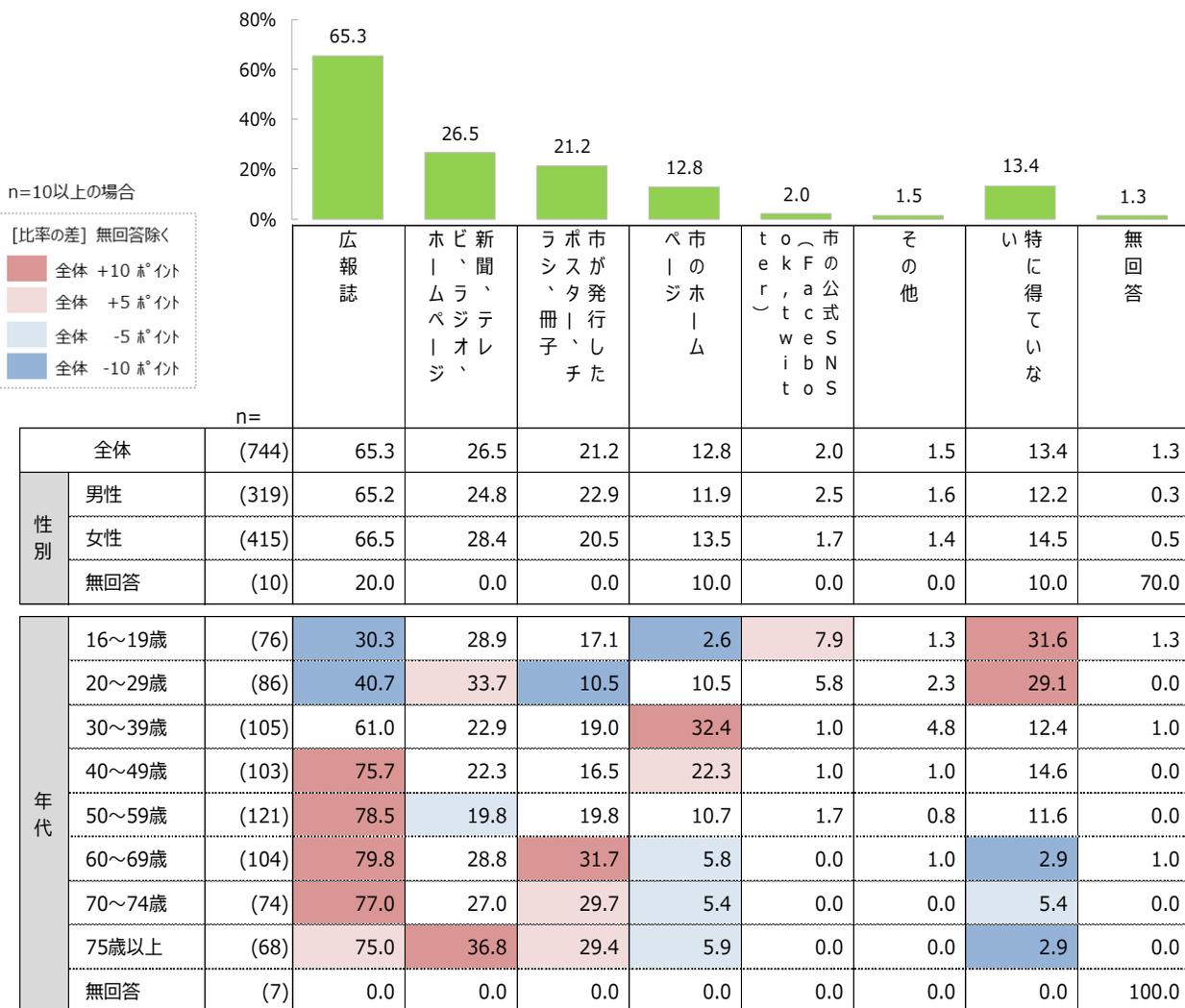
問12 あなたは市の情報（事業や行事、お知らせなど）を何から得ていますか。【2つまで選択】

性別

- 伊達市に関する情報を何から得ているかについて性別でみると、男女ともに「広報誌」が圧倒的に多く、性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別

- 年代別にみると、最も多い「広報誌」では40代以上で7割を超え、20代以下と30ポイント以上の差がみられ、年代による違いが顕著となっています。「特に得ていない」は低い年代で高くなる傾向にあります。



2. 市情報の入手方法など（市に関する情報源）

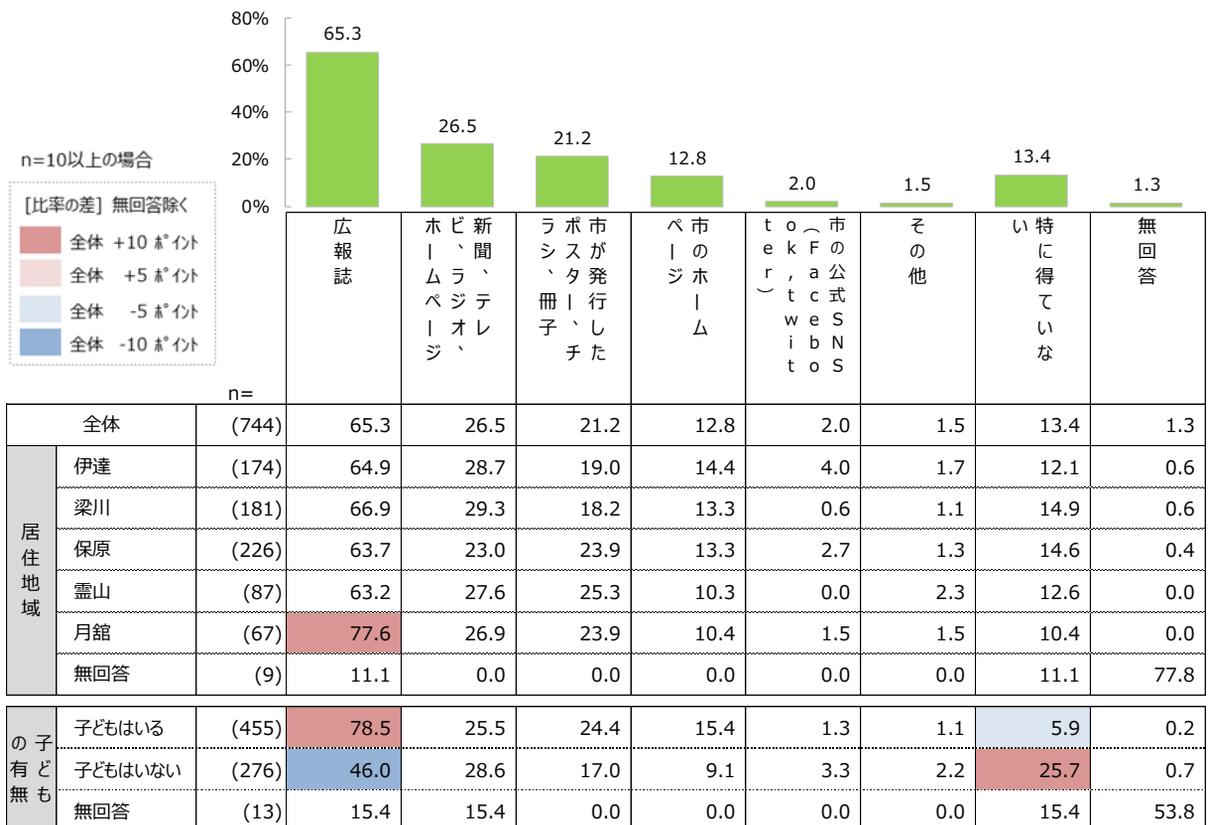
問12 あなたは市の情報（事業や行事、お知らせなど）を何から得ていますか。【2つまで選択】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、月舘地域では「広報誌」の回答割合が高くなりました。

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、「広報誌」は子どもがいる人では78.5%と高く、子どもに関する情報などで広く活用されていることが窺えますが、子どもがいない人では46.0%と大きな開きがあります。
- 子どもがいない人については「特に得ていない」が25.7%に上っています。



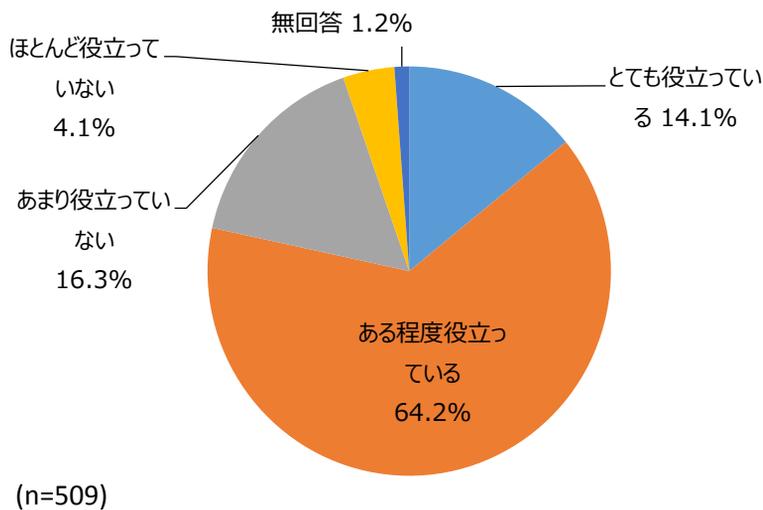
(%)

2. 市情報の入手方法など（市に関する情報源の役立ち度）

問13 市の広報誌やホームページに掲載している情報は、あなたの日頃の生活に役立っていますか。【1つだけ選択】【問12で「1」または「2」と回答した方】

- 広報誌やホームページに掲載している情報については、「とても役立っている」が14.1%、「ある程度役立っている」が64.2%で、役立っているとの回答が約8割に上っています。
- 「あまり役立っていない」は16.3%、「ほとんど役立っていない」は4.1%となりました。

市に関する情報源の役立ち度



2. 市情報の入手方法など（市に関する情報源の役立ち度）

問13 市の広報誌やホームページに掲載している情報は、あなたの日頃の生活に役立っていますか。【1つだけ選択】【問12で「1」または「2」と回答した方】

性別

- 市に関する情報源の役立ち度について、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	ほとんど役立っていない	無回答
全体		(509)	14.1	64.2	16.3	4.1	1.2
性別	男性	(219)	15.5	63.0	16.0	4.6	
	女性	(288)	13.2	64.9	16.7	3.8	1.4
	無回答	(2)		100.0			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、年代が上がるほど役立っているとの回答が増える傾向がみられます。一方、10代～20代では役立っているとの回答が6割に達しませんでした。

		n=	とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	ほとんど役立っていない	無回答
全体		(509)	14.1	64.2	16.3	4.1	1.2
年代	16～19歳	(24)	12.5	45.8	20.8	16.7	4.2
	20～29歳	(40)	15.0	42.5	35.0	7.5	
	30～39歳	(73)	6.8	72.6	15.1	5.5	
	40～49歳	(80)	15.0	63.8	17.5	3.8	
	50～59歳	(98)	12.2	66.3	18.4	3.1	
	60～69歳	(85)	16.5	64.7	15.3	1.2	2.4
	70～74歳	(57)	14.0	71.9	8.8	3.5	1.8
	75歳以上	(52)	23.1	65.4	5.8	1.9	3.8
	無回答	(0)					

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（市に関する情報源の役立ち度）

問13 市の広報誌やホームページに掲載している情報は、あなたの日頃の生活に役立っていますか。【1つだけ選択】【問12で「1」または「2」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別では、全体的に大きな違いはみられませんでした。梁川地域では「とても役立っている」が20.3%と2割を超えています。

		n=	とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	ほとんど役立っていない	無回答
全体		(509)	14.1	64.2	16.3	4.1	1.2
居住地域	伊達	(116)	9.5	69.8	16.4	2.6	1.7
	梁川	(128)	20.3	57.8	17.2	3.9	
	保原	(153)	13.7	66.7	14.4	4.6	
	霊山	(58)	8.6	69.0	17.2	3.4	1.7
	月舘	(53)	17.0	56.6	17.0	7.5	1.9
	無回答	(1)		100.0			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいる人では役立っているとの回答が8割を超えています。一方、子どもがいない人では役立っていないとの回答が3割に達しています。

		n=	とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	ほとんど役立っていない	無回答
全体		(509)	14.1	64.2	16.3	4.1	1.2
子どもの有無	子どもはいる	(368)	15.2	68.2	13.0	2.4	1.1
	子どもはいない	(139)	11.5	53.2	25.2	8.6	1.4
	無回答	(2)		100.0			

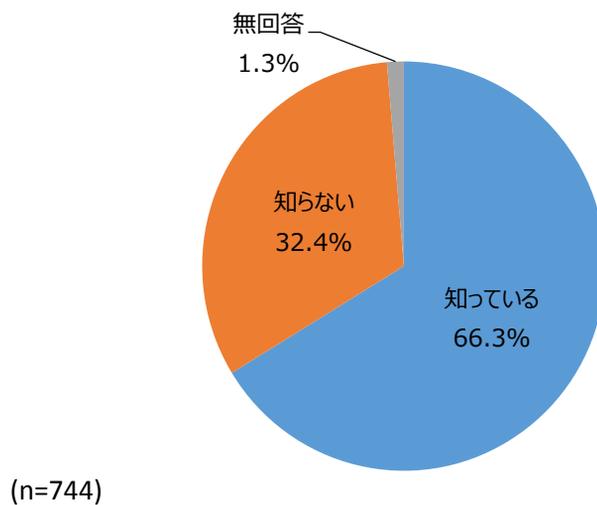
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の取り組み）

問14 あなたは、市長への手紙の取り組みについて知っていますか。【1つだけ選択】

- 市長への手紙への取り組みについては、「知っている」が66.3%、「知らない」が32.4%で、知っている人が約3分の2となった。

市長への手紙の取り組みの認知度



市長への手紙・・・市民の皆さまが市長に対して市が行う事業や制度、管理する施設などに対する意見、要望または提案を専用の手紙で提言できる制度。

2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の取り組み）

問14 あなたは、市長への手紙の取り組みについて知っていますか。【1つだけ選択】

性別

- 市長への手紙の取り組みの認知度について、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	知っている	知らない	無回答
全体		(744)	66.3	32.4	1.3
性別	男性	(319)	64.6	35.4	
	女性	(415)	68.4	29.6	1.9
	無回答	(10)	30.0	50.0	20.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、60代以上では認知度が8割を超えていますが、20代では3割強、10代では2割弱にとどまっています。

		n=	知っている	知らない	無回答
全体		(744)	66.3	32.4	1.3
年代	16～19歳	(76)	18.4	80.3	1.3
	20～29歳	(86)	32.6	66.3	1.2
	30～39歳	(105)	66.7	32.4	1.0
	40～49歳	(103)	68.9	31.1	
	50～59歳	(121)	74.4	25.6	
	60～69歳	(104)	87.5	10.6	1.9
	70～74歳	(74)	89.2	9.5	1.4
	75歳以上	(68)	89.7	7.4	2.9
	無回答	(7)	28.6	42.9	28.6

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の取り組み）

問14 あなたは、市長への手紙の取り組みについて知っていますか。【1つだけ選択】

居住地域別

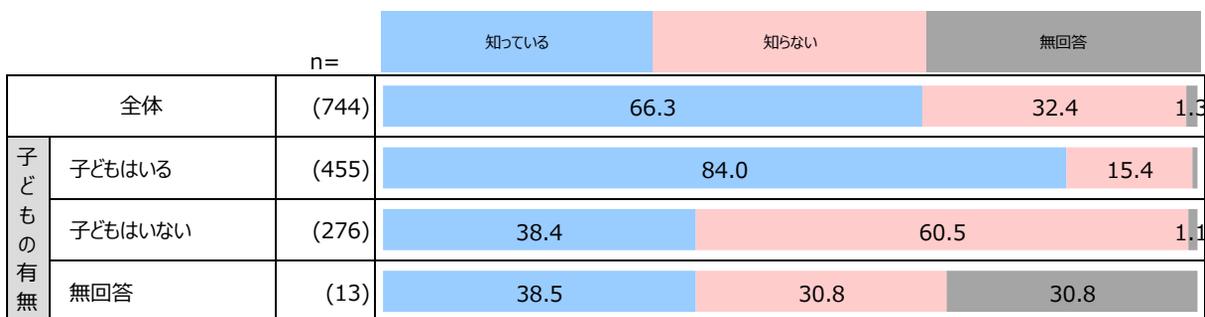
- 居住地域別では、全体的に大きな違いはみられませんが、月舘地域では認知度が唯一7割を超えています。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいる人では「知っている」が84.0%に上っているのに対し、子どもがいない人は38.4%にとどまり、子どもの有無で大きく異なっています。



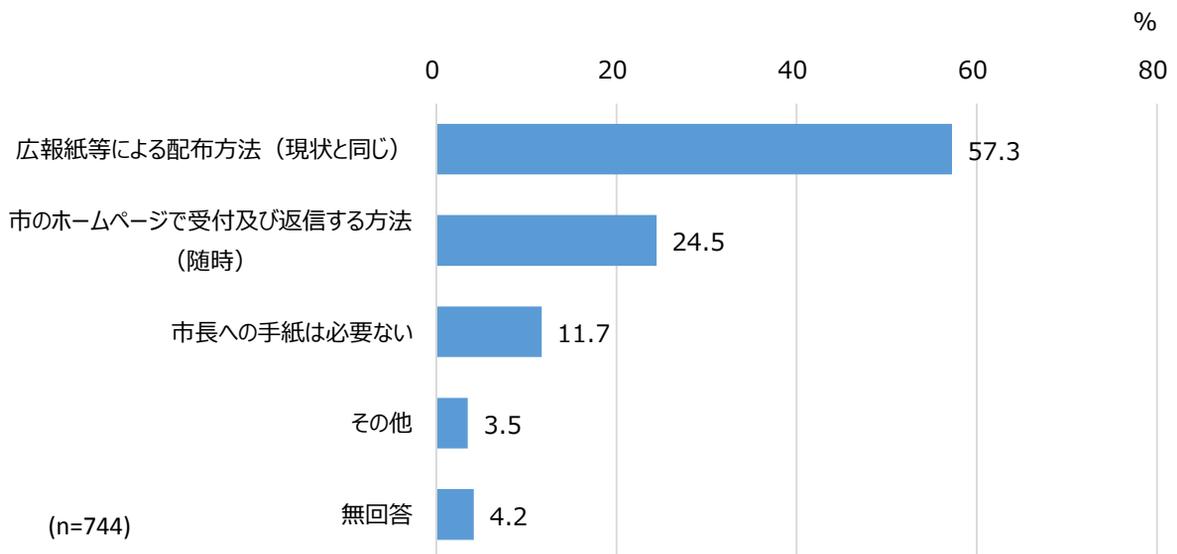
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の取り組み方法）

問15 あなたは、市長への手紙の取り組みについてどの方法がよいと思いますか。【1つだけ選択】

- 市長への手紙への取り組み方法については、「広報誌等による配布方法（現状と同じ）」が57.3%で最も多く、次いで「市のホームページで受付及び返信する方法（随時）」が24.5%となり、「市長への手紙は必要ない」は11.7%となりました。

市長への手紙の取り組み方法



2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の取り組み方法）

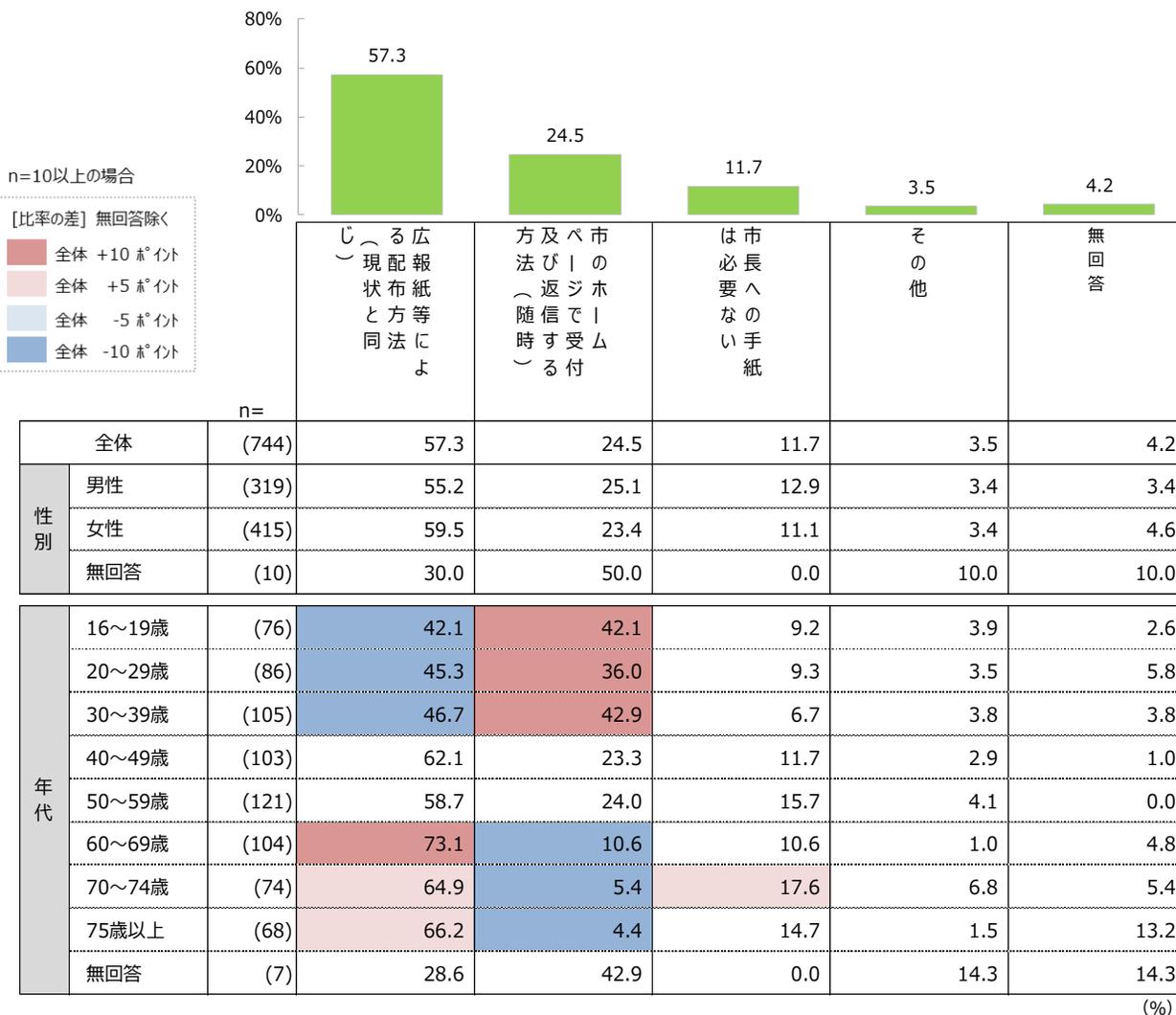
問15 あなたは、市長への手紙の取り組みについてどの方法がよいと思いますか。【1つだけ選択】

性別

- 市長への手紙への取り組み方法を性別でみると、「広報誌等による配布方法（現状と同じ）」は女性がやや上回りましたが、大きな違いはみられませんでした。

年代別

- 年代別にみると、30代以下は他の年代に比べて「広報誌等による配布方法（現状と同じ）」が低く、「市のホームページで受付及び返信する方法（随時）」が高い傾向がみられます。現在の紙媒体による方法とインターネットを活用する方法について、年代による違いが顕著に表れています。



2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の取り組み方法）

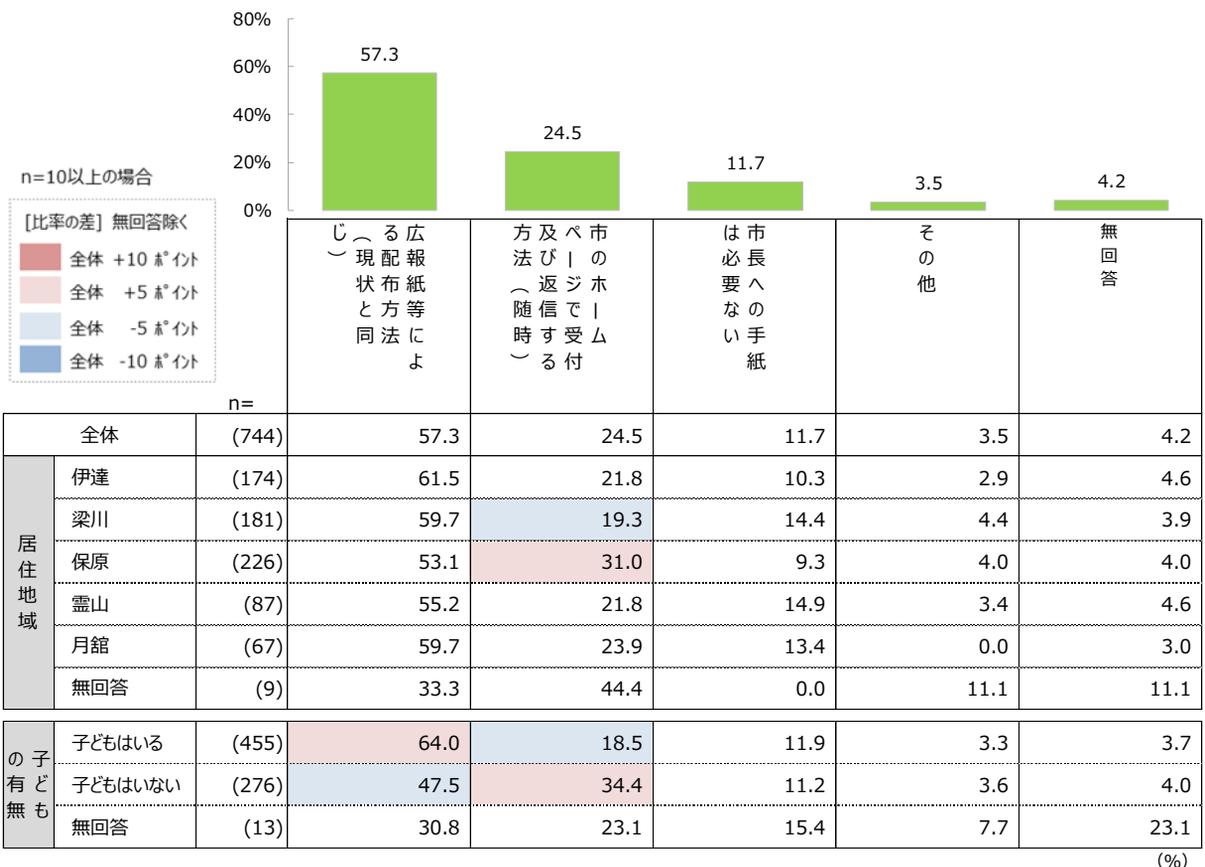
問15 あなたは、市長への手紙の取り組みについてどの方法がよいと思いますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「市のホームページで受付及び返信する方法（随時）」は保原地域で3割を超えています。他に大きな違いはみられませんでした。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、若年層が多く含まれる子どもがいない人では「市のホームページで受付及び返信する方法（随時）」が高く、「広報誌等による配布方法（現状と同じ）」は子どもがいる人で多くなっています。

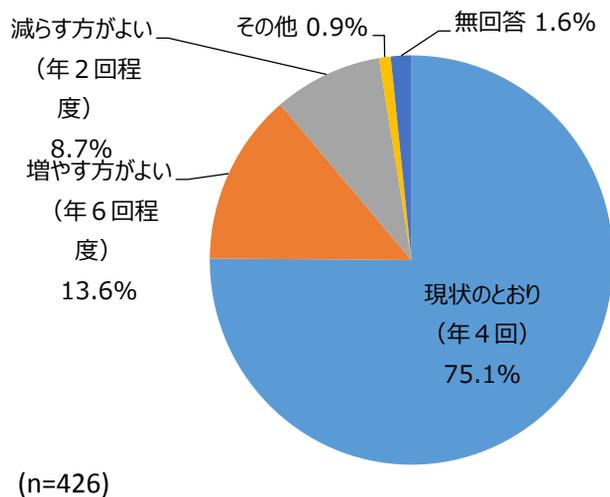


2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の配布頻度）

問16 市長への手紙の配布頻度はどの程度がよいと思いますか。【1つだけ選択】
【問15で「1」と回答した方】

- 市長への手紙の配布頻度については、「現状のとおり（年4回）」が75.1%で圧倒的に多く、「増やす方がよい（年6回程度）」が13.6%、「減らす方がよい（年2回程度）」が8.7%となっています。

市長への手紙でよいと思う配布頻度



2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の配布頻度）

問16 市長への手紙の配布頻度はどの程度がよいと思いますか。【1つだけ選択】
【問15で「1」と回答した方】

性別

- 配布頻度について性別でみると、「増やす方がよい（年6回程度）」は男性が18.2%で女性より多くなりました。

		n=	現状のとおりに (年4回)	増やす方がよい (年6回程度)	減らす方がよい (年2回程度)	その他	無回答
全体		(426)	75.1	13.6	8.7	1.6	
性別	男性	(176)	70.5	18.2	9.1	1.1	
	女性	(247)	79.4	10.5	7.3	2.0	
	無回答	(3)	100.0				

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、「増やす方がよい（年6回程度）」は「30～39歳」で30.6%と3割を超え、「20～29歳」も28.2%で他の年代より高くなっています。

		n=	現状のとおりに (年4回)	増やす方がよい (年6回程度)	減らす方がよい (年2回程度)	その他	無回答
全体		(426)	75.1	13.6	8.7	1.6	
年代	16～19歳	(32)	78.1	15.6	6.3		
	20～29歳	(39)	64.1	28.2	5.1	2.6	
	30～39歳	(49)	57.1	30.6	8.2	4.1	
	40～49歳	(64)	84.4	4.7	7.8	1.6	
	50～59歳	(71)	78.9	9.9	7.0	2.8	1.4
	60～69歳	(76)	76.3	10.5	11.8	1.3	
	70～74歳	(48)	85.4	4.2	8.3	2.1	
	75歳以上	(45)	73.3	15.6	8.9	2.2	
	無回答	(2)	100.0				

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（市長への手紙の配布頻度）

問16 市長への手紙の配布頻度はどの程度がよいと思いますか。【1つだけ選択】
【問15で「1」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別では、伊達・梁川地域で他の地域と比べて「増やす方がよい（年6回程度）」が高めとなっています。

		n=	現状のとおり (年4回)	増やす方がよい (年6回程度)	減らす方がよい (年2回程度)	その他	無回答
全体		(426)	75.1	13.6	8.7	1.6	
居住地域	伊達	(107)	75.7	18.7	3.7	1.9	
	梁川	(108)	68.5	18.5	10.2	1.9	
	保原	(120)	80.0	8.3	8.3	1.7	
	霊山	(48)	85.4	6.3	4.2	2.1	
	月舘	(40)	67.5	12.5	20.0		
	無回答	(3)	33.3		66.7		

1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「増やす方がよい（年6回程度）」の割合は子どもがいない人がやや高くなっています。

		n=	現状のとおり (年4回)	増やす方がよい (年6回程度)	減らす方がよい (年2回程度)	その他	無回答
全体		(426)	75.1	13.6	8.7	1.6	
子どもの有無	子どもはいる	(291)	78.0	10.7	8.9	1.4	
	子どもはいない	(131)	69.5	20.6	6.9	2.3	
	無回答	(4)	50.0		50.0		

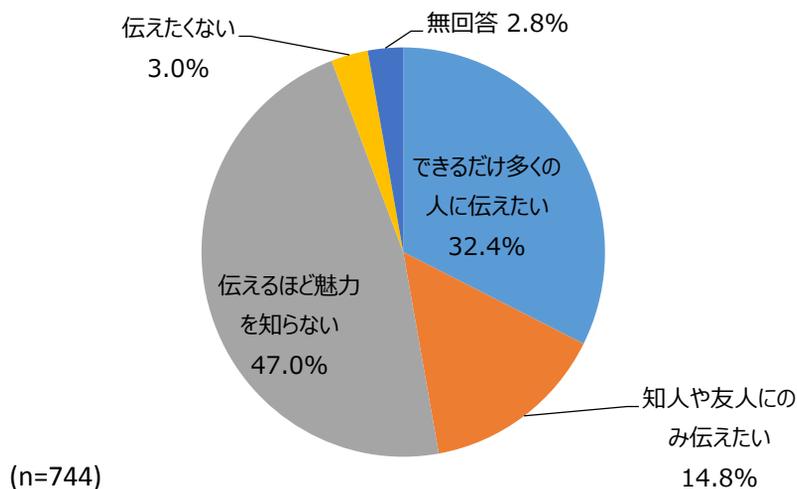
1%未満のデータレベルは非表示（%）

2. 市情報の入手方法など（伊達市の魅力の発信）

問17 あなたは、伊達市の魅力を誰かに伝えたいと思いますか。【1つだけ選択】

- 伊達市の魅力の発信については、「できるだけ多くの人に伝えたい」が32.4%、「知人や友人にのみ伝えたい」が14.8%で、合わせて47.2%となりました。
- 「伝えるほど魅力を知らない」は47.0%に上っています。

市長への手紙でよいと思う配布頻度



2. 市情報の入手方法など（伊達市の魅力の発信）

問17 あなたは、伊達市の魅力を誰かに伝えたいと思いますか。【1つだけ選択】

性別

- 伊達市の魅力の発信について、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	できるだけ多くの人に伝えたい	知人や友人にのみ伝えたい	伝えるほど魅力を知らない	伝えたくない	無回答
全体		(744)	32.4	14.8	47.0	3.0	2.8
性別	男性	(319)	31.7	14.1	49.5	3.8	
	女性	(415)	33.5	15.2	45.1	2.4	3.9
	無回答	(10)	10.0	20.0	50.0	20.0	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、「できるだけ多くの人」に伝えたいは10代で唯一4割を超えています。一方、「伝えるほど魅力を知らない」は10代以外の全ての年代で4割を超えています。

		n=	できるだけ多くの人に伝えたい	知人や友人にのみ伝えたい	伝えるほど魅力を知らない	伝えたくない	無回答
全体		(744)	32.4	14.8	47.0	3.0	2.8
年代	16～19歳	(76)	42.1	17.1	36.8	2.6	1.3
	20～29歳	(86)	31.4	15.1	46.5	5.8	
	30～39歳	(105)	29.5	19.0	47.6	1.9	1.9
	40～49歳	(103)	37.9	6.8	52.4	2.9	
	50～59歳	(121)	37.2	12.4	46.3	4.1	
	60～69歳	(104)	32.7	12.5	48.1	1.9	4.8
	70～74歳	(74)	23.0	23.0	50.0	4.1	
	75歳以上	(68)	23.5	16.2	45.6	14.7	
	無回答	(7)	14.3	57.1	28.6		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（伊達市の魅力の発信）

問17 あなたは、伊達市の魅力を誰かに伝えたいと思いますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別では、保原地域では伝えたいと思う割合が唯一5割を超えています。
- 月舘地域は「できるだけ多くの人に伝えたい」が41.8%と4割を超え、最も高くなっています。

		n=	できるだけ多くの人に 伝えたい	知人や友人にのみ 伝えたい	伝えるほど魅力を 知らない	伝えたくない	無回答
全体		(744)	32.4	14.8	47.0	3.0	2.8
居住 地域	伊達	(174)	29.9	17.2	49.4	2.3	1.1
	梁川	(181)	34.3	13.3	46.4	4.4	1.7
	保原	(226)	34.1	16.8	43.4	3.1	2.7
	霊山	(87)	24.1	14.9	54.0	2.3	4.6
	月舘	(67)	41.8	6.0	46.3	6.0	
	無回答	(9)	11.1	11.1	44.4	11.1	22.2

1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別では、伝えたいと思う割合は子どもがいる人で割合がやや高くなりましたが、大きな違いはみられませんでした。

		n=	できるだけ多くの人に 伝えたい	知人や友人にのみ 伝えたい	伝えるほど魅力を 知らない	伝えたくない	無回答
全体		(744)	32.4	14.8	47.0	3.0	2.8
子 ど も の 有 無	子どもはいる	(455)	32.5	15.6	46.8	2.6	2.4
	子どもはいない	(276)	33.0	13.8	47.5	3.6	2.2
	無回答	(13)	15.4	7.7	46.2	30.8	

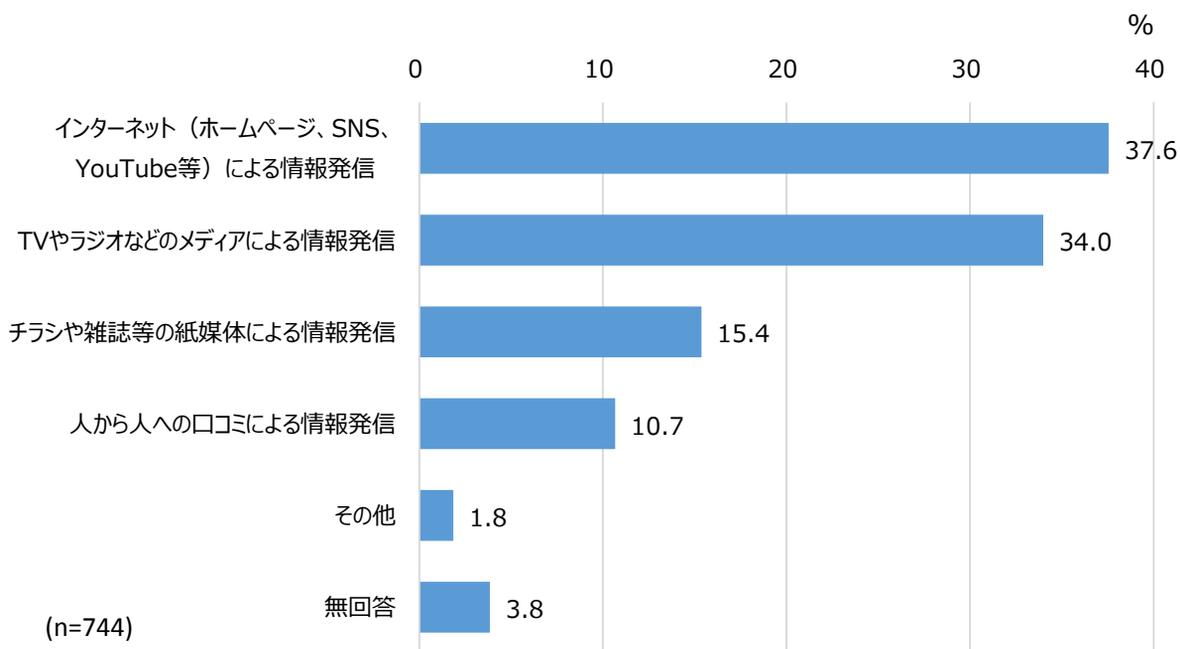
1%未満のデータレベルは非表示（%）

2. 市情報の入手方法など（伊達市の魅力の発信方法）

問18 あなたは、伊達市の魅力を発信するためにどのような方法が良いと思いますか。
【1つだけ選択】 【問17で「1」「2」または「3」と回答した方】

- 伊達市の魅力の発信方法については、「インターネット（ホームページ、SNS、YouTube等）による情報発信」が37.6%で最も多く、次いで「TVやラジオなどのメディアによる情報発信」が34.0%、「チラシや雑誌等の紙媒体による情報発信」が15.4%、「人から人への口コミによる情報発信」が10.7%となりました。

伊達市の魅力の発信方法



SNS・・・ソーシャルネットワーキングサービス（Facebook、Twitter、Instagram、LINE 等）

2. 市情報の入手方法など（伊達市の魅力の発信方法）

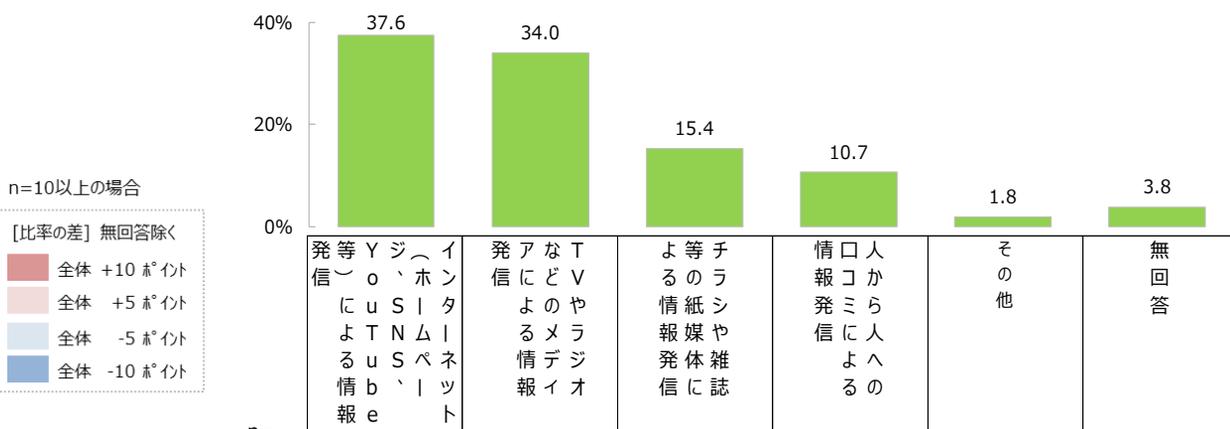
問18 あなたは、伊達市の魅力を発信するためにどのような方法が良いと思いますか。
【1つだけ選択】 【問17で「1」「2」または「3」と回答した方】

性別

- 伊達市の魅力の発信方法について、性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別

- 年代別にみると、「インターネット（ホームページ、SNS、YouTube等）による情報発信」は若い年代で大きな支持を得ています。一方、75歳以上では「チラシや雑誌等の紙媒体による情報発信」が36.2%で最も高くなりました。



性別		n	インターネットによる情報発信	テレビによる情報発信	新聞紙や雑誌等の紙媒体による情報発信	ラジオによる情報発信	その他	無回答
全体		(703)	37.6	34.0	15.4	10.7	1.8	3.8
性別	男性	(305)	38.0	31.8	17.4	9.8	2.3	2.6
	女性	(390)	36.9	36.2	13.8	11.0	1.5	4.9
	無回答	(8)	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0

年代	年代	n	インターネットによる情報発信	テレビによる情報発信	新聞紙や雑誌等の紙媒体による情報発信	ラジオによる情報発信	その他	無回答
	16～19歳	(73)	52.1	31.5	2.7	11.0	1.4	1.4
	20～29歳	(80)	50.0	30.0	7.5	11.3	3.8	1.3
	30～39歳	(101)	56.4	24.8	10.9	8.9	1.0	2.0
	40～49歳	(100)	37.0	40.0	17.0	9.0	2.0	3.0
	50～59歳	(116)	46.6	32.8	12.1	6.0	1.7	2.6
	60～69歳	(99)	24.2	40.4	23.2	7.1	1.0	4.0
	70～74歳	(71)	12.7	39.4	18.3	22.5	2.8	9.9
	75歳以上	(58)	5.2	34.5	36.2	15.5	1.7	10.3
無回答	(5)	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	

(%)

2. 市情報の入手方法など（伊達市の魅力の発信方法）

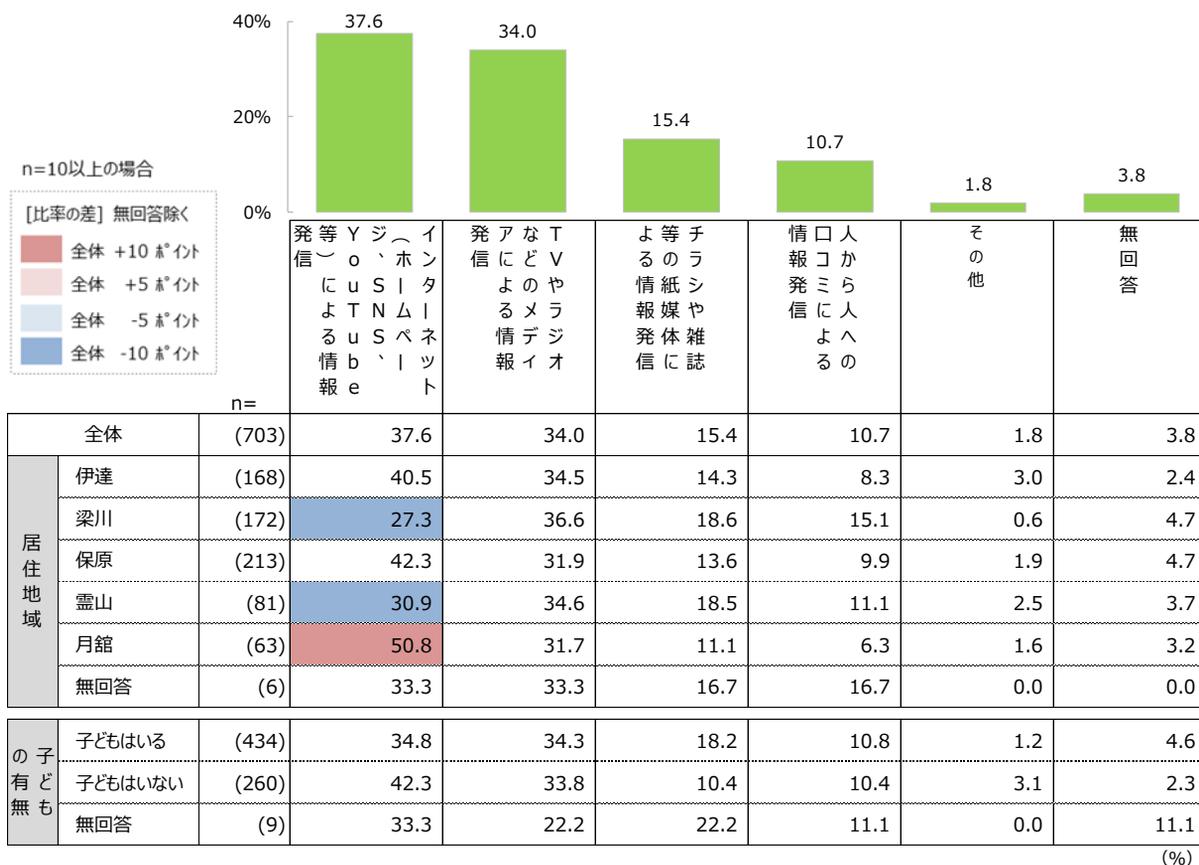
問18 あなたは、伊達市の魅力を発信するためにどのような方法が良いと思いますか。
【1つだけ選択】 【問17で「1」「2」または「3」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別でみると、月舘地域では「インターネット（ホームページ、SNS、YouTube等）による情報発信」が5割を超え最も高く、梁川・霊山地域と大きな差がみられます。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、若年層が多く含まれる子どもがいない人では「インターネット（ホームページ、SNS、YouTube等）による情報発信」がやや高めとなっています。

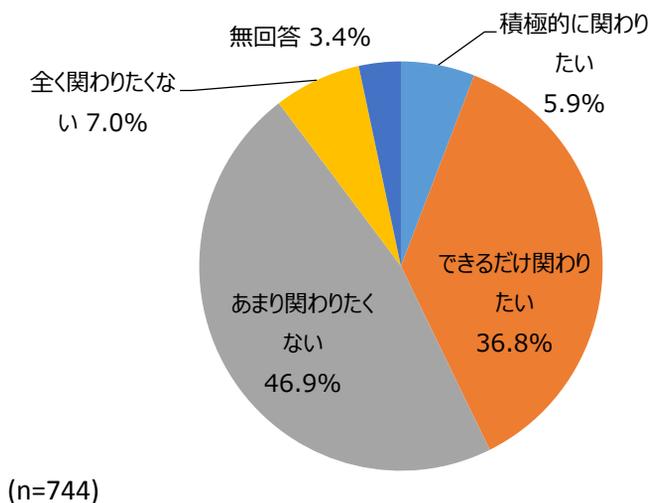


2. 市情報の入手方法など（伊達市の知名度を上げる取り組み）

問19 あなたは、伊達市の知名度を上げる取り組みに関わりたいと思いますか。【1つだけ選択】

- 伊達市の知名度を上げる取り組みへの参加については、「積極的に関わりたい」が5.9%、「できるだけ関わりたい」が36.8%で、合わせて42.7%が関わりたいと回答しています。
- 一方、「あまり関わりたくない」は46.9%、「全く関わりたくない」は7.0%となっています。

伊達市の知名度を上げる取り組みへの関わり

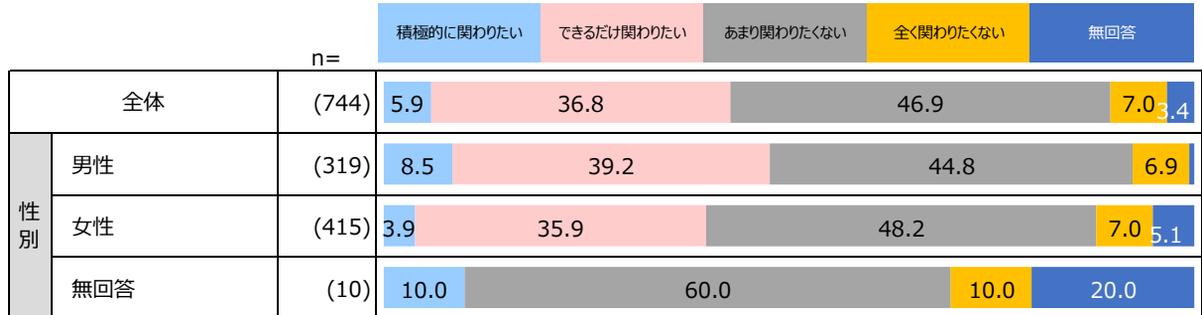


2. 市情報の入手方法など（伊達市の知名度を上げる取り組み）

問19 あなたは、伊達市の知名度を上げる取り組みに関わりたいと思いますか。【1つだけ選択】

性別

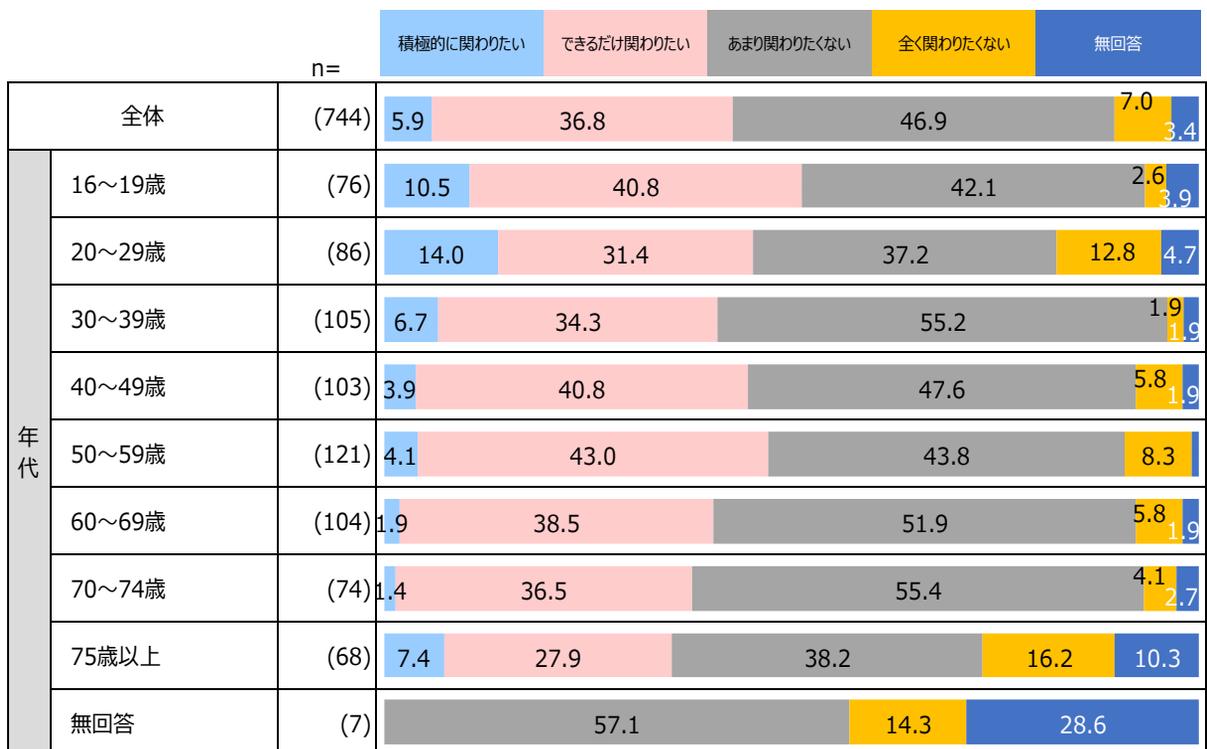
- 伊達市の知名度を上げる取り組みへの参加について性別で見ると、関わりたいとの回答は男性がやや高くなりました。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、10代では関わりたいとの回答が5割を超えています。一方、75歳以上では「全く関わりたくない」が16.2%となっています。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

2. 市情報の入手方法など（伊達市の知名度を上げる取り組み）

問19 あなたは、伊達市の知名度を上げる取り組みに関わりたいと思いますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別では、全体的に大きな違いはみられませんでした。梁川・保原地域で関わりたいとの回答がやや高めとなっています。

		n=	積極的に関わりたい	できるだけ関わりたい	あまり関わりたくない	全く関わりたくない	無回答
全体		(744)	5.9	36.8	46.9	7.0	3.4
居住地域	伊達	(174)	6.3	34.5	51.1	6.9	1.1
	梁川	(181)	5.5	40.9	43.1	7.7	2.8
	保原	(226)	6.6	39.4	46.0	4.4	3.5
	霊山	(87)	5.7	31.0	49.4	9.2	4.6
	月舘	(67)	4.5	35.8	46.3	9.0	4.5
	無回答	(9)		44.4	22.2	33.3	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「積極的に関わりたい」の割合は子どもがいない人でやや高くなっていますが、大きな違いはみられませんでした。

		n=	積極的に関わりたい	できるだけ関わりたい	あまり関わりたくない	全く関わりたくない	無回答
全体		(744)	5.9	36.8	46.9	7.0	3.4
子どもの有無	子どもはいる	(455)	4.4	39.1	47.7	6.4	2.4
	子どもはいない	(276)	8.7	34.4	46.0	7.2	3.6
	無回答	(13)	7.7	38.5	23.1	30.8	

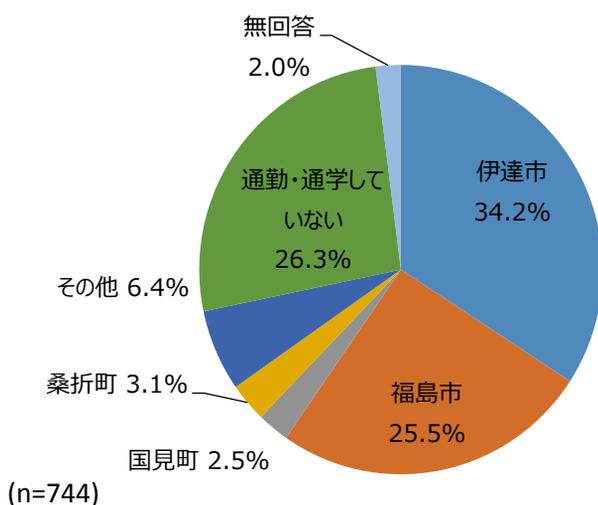
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

3. 買物場所や交通関係（勤務地・通学先）

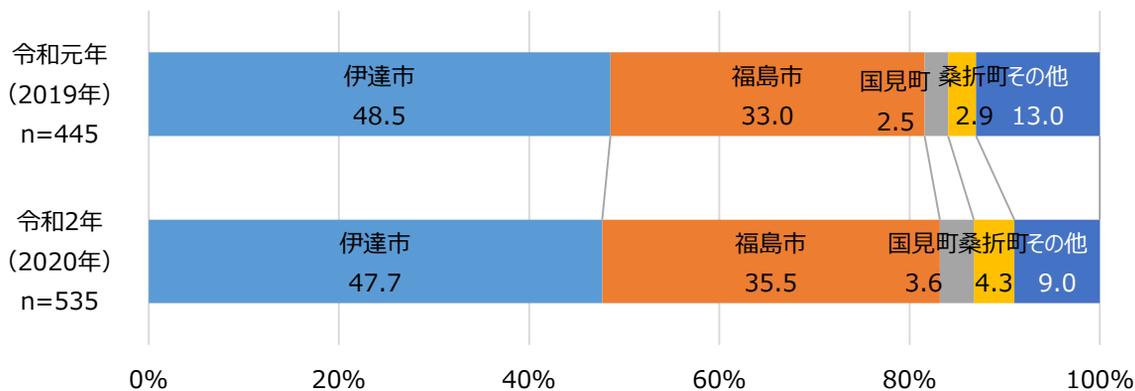
問20 あなたの勤務地・通学先はどちらですか。【1つだけ選択】

- 通勤・通学先については、「伊達市」が34.2%で最も多く、次いで「福島市」が25.5%となり、「通勤・通学していない」は26.3%となっています。
- 「通勤・通学していない」人を除き、前年調査と比較してみると、「伊達市」「福島市」の順番は同様となっており、大きな変化はみられませんでした。

勤務地・通学先



前年調査との比較（通勤・通学していない人、無回答を除く）

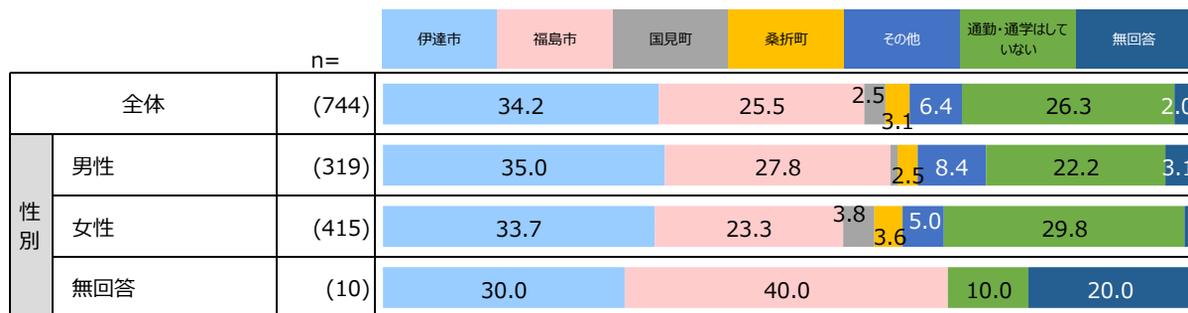


3. 買物場所や交通関係（勤務地・通学先）

問20 あなたの勤務地・通学先はどちらですか。【1つだけ選択】

性別

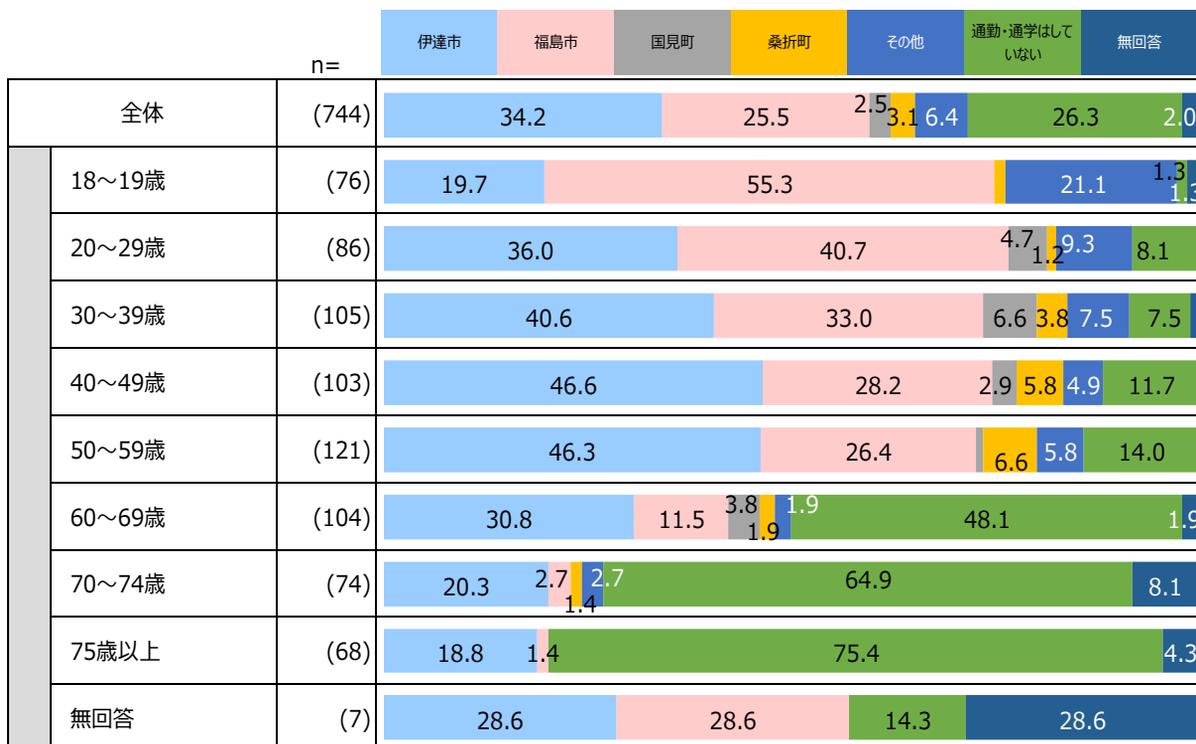
- 通勤・通学先を性別でみると、「伊達市」「福島市」は違いはみられませんが、「その他」は男性が多く、郡山市や南相馬市などのほか、宮城県仙台市や石巻市など県外の回答もみられました。



1%未満のデータレベルは非表示（%）

年代別

- 年代別でみると、「伊達市」は30代～50代では4割を超えています。10代では伊達市以外の多さが目立っています。



1%未満のデータレベルは非表示（%）

3. 買物場所や交通関係（勤務地・通学先）

問20 あなたの勤務地・通学先はどちらですか。【1つだけ選択】

居住地域別

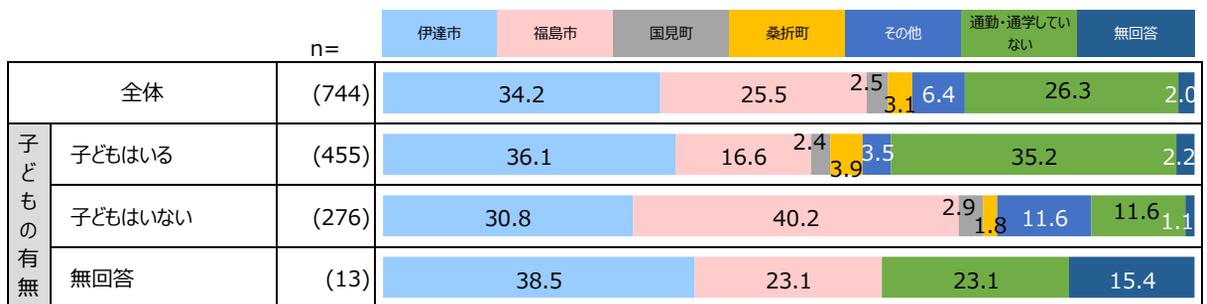
- 居住地域別でみると、「伊達市」はいずれの地域でも3割を超えています。伊達・保原地域では「福島市」が他の地域よりやや高くなっています。



1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、学生が多く含まれる子どもがいない人では「福島市」が40.2%で最も多くなっています。
- 子どもがいる人については専業主婦のケースも多く、「通勤・通学していない」が多い傾向がみられます。



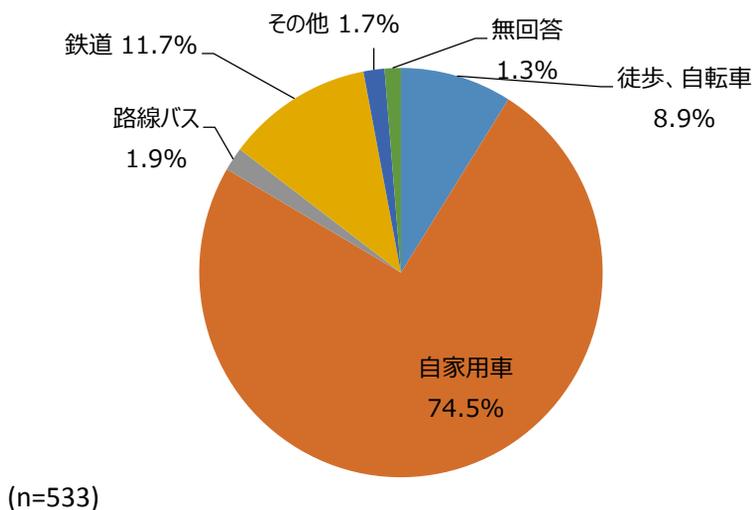
1%未満のデータレベルは非表示（%）

3. 買物場所や交通関係（通勤・通学先への主な移動手段）

問21 あなたの通勤・通学先への主な移動手段はどれですか。【1つだけ選択】
【問20で「6」と回答した方以外】

- 通勤・通学先への主な交通手段は、「自家用車」が74.5%で圧倒的に多く、次いで「鉄道」が11.7%、「徒歩・自転車」が8.9%と続いています。

通勤・通学先への主な移動手段

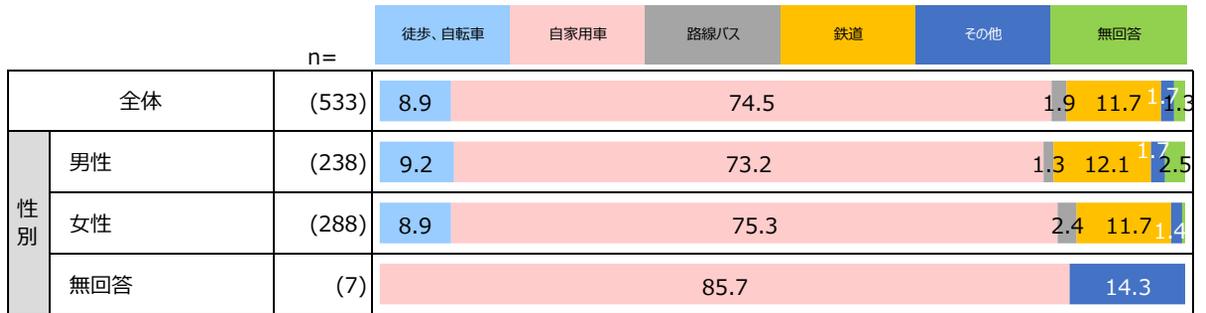


3. 買物場所や交通関係（通勤・通学先への主な移動手段）

問21 あなたの通勤・通学先への主な移動手段はどれですか。【1つだけ選択】
【問20で「6」と回答した方以外】

性別

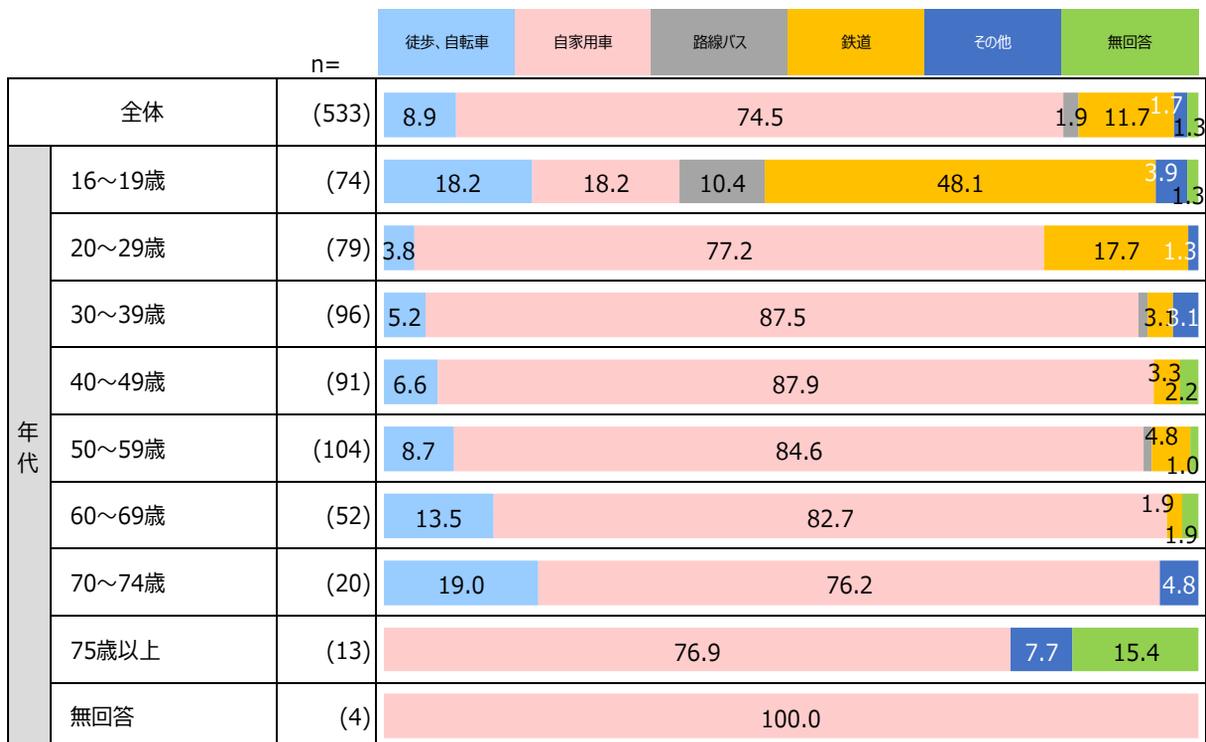
- 通勤・通学先への移動手段を性別でみると、「自家用車」は男女ともに圧倒的に多くなっており、大きな違いはありませんでした。



1%未満のデータラベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、「自家用車」は30代～60代で8割を超えています。16～19歳では「鉄道」が最も多くなりました。



1%未満のデータラベルは非表示 (%)

3. 買物場所や交通関係（通勤・通学先への主な移動手段）

問21 あなたの通勤・通学先への主な移動手段はどれですか。【1つだけ選択】
【問20で「6」と回答した方以外】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「自家用車」はすべての地域で最も多くなっていますが、特に月舘地域は86.7%を占めています。「鉄道」は伊達・梁川・保原地域で1割を超えています。

		n=	徒歩、自転車	自家用車	路線バス	鉄道	その他	無回答
全体		(533)	8.9	74.5			1.9	11.7
居住地域	伊達	(127)	13.2	68.2			2.3	15.5
	梁川	(128)	6.3	74.2			12.5	4.7
	保原	(164)	8.4	74.7			3.0	12.0
	霊山	(63)	6.3	76.2			3.2	9.5
	月舘	(45)	11.1	86.7				2.2
	無回答	(6)		100.0				

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、学生が多く含まれる子どもがいない人は、子どもがいる人に比べ「鉄道」が多くなっています。

		n=	徒歩、自転車	自家用車	路線バス	鉄道	その他	無回答
全体		(533)	8.9	74.5			1.9	11.7
子どもの有無	子どもはいる	(284)	8.1	87.7				2.5
	子どもはいない	(241)	9.8	58.6		4.1	23.0	2.9
	無回答	(8)	12.5	87.5				

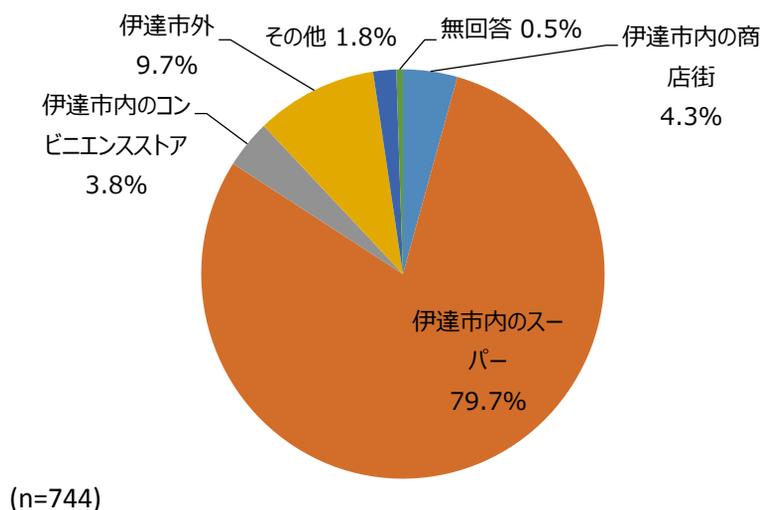
1%未満のデータラベルは非表示 (%)

3. 買物場所や交通関係（普段の食料品の購入先）

問22 あなたは普段の食料品を主にどちらで購入しますか。【1つだけ選択】

- 普段の食料品の主な購入先は、「伊達市内のスーパー」が79.7%で圧倒的に多くなっています。次いで「伊達市外」が9.7%、「伊達市内の商店街」が4.3%と続いています。

普段の食料品の主な購入先



3. 買物場所や交通関係（普段の食料品の購入先）

問22 あなたは普段の食料品を主にどちらで購入しますか。【1つだけ選択】

性別

- 普段の食料品の購入先を性別で見ると、男女ともに「伊達市内のスーパー」が約8割となっています。男性は「伊達市内のコンビニエンスストア」が5.3%とやや高い傾向がみられます。

		n=	伊達市内の 商店街	伊達市内の スーパー	伊達市内の コンビニエンスストア	伊達市外	その他	無回答
全体		(744)	4.3	79.7			3.8	9.7
性別	男性	(319)	5.0	79.8			5.3	8.1
	女性	(415)	4.0	79.6			2.8	11.0
	無回答	(10)		80.0			10.0	10.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、「伊達市内のスーパー」は年代を問わず圧倒的となっています。70代以上では「伊達市内の商店街」が1割を超えています。

		n=	伊達市内の 商店街	伊達市内の スーパー	伊達市内の コンビニエンスストア	伊達市外	その他	無回答
全体		(744)	4.3	79.7			3.8	9.7
	16～19歳	(76)	1.3	72.4			9.2	7.9
	20～29歳	(86)	1.2	77.9			7.0	9.3
	30～39歳	(105)	3.7	78.7			1.9	13.9
	40～49歳	(103)	2.9	80.8			1.9	13.5
	50～59歳	(121)	3.3	79.7			4.9	11.4
	60～69歳	(104)	3.7	80.6			4.6	9.3
	70～74歳	(74)	10.4	81.8				7.8
	75歳以上	(68)	11.4	87.1				1.4
	無回答	(7)		71.4			14.3	14.3

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

3. 買物場所や交通関係（普段の食料品の購入先）

問22 あなたは普段の食料品を主にどちらで購入しますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「伊達市内のスーパー」はすべての地域で最も高く、梁川・保原地域では8割を超えています。「伊達市外」は伊達・月舘地域でやや高くなっています。

		n=	伊達市内の 商店街	伊達市内の スーパー	伊達市内の コンビニエンスストア	伊達市外	その他	無回答
全体		(744)	4.3	79.7		3.8	9.7	1.8
居住 地域	伊達	(174)	2.8	75.6		3.9	15.0	2.8
	梁川	(181)	7.6	83.8		5.4	2.7	
	保原	(226)	2.2	82.2		3.5	8.7	3.0
	霊山	(87)	6.9	77.0		3.4	11.5	1.1
	月舘	(67)	4.4	76.5		1.5	14.7	1.5
	無回答	(9)		66.7		22.2		11.1

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいる人は「伊達市内のスーパー」が83.5%と高く、一方、子どもがいない人は「伊達市内のコンビニエンスストア」が7.6%とやや高いなど、家族構成による購入先の違いが窺えます。

		n=	伊達市内の 商店街	伊達市内の スーパー	伊達市内の コンビニエンスストア	伊達市外	その他	無回答
全体		(744)	4.3	79.7		3.8	9.7	1.8
子 ど も の 有 無	子どもはいる	(455)	4.9	83.5		1.7	8.8	
	子どもはいない	(276)	2.9	74.1	7.6	11.2	3.6	
	無回答	(13)	15.4	61.5		15.4	7.7	

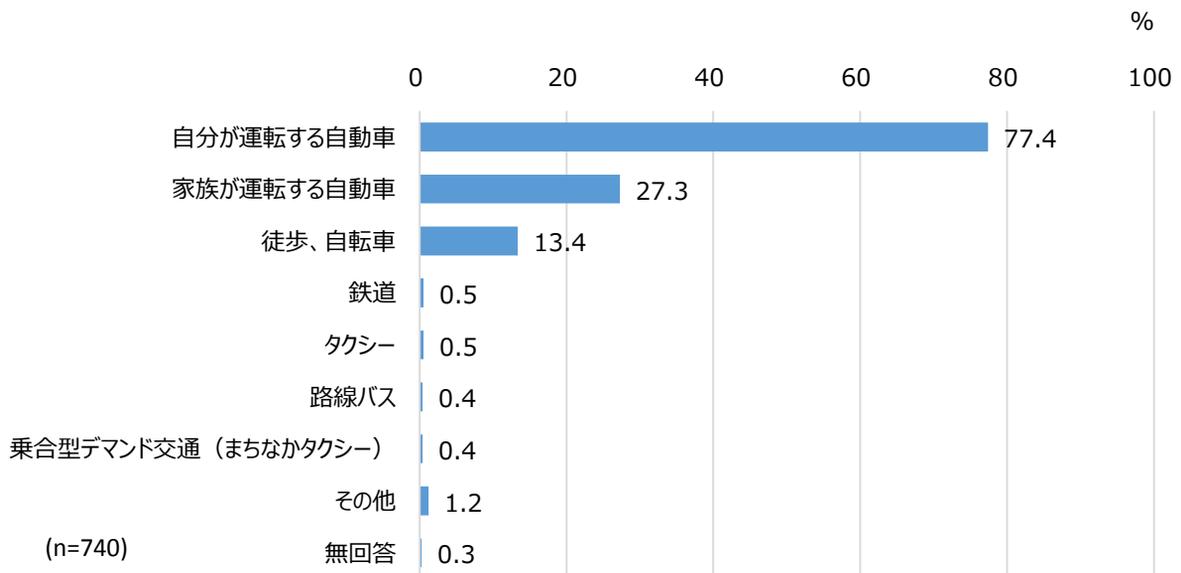
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

3. 買物場所や交通関係（食料品の購入先への主な移動手段）

問23 問22で回答した食料品の購入先への主な移動手段はどれですか。【2つまで選択】【問22に回答した方】

- 普段の食料品の購入先への主な移動手段は、「自分が運転する自動車」が77.4%で圧倒的に多く、次いで「家族が運転する自動車」が27.3%、「徒歩、自転車」が13.4%と続いています。

食料品の購入先への主な移動手段



3. 買物場所や交通関係（食料品の購入先への主な移動手段）

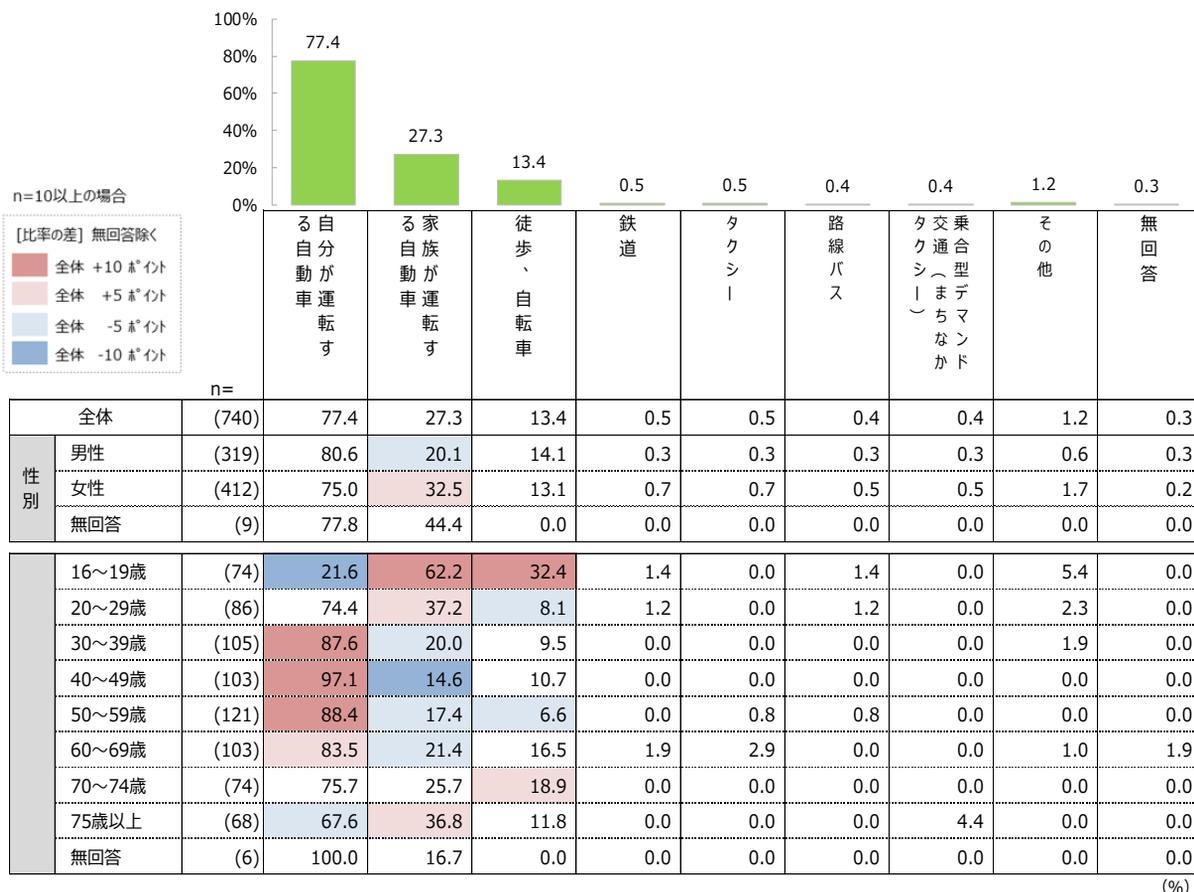
問23 問22で回答した食料品の購入先への主な移動手段はどれですか。【2つまで選択】【問22に回答した方】

性別

- 食料品の購入先への主な移動手段を性別でみると、「自分が運転する自動車」は男性が80.6%で女性より多く、「家族が運転する自動車」は女性が32.5%と男性を上回っています。

年代別

- 年代別でみると、30代～60代で「自分が運転する自動車」の高さが目立っており、「家族が運転する自動車」「徒歩、自転車」は10代で高い傾向がみられます。



3. 買物場所や交通関係（食料品の購入先への主な移動手段）

問23 問22で回答した食料品の購入先への主な移動手段はどれですか。【2つまで選択】【問22に回答した方】

居住地域別

- 居住地域別でみると、梁川地域では「自分が運転する自動車」が他の地域よりやや高くなっています。
- 「徒歩、自転車」は伊達・梁川・保原地域で1割を超えています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別にみると、子どもがいる人は「自分が運転する自動車」が85.2%と高く、子どもを連れての買い物など、普段の生活に自動車は欠かせないアイテムとなっていることがわかります。

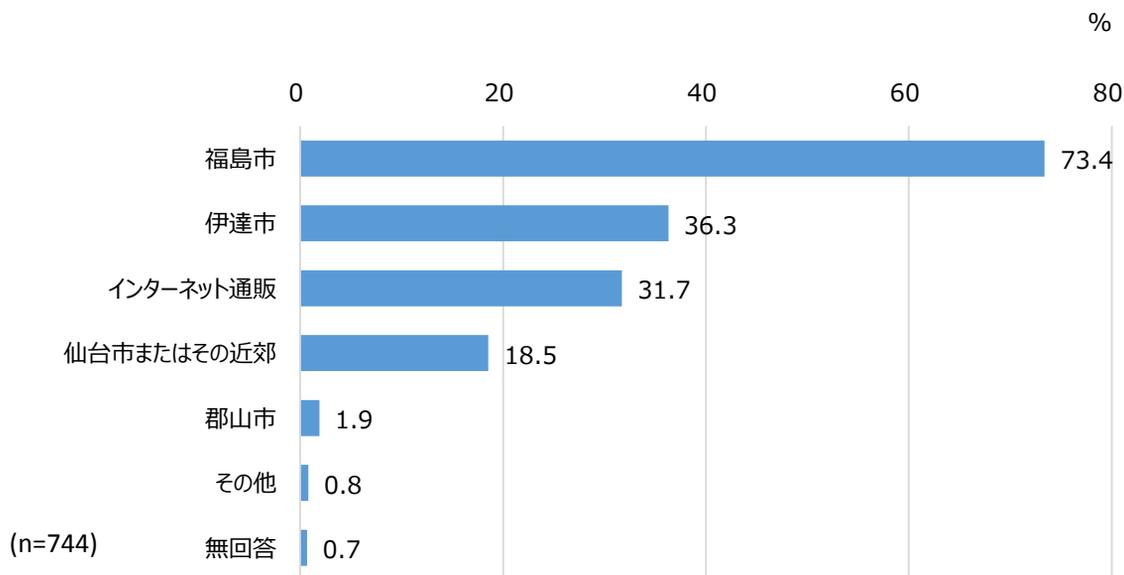


3. 買物場所や交通関係（買回り品の購入先）

問24 あなたは衣料品やかばん、家具・インテリア、贈答品、レジャー用品などの「買回り品」をどちらで購入しますか。【2つまで選択】

- 「買回り品」の購入場所は、「福島市」が73.4%と圧倒的に多く、次いで「伊達市」が36.3%と続いています。
- 一方、「インターネット通販」は31.7%と3割を超えているほか、「仙台市またはその近郊」も18.5%に上っており、伊達市以外での購入が目立っています。

買回り品の購入場所



3. 買物場所や交通関係（買回り品の購入先）

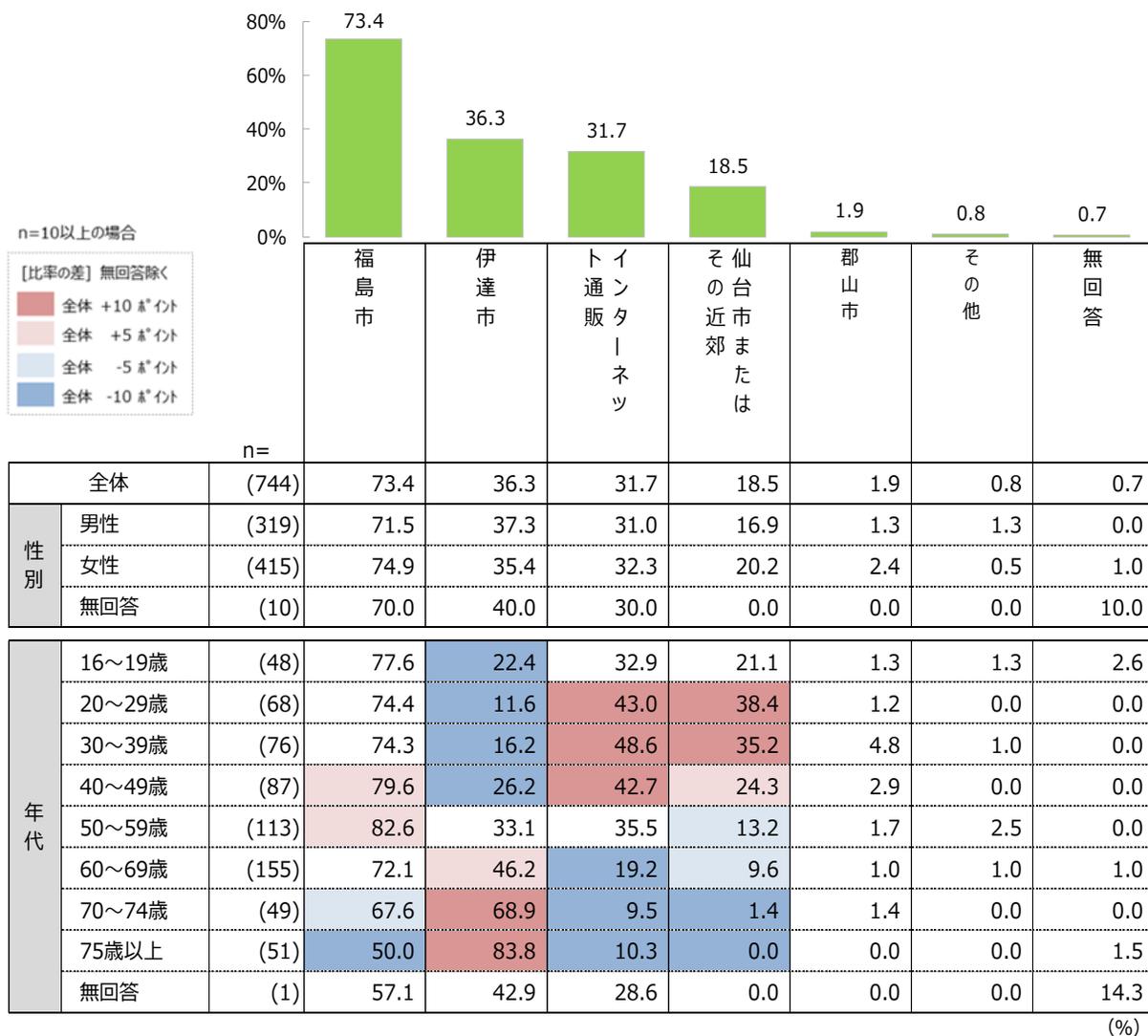
問24 あなたは衣料品やかばん、家具・インテリア、贈答品、レジャー用品などの「買回り品」をどちらで購入しますか。【2つまで選択】

性別

- 「買回り品」の購入場所を性別で見ると、大きな違いはみられませんでした。女性は伊達市以外での購入が男性よりもやや高くなりました。

年代別

- 年代別で見ると、「伊達市」と回答したのは70代以上が圧倒的に多く、20代～30代では2割に満たない結果となっています。「インターネット通販」は20代～40代で4割を超え、「仙台市またはその近郊」は20代～30代で3割を超えるなど、年代による違いが顕著に表れています。



3. 買物場所や交通関係（買回り品の購入先）

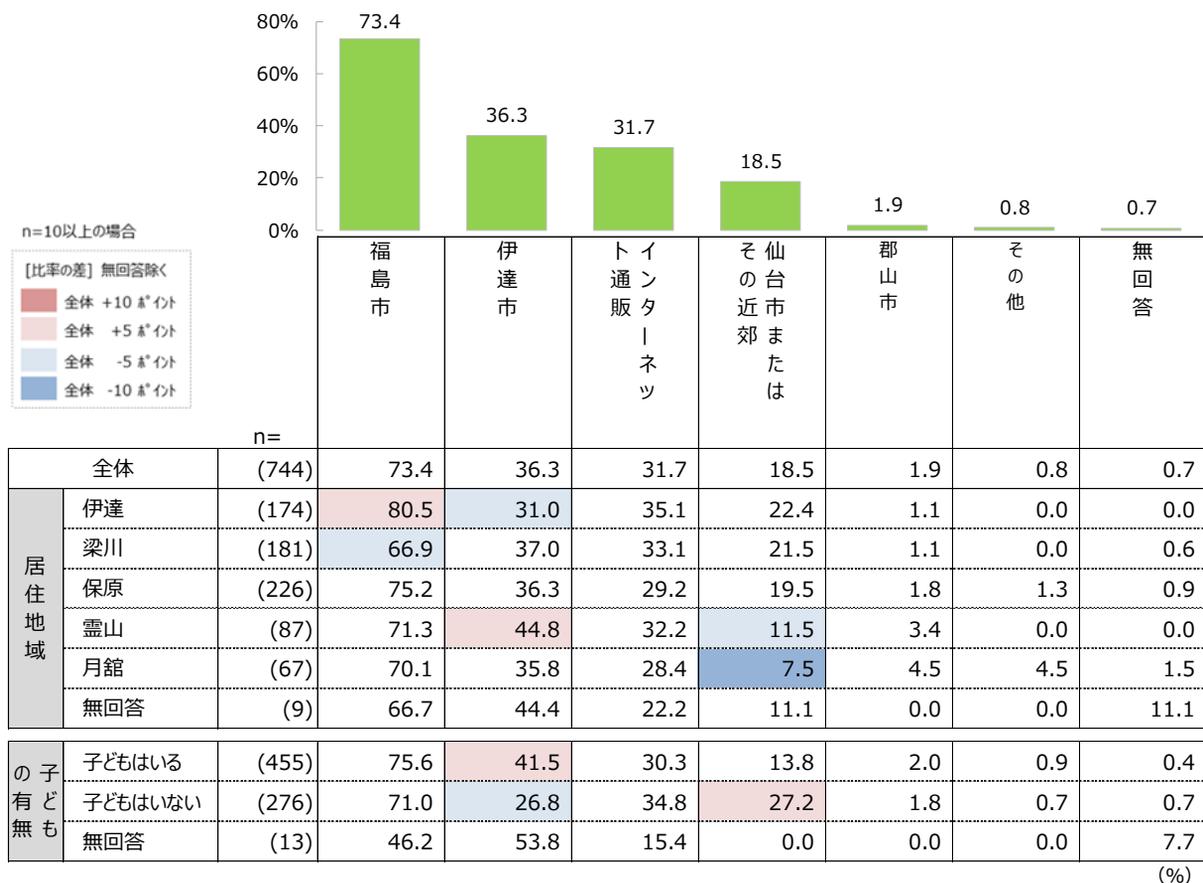
問24 あなたは衣料品やかばん、家具・インテリア、贈答品、レジャー用品などの「買回り品」をどちらで購入しますか。【2つまで選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、伊達地域では「福島市」が8割を超えています。霊山地域では「伊達市」が4割を超えるなど、地域性による違いも窺えます。

子どもの有無別

- 子どもの有無別にみると、子どもがいる人は「伊達市」が41.5%と高く、一方、子どもがいない人では「仙台市またはその近郊」が27.2%と高く、子どもの有無による行動範囲の違いも見受けられます。

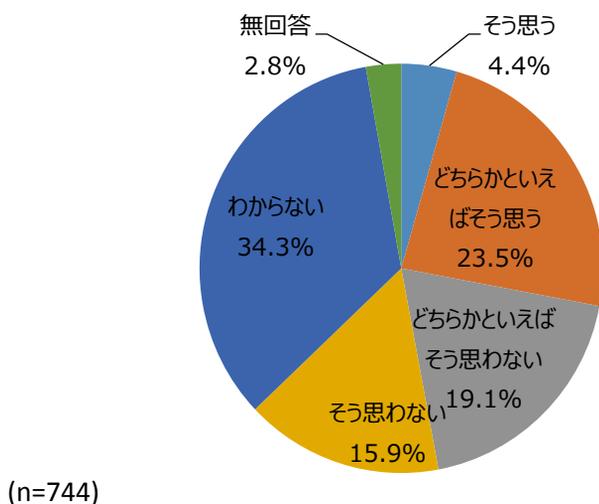


4. 住み心地（特徴と課題のまちづくりへの反映）

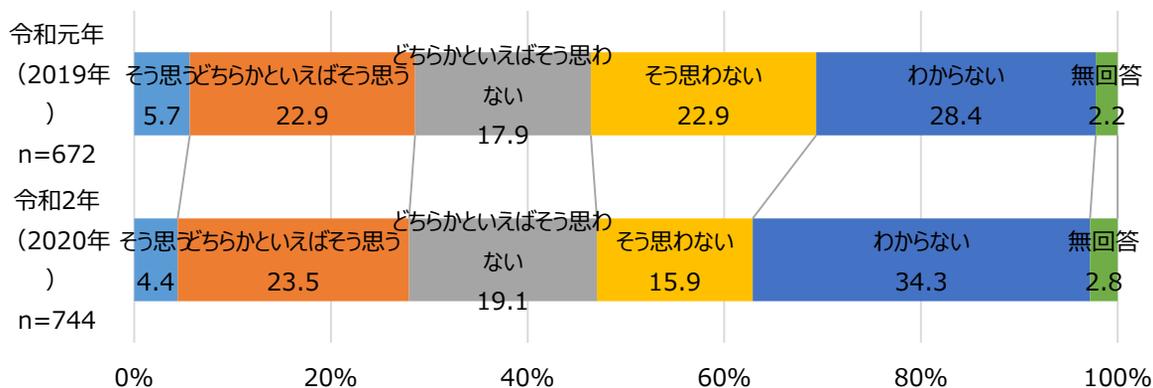
問25 あなたは市全体や各地域の特徴と課題が伊達市のまちづくりに反映されていると思いますか。【1つだけ選択】

- 市全体や各地域の特徴と課題が伊達市のまちづくりに反映されているかについて、「そう思う」は4.4%、「どちらかといえばそう思う」は23.5%となり、肯定的に捉えている割合は3割に満たない結果となりました。
- 前年調査との比較では「わからない」が増加しており、市の取り組み状況の周知が課題と考えられます。

市全体や各地域の特徴と課題が伊達市のまちづくりに反映されているか



前年調査との比較



4. 住み心地（特徴と課題のまちづくりへの反映）

問25 あなたは市全体や各地域の特徴と課題が伊達市のまちづくりに反映されていると思いますか。【1つだけ選択】

性別

- 性別でみると、「そうは思わない」は男性が5.4ポイント上回り、「わからない」は女性が7ポイント上回っています。

		n=	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		(744)	4.4	23.5	19.1	15.9	34.3	2.8
性別	男性	(319)	5.0	21.3	21.3	19.1	30.1	3.1
	女性	(415)	3.9	25.1	17.8	13.7	37.1	2.4
	無回答	(10)	10.0	30.0		50.0		10.0

1%未満のデータレベルは非表示（%）

年代別

- 年代別でみると、50代では肯定的な回答が他の年代よりも少なくなっています。また、若い年代ほど「わからない」が増加する傾向がみられます。

		n=	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		(744)	4.4	23.5	19.1	15.9	34.3	2.8
	16～19歳	(76)	3.9	25.0	11.8	7.9	51.3	
	20～29歳	(86)	3.5	22.1	16.3	11.6	44.2	2.3
	30～39歳	(105)	1.0	24.8	21.0	18.1	32.4	2.9
	40～49歳	(103)	6.8	22.3	13.6	19.4	35.0	2.9
	50～59歳	(121)	2.5	19.0	20.7	19.0	37.2	1.7
	60～69歳	(104)	2.9	26.0	32.7	12.5	24.0	1.9
	70～74歳	(74)	9.5	25.7	14.9	25.7	23.0	1.4
	75歳以上	(68)	7.4	26.5	19.1	11.8	25.0	10.3
	無回答	(7)	14.3	14.3		57.1		14.3

1%未満のデータレベルは非表示（%）

4. 住み心地（特徴と課題のまちづくりへの反映）

問25 あなたは市全体や各地域の特徴と課題が伊達市のまちづくりに反映されていると思いますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別での大きな違いはみられませんが、月舘地域では肯定的な回答が少なくなっています。

		n=	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		(744)	4.4	23.5	19.1	15.9	34.3	2.8
居住地域	伊達	(174)	4.0	27.0	17.8	16.7	33.9	
	梁川	(181)	5.5	24.3	19.9	9.9	37.6	2.8
	保原	(226)	3.5	23.9	18.6	15.9	35.8	2.2
	霊山	(87)	5.7	21.8	21.8	23.0	19.5	8.0
	月舘	(67)	3.0	14.9	20.9	20.9	37.3	3.0
	無回答	(9)	11.1	11.1	11.1	55.6		11.1

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいる人では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が3割に達しており、子どもがいない人に比べて高くなっています。

		n=	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		(744)	4.4	23.5	19.1	15.9	34.3	2.8
子どもの有無	子どもはいる	(455)	4.2	25.9	20.7	16.9	29.7	2.6
	子どもはいない	(276)	4.7	20.3	17.4	14.5	40.6	2.5
	無回答	(13)	7.7	7.7	7.7	61.5		15.4

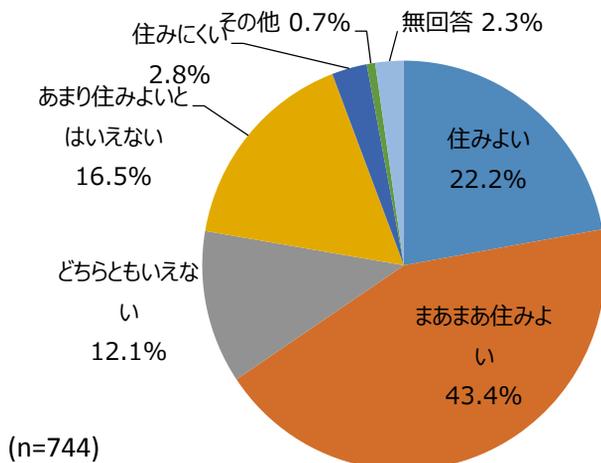
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

4. 住み心地（伊達市の住みよさ）

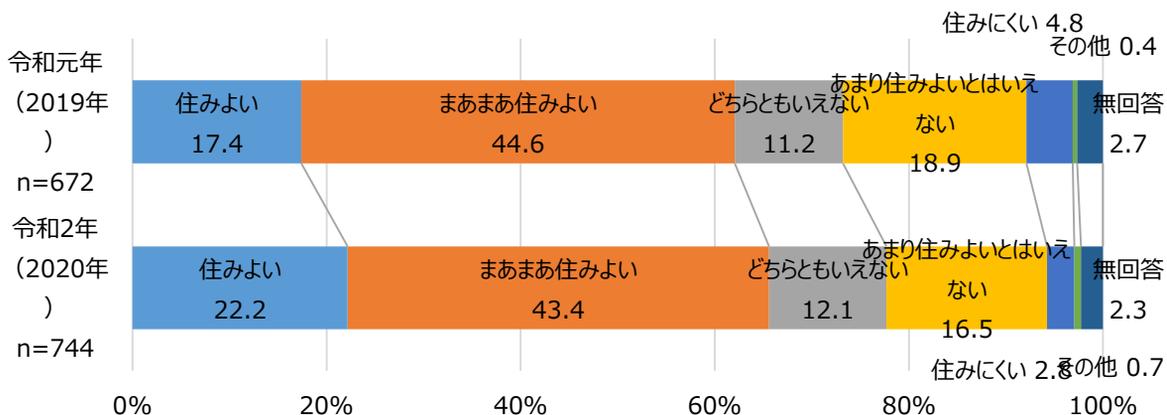
問26 あなたにとって、伊達市は住みよいまちですか。【1つだけ選択】

- 伊達市が住みよいまちかどうかについては、「住みよい」が22.2%、「まあまあ住みよい」が43.4%で、肯定的な回答は6割を超えています。
- 一方、「住みにくい」は2.8%、「あまり住みよいとはいえない」は16.5%となりました。
- 前年調査との比較では、肯定的な見方がやや増加しています。

伊達市の住みよさ



前年調査との比較



4. 住み心地（伊達市の住みよさ）

問26 あなたにとって、伊達市は住みよいまちですか。【1つだけ選択】

性別

- 性別でみると、「住みよい」「まあまあ住みよい」は女性からの回答がやや多くなっています。

		n=	住みよい	まあまあ住みよい	どちらともいえない	あまり住みよいとはいえない	住みにくい	その他	無回答
全体		(744)	22.2	43.4	12.1	16.5	2.8	2.3	
性別	男性	(319)	21.0	42.6	12.5	17.9	2.5	2.8	
	女性	(415)	22.4	44.6	11.8	15.7	3.1	1.7	
	無回答	(10)	50.0	20.0	10.0	10.0	10.0		

1%未満のデータレベルは非表示（%）

年代別

- 年代別でみると、「20～29歳」では「住みよい」「まあまあ住みよい」が合計で7割に達しているのに対し、「40～49歳」では「あまり住みよいとはいえない」が3割近くに上り、年代による違いもみられます。

		n=	住みよい	まあまあ住みよい	どちらともいえない	あまり住みよいとはいえない	住みにくい	その他	無回答
全体		(744)	22.2	43.4	12.1	16.5	2.8	2.3	
	16～19歳	(76)	34.2	34.2	14.5	15.8			
	20～29歳	(86)	17.4	53.5	14.0	8.1	3.5	3.5	
	30～39歳	(105)	21.9	44.8	9.5	18.1	5.7		
	40～49歳	(103)	25.2	32.0	12.6	27.2	1.9	1.0	
	50～59歳	(121)	12.4	55.4	10.7	17.4	2.5		
	60～69歳	(104)	14.4	51.0	12.5	15.4	1.9	4.8	
	70～74歳	(74)	29.7	35.1	12.2	16.2	2.7	1.4	2.7
	75歳以上	(68)	29.4	35.3	11.8	10.3	2.9	2.9	7.4
	無回答	(7)	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3		

1%未満のデータレベルは非表示（%）

4. 住み心地（伊達市の住みよさ）

問26 あなたにとって、伊達市は住みよいまちですか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、伊達・保原地域では肯定的な見方が7割を超えているのに対し、霊山地域では5割を下回り、地域による違いが見受けられます。

		n=	住みよい	まあまあ住みよい	どちらともいえない	あまり住みよいとはいえない	住みにくい	その他	無回答
全体		(744)	22.2	43.4	12.1	16.5	2.8	2.3	
居住地域	伊達	(174)	30.5	40.8	10.3	12.6	3.4	1.1	
	梁川	(181)	18.2	42.5	19.3	14.9	1.1	2.2	
	保原	(226)	25.2	50.4	8.8	12.4	1.3	1.8	
	霊山	(87)	11.5	37.9	10.3	28.7	6.9	4.6	
	月舘	(67)	13.4	40.3	10.4	28.4	4.5	3.0	
	無回答	(9)	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	

1%未満のデータは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別による大きな違いはみられず、ともに「住みよい」「まあまあ住みよい」の合計が6割を超えています。

		n=	住みよい	まあまあ住みよい	どちらともいえない	あまり住みよいとはいえない	住みにくい	その他	無回答
全体		(744)	22.2	43.4	12.1	16.5	2.8	2.3	
子どもの有無	子どもはいる	(455)	22.4	43.3	11.4	17.4	2.9	1.8	
	子どもはいない	(276)	21.7	44.2	12.7	15.6	2.9	2.5	
	無回答	(13)	23.1	30.8	23.1	7.7	15.4		

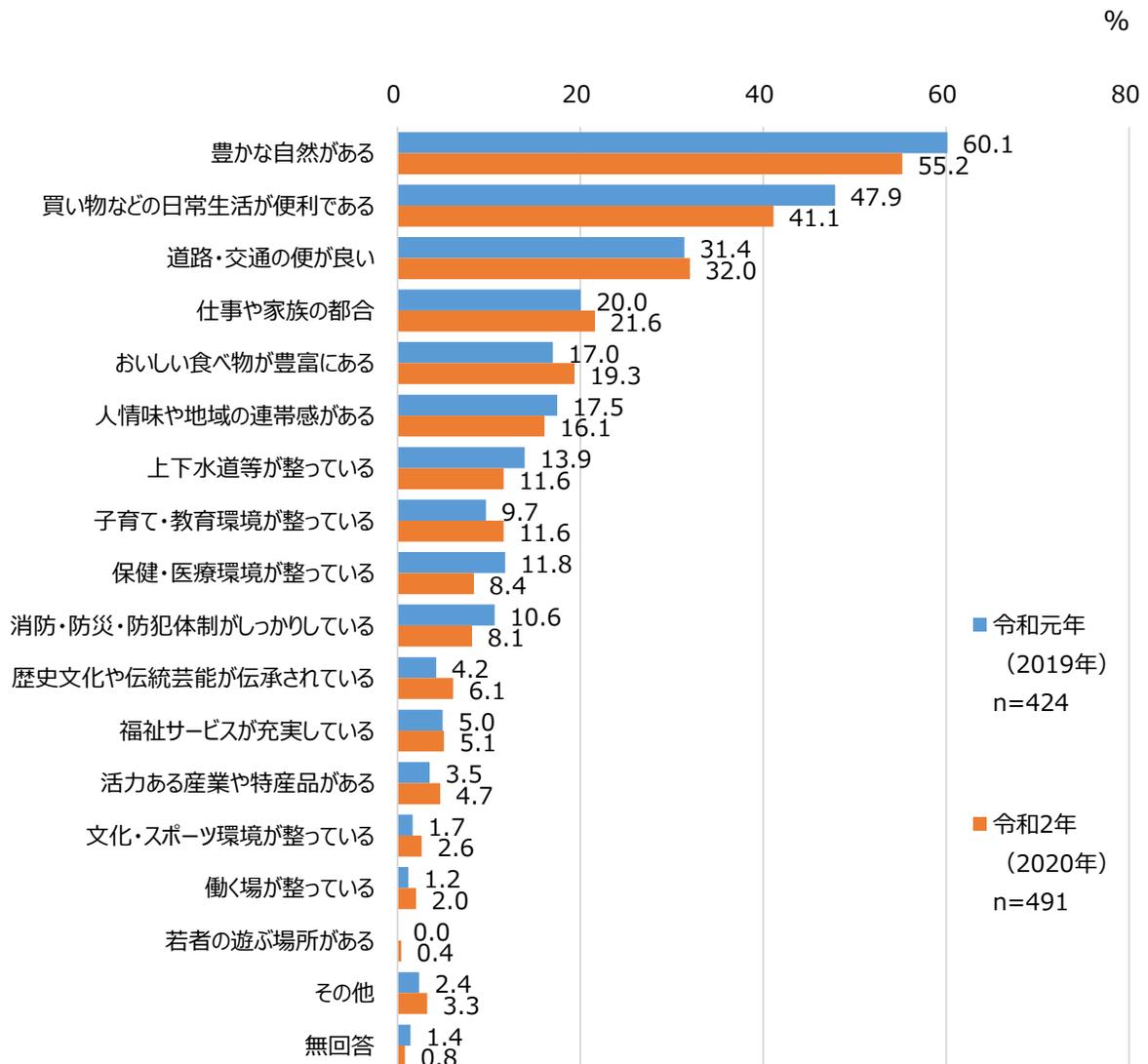
1%未満のデータは非表示 (%)

4. 住み心地（伊達市の住みよい理由）

問26-1 住みよいと思う理由は何ですか。【3つまで選択】

- 伊達市が「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した方の、住みよいと思う理由については、「豊かな自然がある」が55.2%で最も多く、次いで「買物などの日常生活が便利である」が41.1%、「道路・交通の便が良い」が32.0%と続いています。
- 前年調査との比較では、「おいしい食べ物が豊富にある」「子育て・教育環境が整っている」などの回答割合が増加しています。

伊達市の住みよい理由



4. 住み心地（伊達市の住みよい理由）

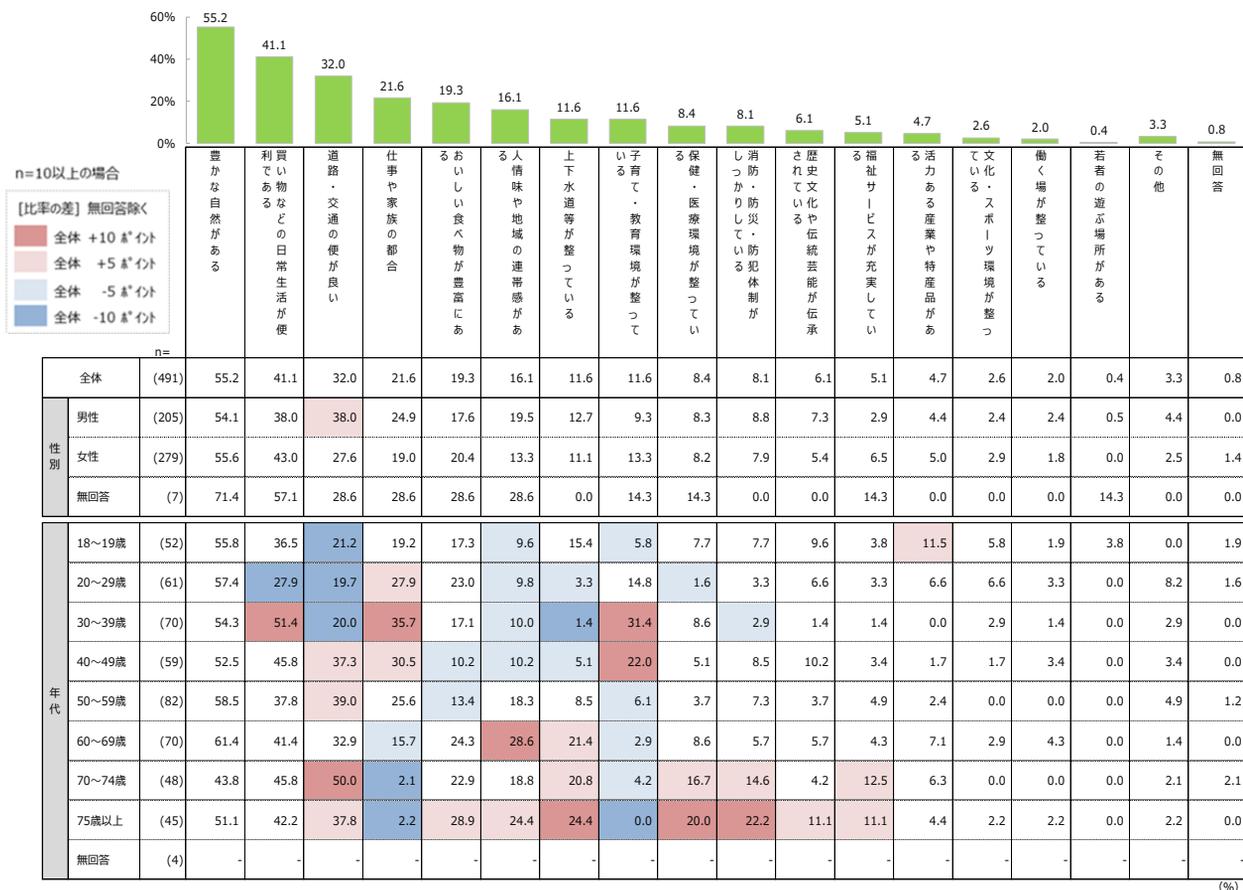
問26-1 住みよいと思う理由は何ですか。【3つまで選択】

性別

- 住みよいと思う理由を性別で見ると、ともに「豊かな自然がある」が最も多くなりましたが、男性では「道路・交通の便が良い」がやや高くなっています。

年代別

- 年代別で見ると、10代では「活力ある産業や特産品がある」への回答が多くみられました。
- 30代～40代では「子育て・教育環境が整っている」が他の年代に比べて多くなっています。



4. 住み心地（伊達市の住みよい理由）

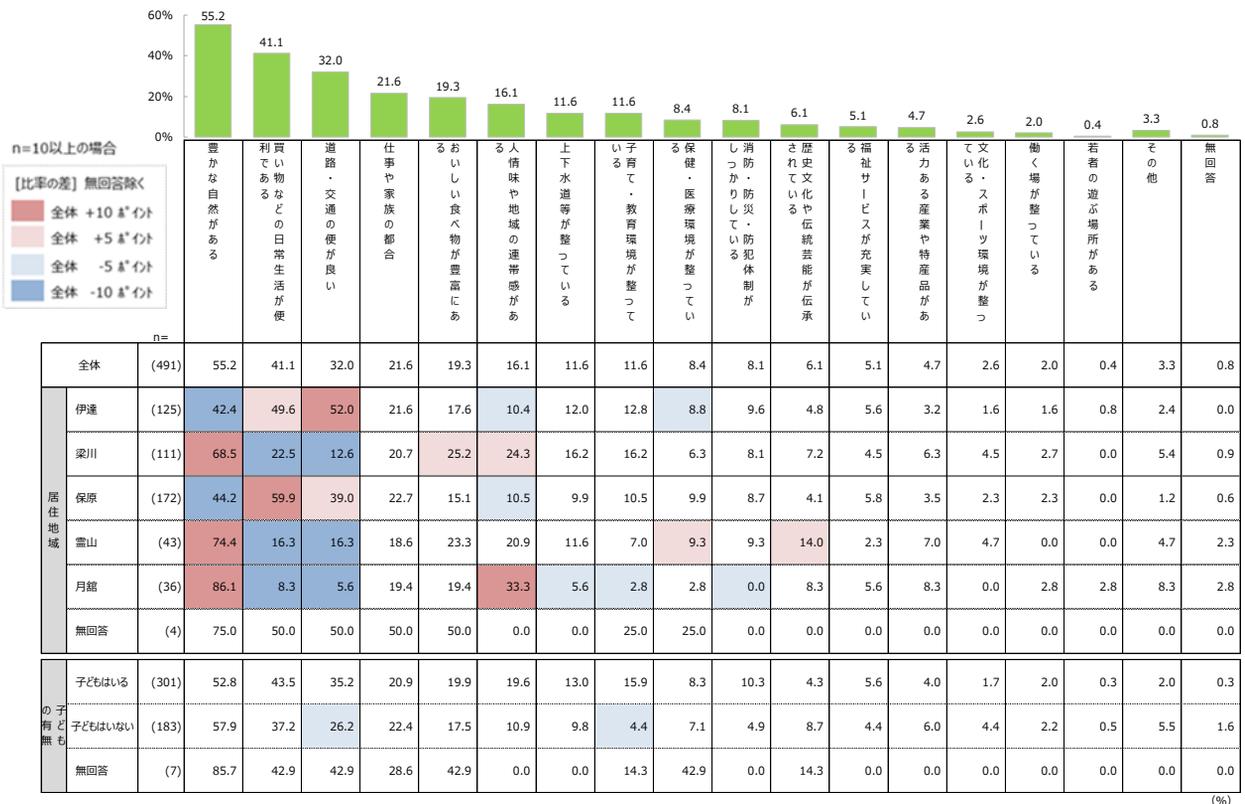
問26-1 住みよいと思う理由は何ですか。【3つまで選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「豊かな自然がある」は月舘・霊山・梁川地域で高くなっています。
- 「買い物などの日常生活が便利である」「道路・交通の便が良い」は伊達・保原地域での回答が多く、他の地域との差が大きく表れています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「子育て・教育環境が整っている」は子どもがいる人からの支持が高めとなっています。

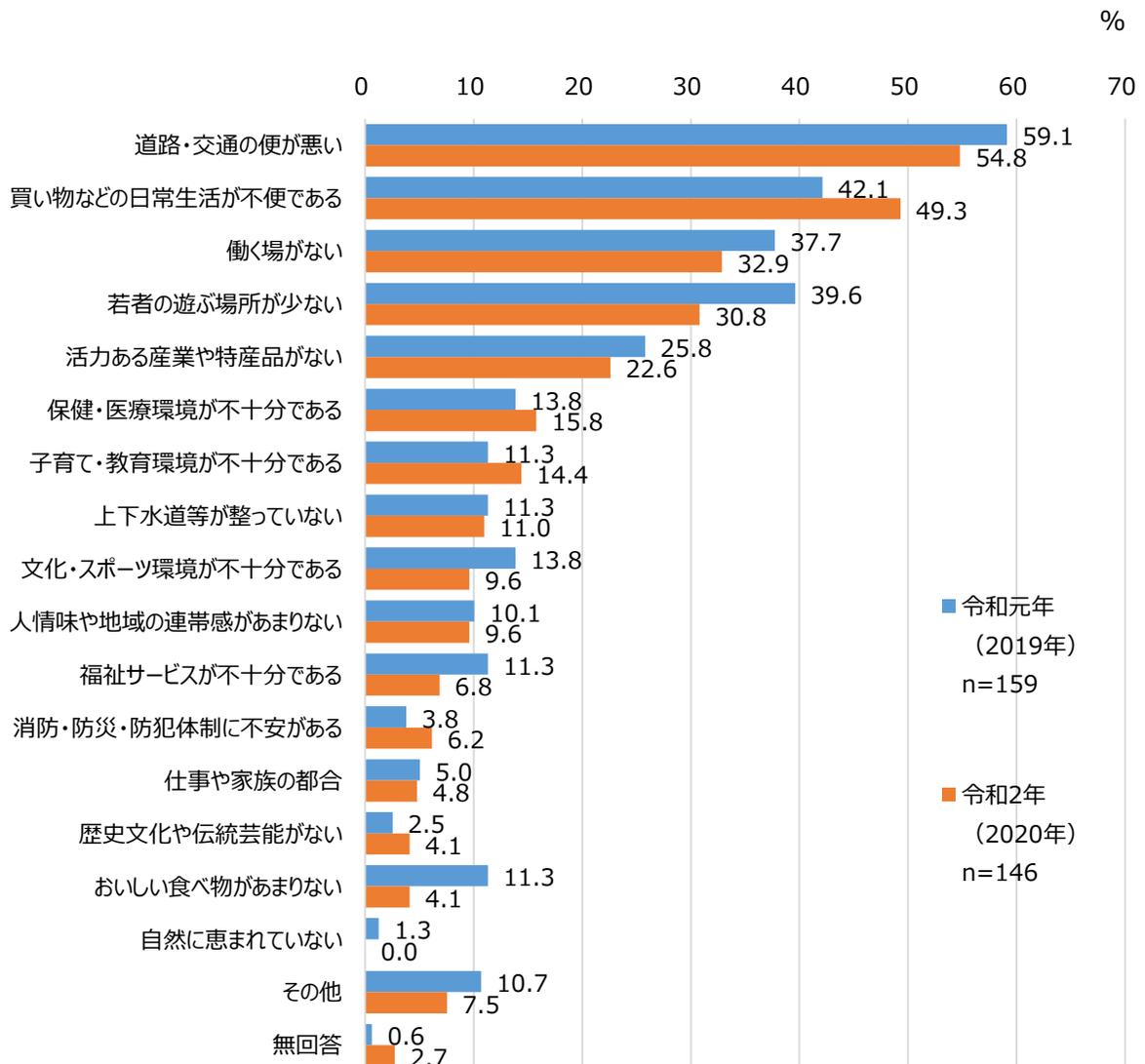


4. 住み心地（伊達市の住みにくい理由）

問26-2 住みにくいと思う理由は何ですか。【3つまで選択】

- 伊達市が「住みにくい」「あまり住みよいとはいえない」と回答した方の、住みにくいと思う理由については、「道路・交通の便が悪い」が54.8%で最も多く、次いで「買物などの日常生活が不便である」が49.3%、「働く場がない」が32.9%と続いています。
- 前年調査との比較では、「若者の遊ぶ場所が少ない」が減少し、保健・医療環境や子育て・教育環境に対する回答がやや増えています。

伊達市の住みにくい理由



4. 住み心地（伊達市の住みにくい理由）

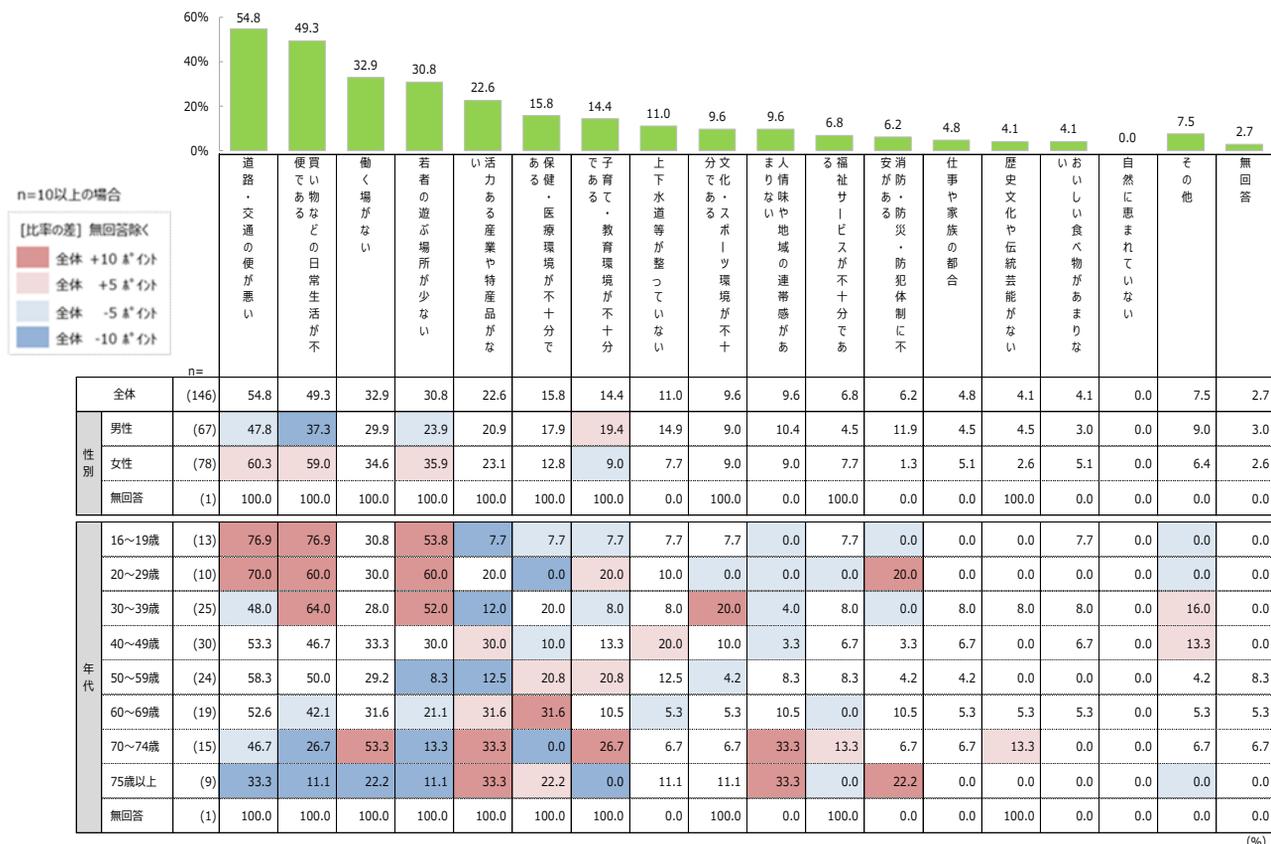
問26-2 住みにくいと思う理由は何ですか。【3つまで選択】

性別

- 住みにくいと思う理由を性別で見ると、「道路・交通の便が悪い」「買い物などの日常生活が不便である」は女性の6割前後が回答しています。
- 「子育て・教育環境が不十分である」は男性からの回答が多くなっています。

年代別

- 年代別にみると、10代～20代は「道路・交通の便が悪い」「買い物などの日常生活が不便である」「若者の遊ぶ場所が少ない」などが他の年代に比べて多くなっています。
- 70代以上では他の年代に比べて「人情味や地域の連帯感があまりない」が多くなっています。



4. 住み心地（伊達市の住みにくい理由）

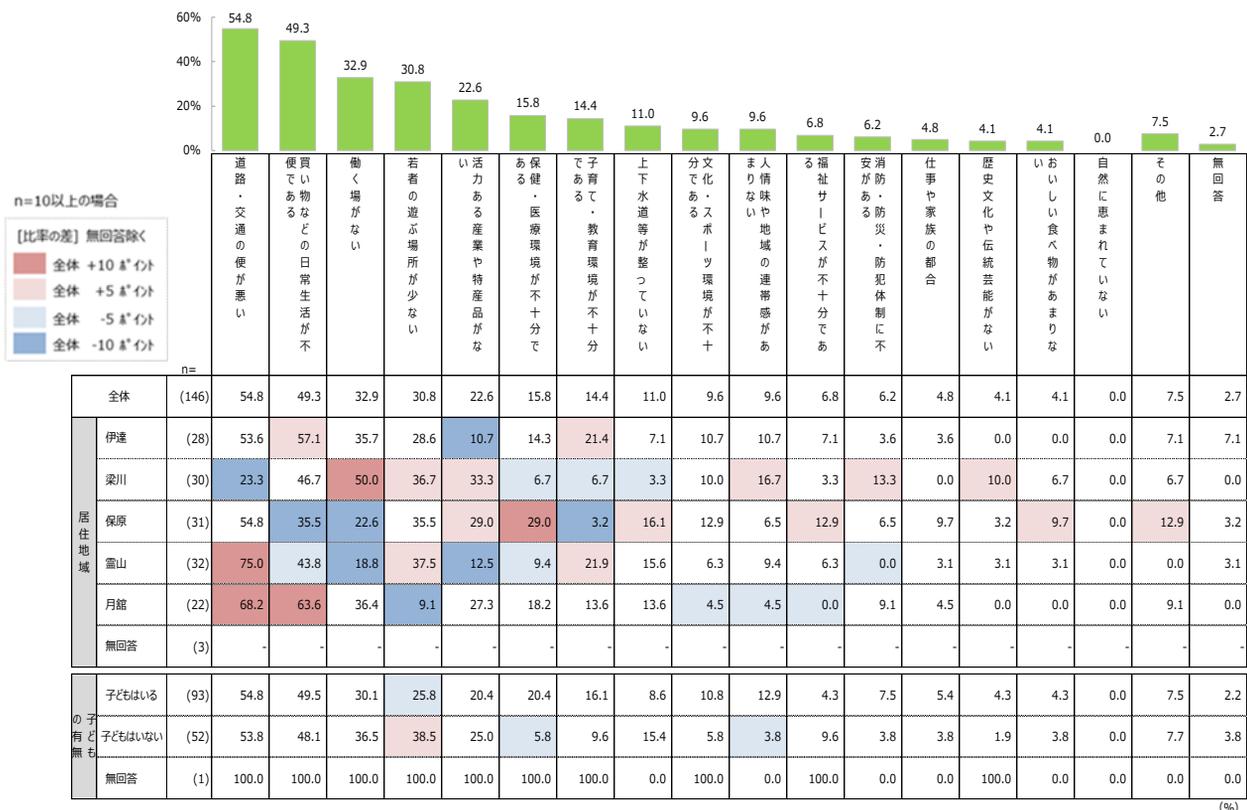
問26-2 住みにくいと思う理由は何ですか。【3つまで選択】

居住地域別

- 居住地域別にみると、「道路・交通の便が悪い」については、霊山・月舘地域での回答が目立ち、月舘地域は「買い物などの日常生活が不便である」も高くなっています。
- 保原地域では、「保健・医療環境が不十分である」が他の地域に比べて高くなっています。
- 梁川地域では、「働く場がない」が他の地域に比べて高くなっています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいない人では「若者の遊ぶ場所が少ない」が多くなっています。

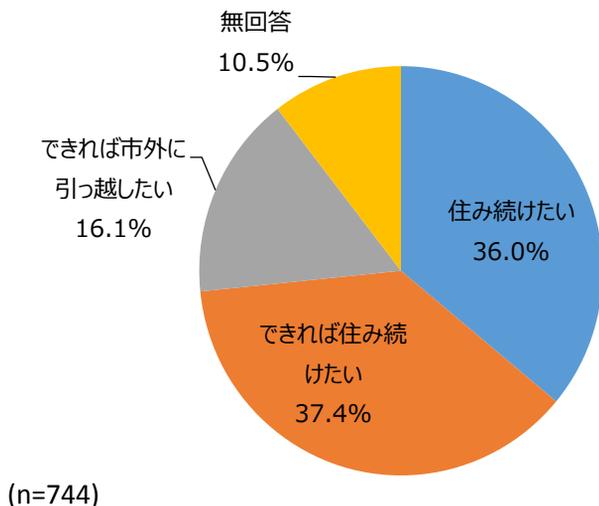


4. 住み心地（今後の伊達市への定住意向）

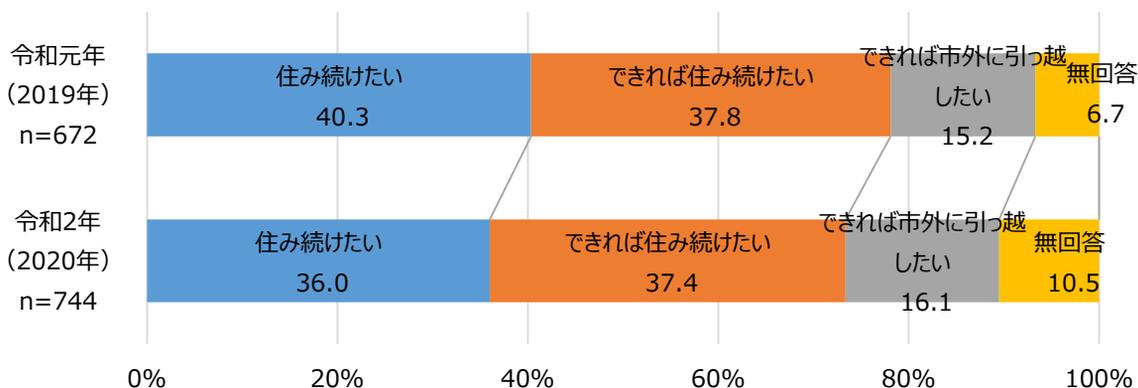
問27 これからも伊達市に住み続けたいと思いますか。【1つだけ選択】

- これからも伊達市に住み続けたいと思うかについては、「住み続けたい」が36.0%、「できれば住み続けたい」が37.4%となり、住み続けたい意向を持つ方が7割を超えています。一方、「できれば市外に引っ越したい」は16.1%となっています。
- 前年調査との比較では、住み続けたいとの意向がやや減少する結果となりました。

今後の伊達市への居住意向



前年調査との比較



4. 住み心地（今後の伊達市への定住意向）

問27 これからも伊達市に住み続けたいと思いますか。【1つだけ選択】

性別

- 今後も伊達市に住み続けたいとの意向は男性がやや多く、女性は「できれば市外に引っ越したい」がやや多くなっています。

		n=	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば市外に引っ越したい	無回答
全体		(744)	36.0	37.4	16.1	10.5
性別	男性	(319)	37.6	38.6	13.5	10.3
	女性	(415)	34.7	36.4	18.6	10.4
	無回答	(10)	40.0	40.0		20.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、住み続けたいとの意向は10代～20代では6割強にとどまり、30代以上との差がみられます。

		n=	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば市外に引っ越したい	無回答
全体		(744)	36.0	37.4	16.1	10.5
	16～19歳	(76)	27.6	32.9	36.8	2.6
	20～29歳	(86)	15.1	47.7	27.9	9.3
	30～39歳	(105)	39.0	39.0	16.2	5.7
	40～49歳	(103)	37.9	41.7	16.5	3.9
	50～59歳	(121)	39.7	39.7	14.9	5.8
	60～69歳	(104)	41.3	36.5	7.7	14.4
	70～74歳	(74)	37.8	27.0	8.1	27.0
	75歳以上	(68)	47.1	27.9	2.9	22.1
	無回答	(7)	42.9	42.9		14.3

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

4. 住み心地（今後の伊達市への定住意向）

問27 これからも伊達市に住み続けたいと思いますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、保原地域では「住み続けたい」が4割を超えています。一方、霊山地域では「できれば市外に引っ越したい」が27.6%と地域別で最も高くなっています。

		n=	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば市外に引っ越したい	無回答
全体		(744)	36.0	37.4	16.1	10.5
居住地域	伊達	(174)	36.2	40.8	14.9	8.0
	梁川	(181)	34.8	40.9	16.0	8.3
	保原	(226)	42.0	34.1	12.4	11.5
	霊山	(87)	26.4	31.0	27.6	14.9
	月舘	(67)	31.3	38.8	17.9	11.9
	無回答	(9)	33.3	33.3	11.1	22.2

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「住み続けたい」は子どもがいる人で42.2%に上りました。一方、子どもがいない人では「できれば市外に引っ越したい」が26.1%となっています。

		n=	住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば市外に引っ越したい	無回答
全体		(744)	36.0	37.4	16.1	10.5
子どもの有無	子どもはいる	(455)	42.2	35.6	10.3	11.9
	子どもはいない	(276)	26.1	40.2	26.1	7.6
	無回答	(13)	30.8	38.5	7.7	23.1

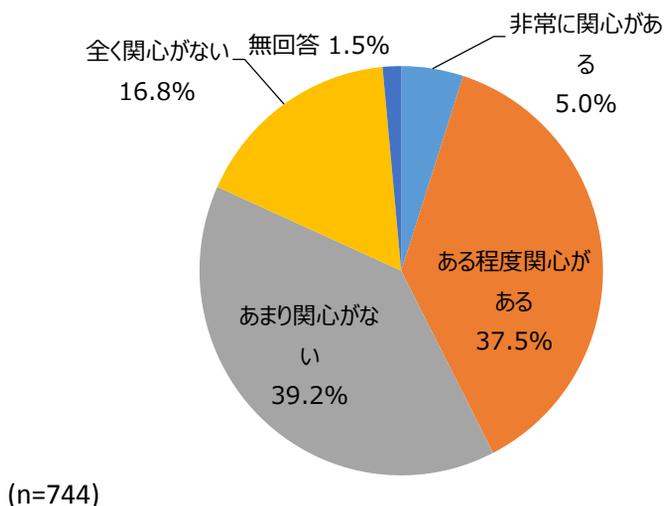
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

5. 市民活動や地域活動等（町内会や自治会等への関心）

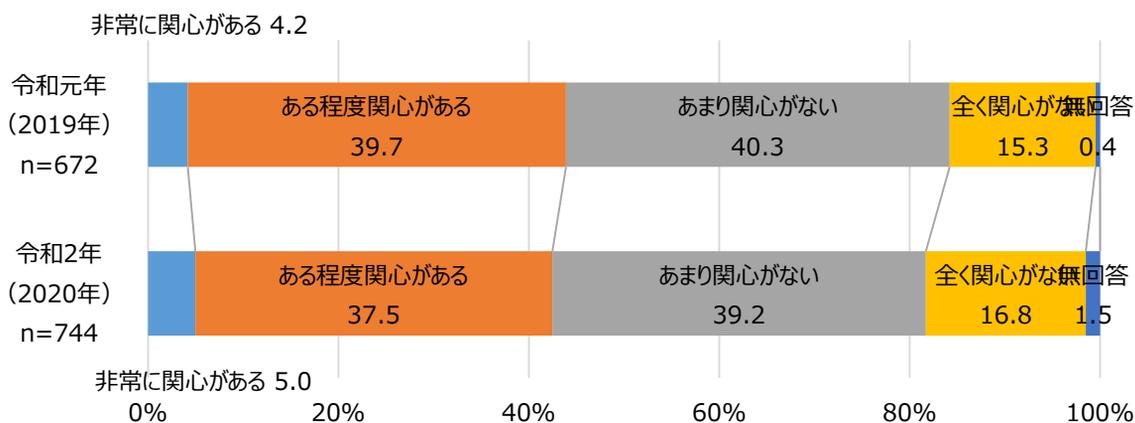
問28 あなたは自分の住む地域の町内会や自治会等に関心がありますか。【1つだけ選択】

- 自分の住む地域の町内会や自治会等への関心については、「非常に関心がある」が5.0%、「ある程度関心がある」が37.5%で、関心があるとの回答は42.5%に上っています。
- 一方、「全く関心がない」は16.8%、「あまり関心がない」は39.2%で、関心がないとの回答は5割を超えています。
- 前年調査との比較では、関心があるとの回答がやや減少しています。

町内会や自治会等への関心



前年調査との比較



5. 市民活動や地域活動等（町内会や自治会等への関心）

問28 あなたは自分の住む地域の町内会や自治会等に関心がありますか。【1つだけ選択】

性別

- 町内会や自治会等については、関心があるとの回答は男性がやや高めとなりました。女性は関心がないとの回答が6割に達しています。

		n=	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体		(744)	5.0	37.5	39.2	16.8	1.5
性別	男性	(319)	7.8	40.1	35.1	15.4	1.6
	女性	(415)	2.9	35.4	42.9	17.6	1.2
	無回答	(10)		40.0	20.0	30.0	10.0

1%未満のデータレベルは非表示（%）

年代別

- 年代別にみると、年代が上がるほど関心があるとの回答も多くなる傾向にあり、60歳以上では6割を超えています。一方、30代以下では関心がないとの回答が圧倒的に多くなっています。

		n=	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体		(744)	5.0	37.5	39.2	16.8	1.5
	16～19歳	(76)		22.4	48.7	28.9	
	20～29歳	(86)	3.5	11.6	41.9	39.5	3.5
	30～39歳	(105)	1.9	27.6	52.4	18.1	
	40～49歳	(103)	4.9	35.9	41.7	16.5	1.0
	50～59歳	(121)	3.3	34.7	46.3	14.9	
	60～69歳	(104)	4.8	56.7	29.8	7.7	1.0
	70～74歳	(74)	6.8	60.8	29.7	2.7	
	75歳以上	(68)	19.1	54.4	17.6	2.9	5.9
	無回答	(7)		42.9	42.9	14.3	

1%未満のデータレベルは非表示（%）

5. 市民活動や地域活動等（町内会や自治会等への関心）

問28 あなたは自分の住む地域の町内会や自治会等に関心がありますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「関心がある」が「関心がない」を上回った地域はありませんでした。
- 梁川・月舘地域では関心がある割合が比較的高くなっています。

		n=	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体		(744)	5.0	37.5	39.2	16.8	1.5
居住地域	伊達	(174)	3.4	40.2	38.5	17.8	
	梁川	(181)	5.5	41.4	34.8	17.1	1.1
	保原	(226)	4.9	33.2	44.2	15.9	1.8
	霊山	(87)	5.7	33.3	41.4	16.1	3.4
	月舘	(67)	7.5	40.3	37.3	13.4	1.5
	無回答	(9)		33.3	11.1	44.4	11.1

1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、子どもがいる人については「関心がある」が5割を超えています。一方、子どもがいない人については「関心がない」が7割を超え、顕著な違いがみられます。

		n=	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体		(744)	5.0	37.5	39.2	16.8	1.5
子どもの有無	子どもはいる	(455)	6.2	46.4	36.9	9.7	
	子どもはいない	(276)	3.3	22.5	44.6	27.9	1.8
	無回答	(13)		46.2	7.7	30.8	15.4

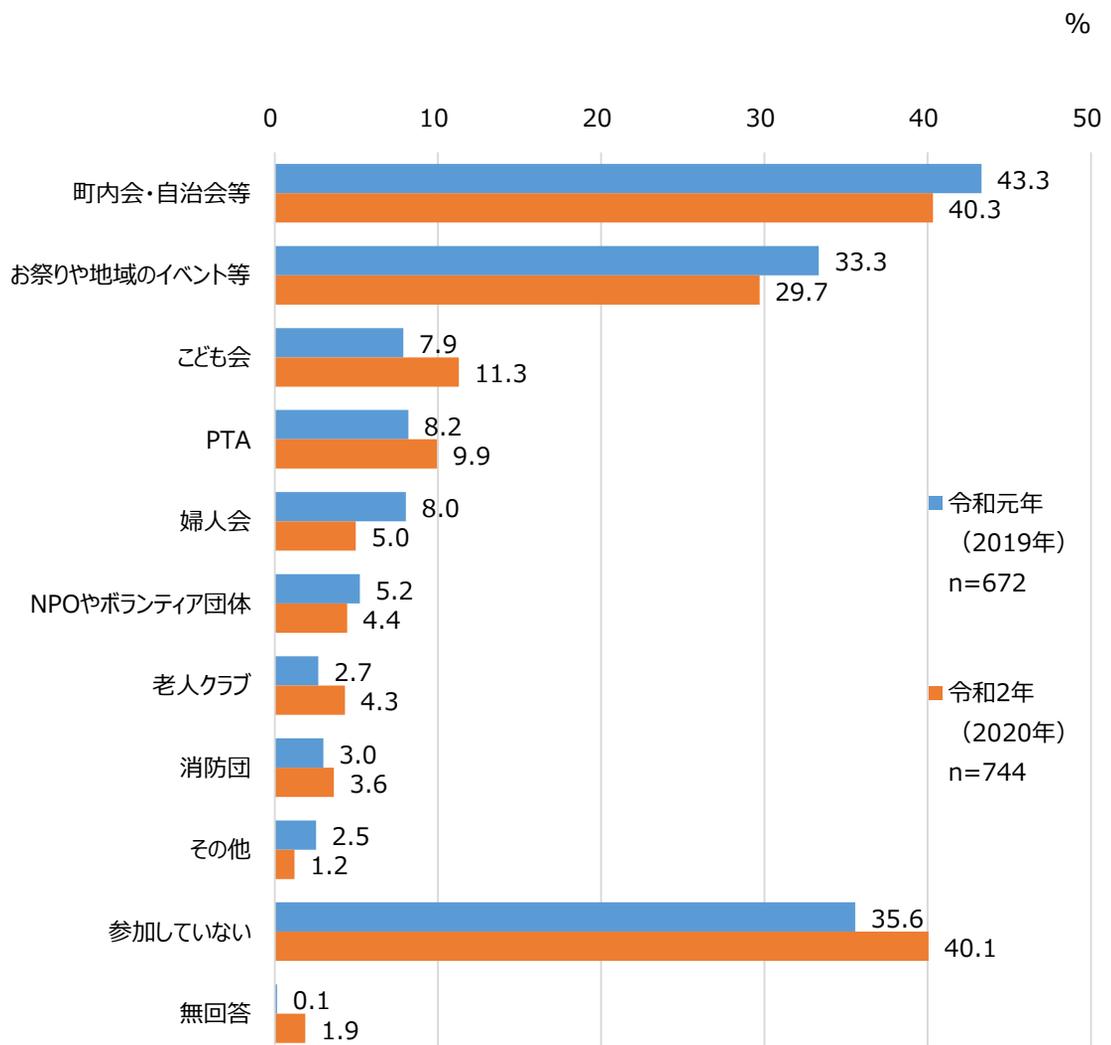
1%未満のデータレベルは非表示（%）

5. 市民活動や地域活動等（市民活動や地域活動への参加）

問29 あなたは過去1年間に、市民活動や地域活動に参加したことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 過去1年間に、参加したことがある市民活動や地域活動については、「町内会・自治会等」が40.3%で最も多く、次いで「お祭りや地域のイベント等」が29.7%、「こども会」が11.3%と続いています。
- 前年調査との比較では、「参加していない」が40.1%と前年より増加しています。

過去1年間ににおける市民活動や地域活動への参加



5. 市民活動や地域活動等（市民活動や地域活動への参加）

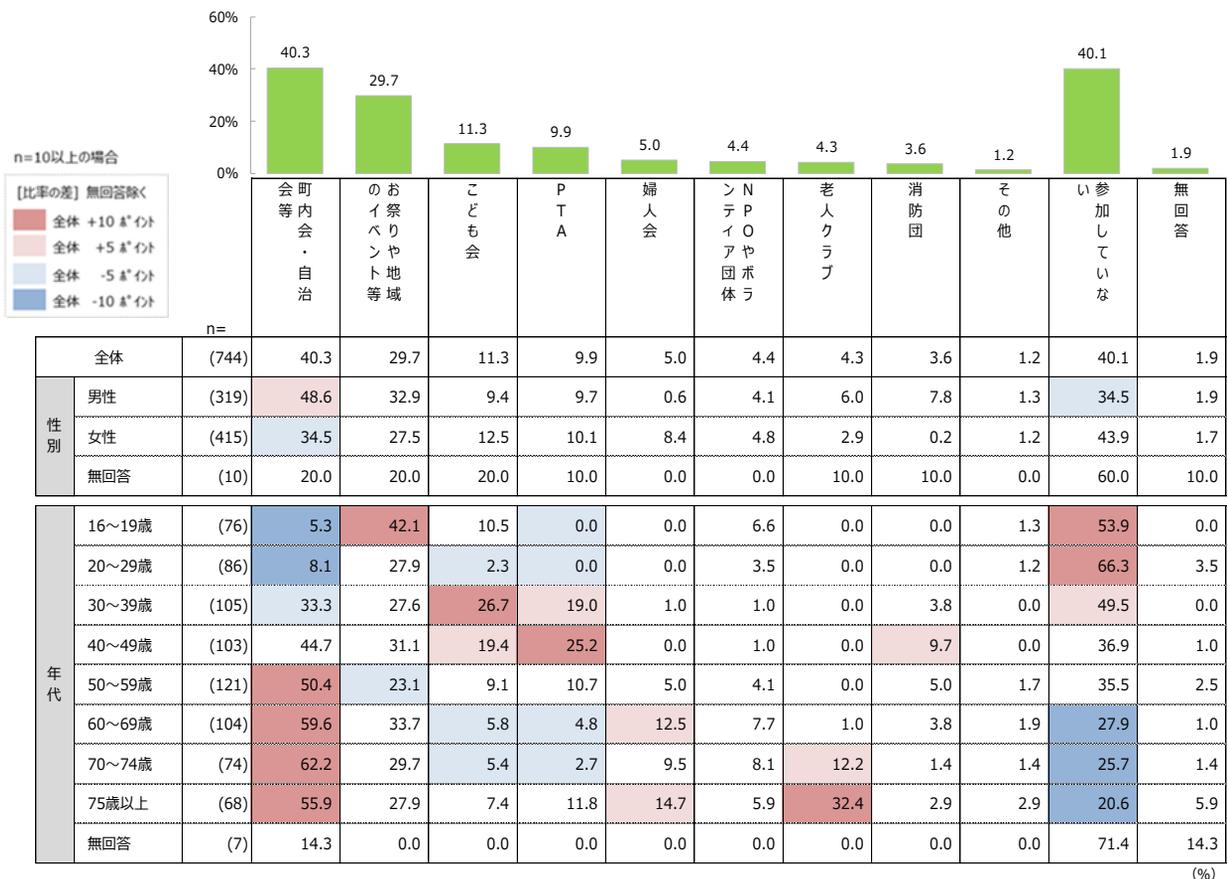
問29 あなたは過去1年間に、市民活動や地域活動に参加したことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

性別

- 市民活動や地域活動への参加有無を性別でみると、男性は「町内会・自治会等」「お祭りや地域のイベント等」「消防団」などで女性を上回り、女性は「子ども会」「PTA」「婦人会」などで男性を上回っています。

年代別

- 年代別にみると、「町内会・自治会等」は年代が上がるほど多くなり、反対に若い年代では「参加していない」が多くなっています。



5. 市民活動や地域活動等（市民活動や地域活動への参加）

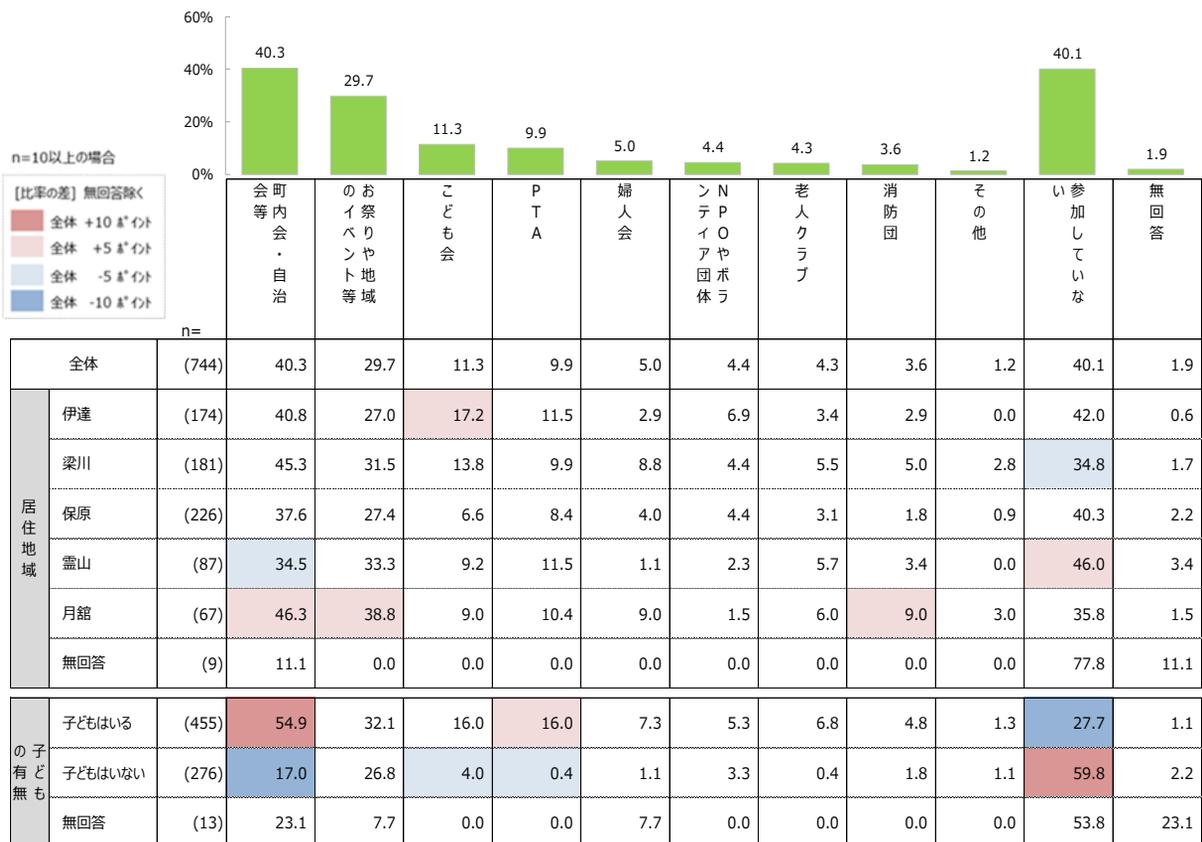
問29 あなたは過去1年間に、市民活動や地域活動に参加したことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

居住地域別

- 居住地域別でみると、月舘・梁川地域では様々な活動への参加が多くなっています。
- 霊山地域では「参加していない」が46.0%で最も高くなっています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「町内会・自治会等」については子どもがいる人が54.9%で、子どもがいない人の17.0%を大きく上回っています。子どもがいない人では「参加していない」が約6割に上っており、子どもを通じての地域活動への参加が重要な役割を果たしていることが窺えます。

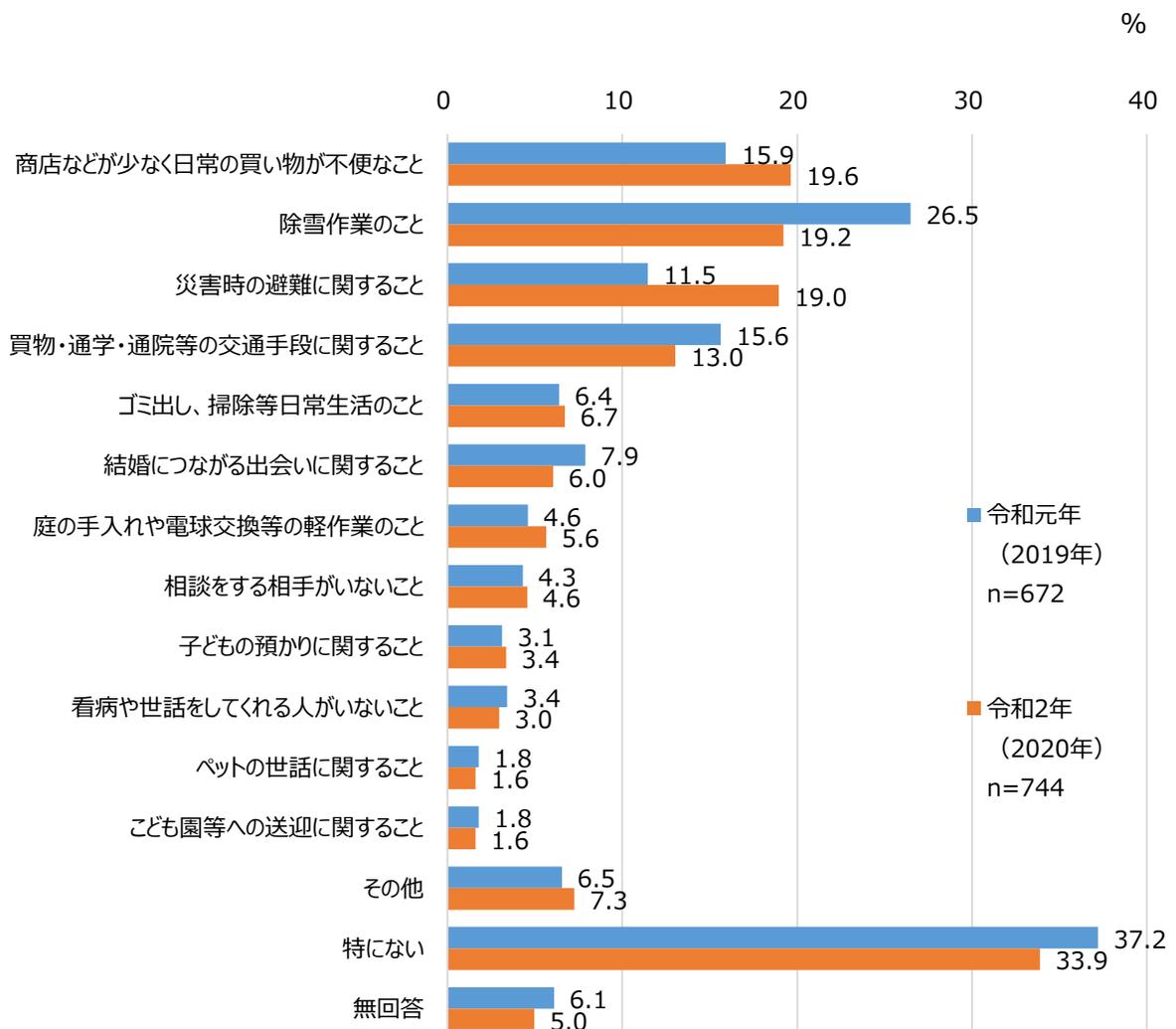


5. 市民活動や地域活動等（日常生活で困っていること）

問30 日常生活において、困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 日常生活において困っていることについては、「商店などが少なく日常の買い物が不便なこと」が19.6%、で最も多く、次いで「除雪作業のこと」が19.2%と続いています。
- 「災害時の避難に関すること」が19.0%で前年より大幅に増加しており、令和元年東日本台風の経験によるものとみられます。
- 「除雪作業のこと」が前年より減少しており、暖冬の影響が窺えます。

日常生活で困っていること



5. 市民活動や地域活動等（日常生活で困っていること）

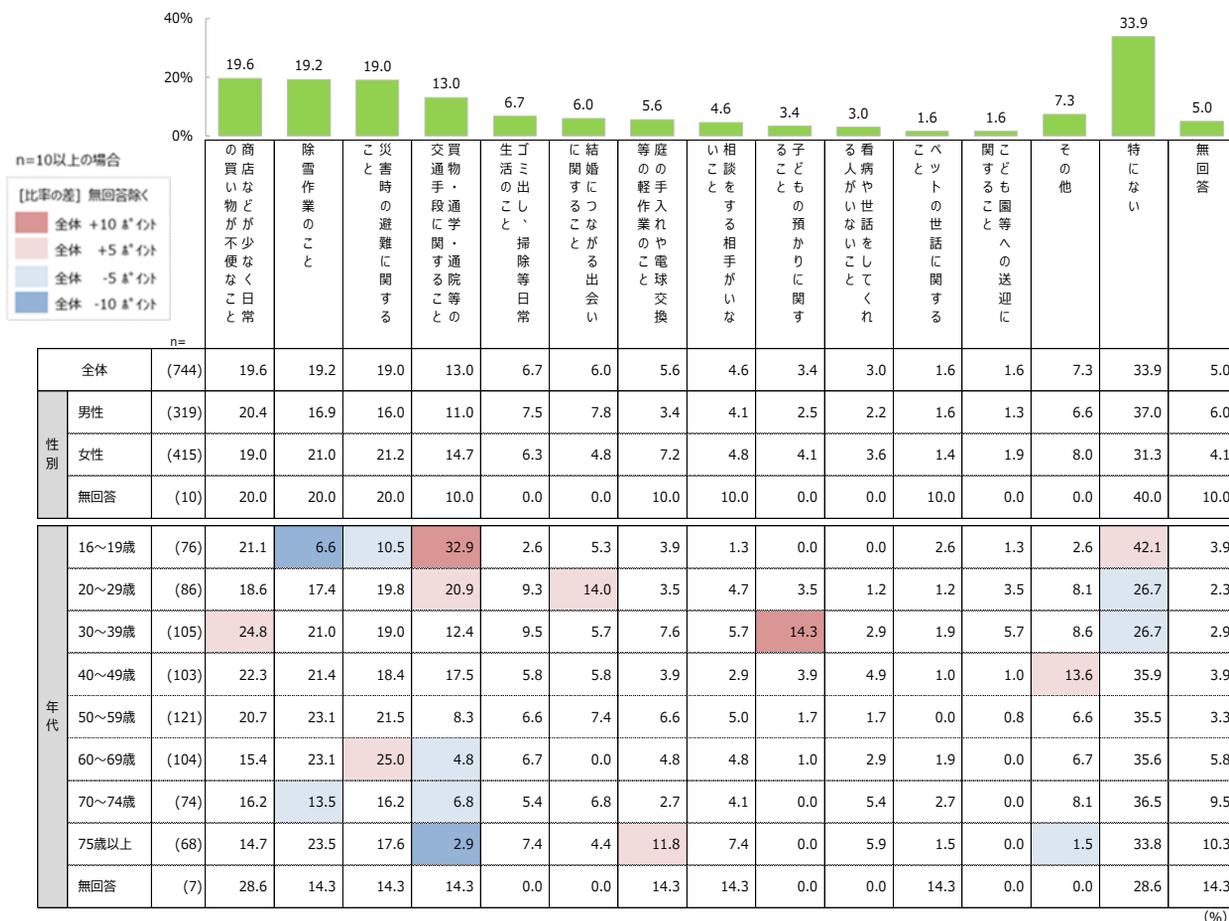
問30 日常生活において、困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

性別

- 日常生活において困っていることを性別でみると、女性が高い項目が多くなっていますが、大きな違いはみられませんでした。

年代別

- 年代別でみると、「買物・通学・通院等の交通手段に関すること」については年代が下がるほど多くなる傾向がみられ、30代では「子どもの預かりに関すること」についての回答が目立っています。



5. 市民活動や地域活動等（日常生活で困っていること）

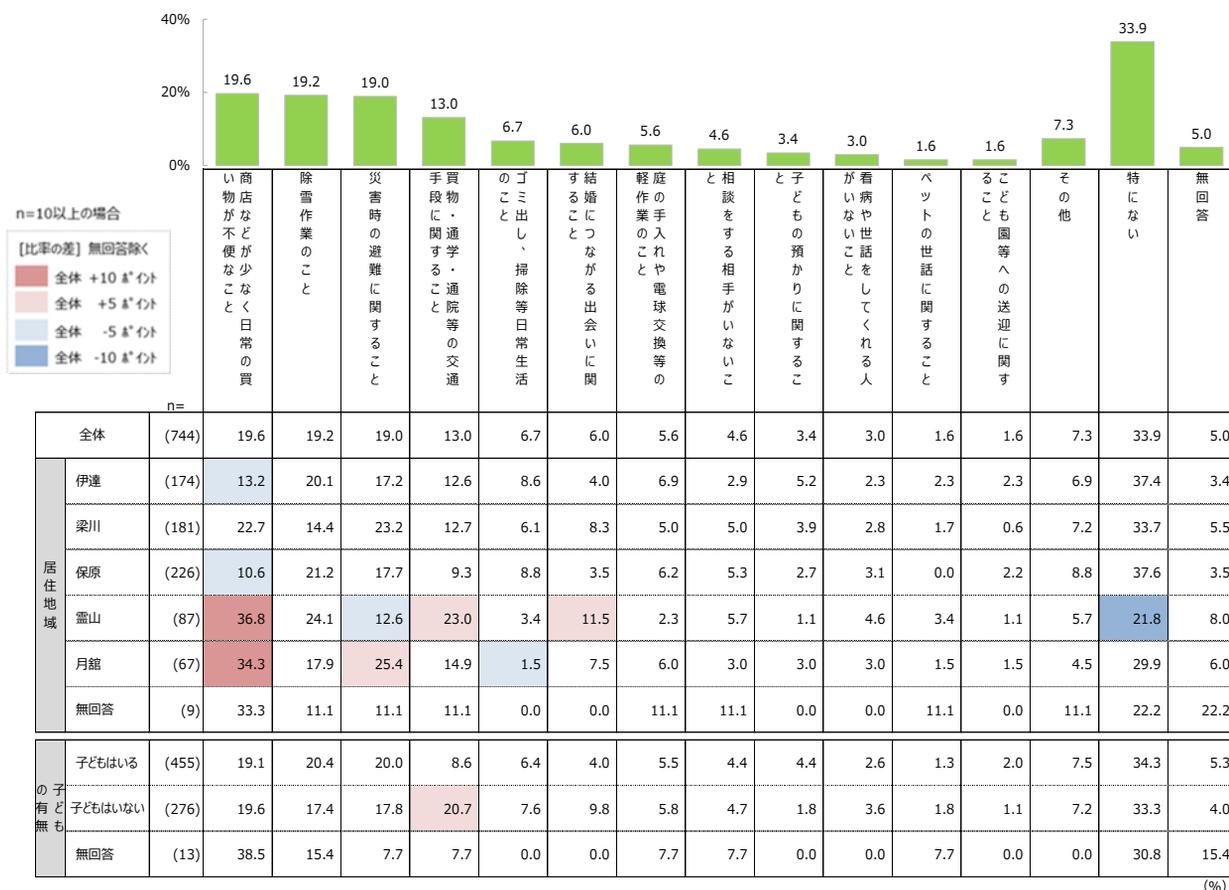
問30 日常生活において、困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

居住地域別

- 居住地域別でみると、霊山・月館地域では「商店などが少なく日常の買い物が不便」への回答が顕著に多くなっています。「結婚につながる出会いに関すること」は霊山地域で1割を超えています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「買物・通学・通院等の交通手段に関すること」で、子どもがいない人が多かったほかは、概ね同様の傾向となっています。

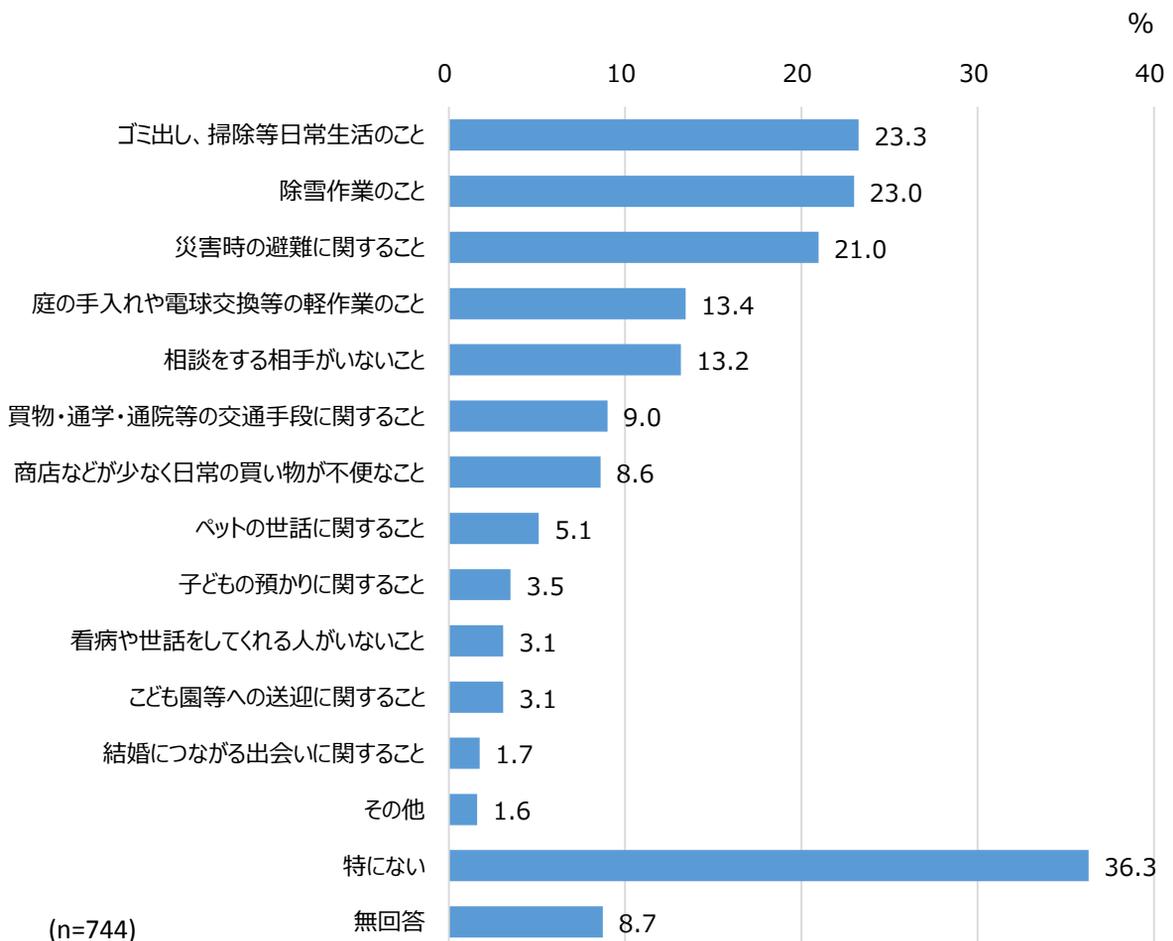


5. 市民活動や地域活動等（手助けや協力できること）

問31 問30の1～14のことで、近所の方が困っている場合、あなた自身が手助けしたり、協力できることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 問30の質問に関連し、近所の方が困っている場合に手助けしたり協力できることについては、「ゴミ出し、掃除等日常生活のこと」が23.3%で最も多く、次いで「除雪作業のこと」が23.0%となっています。
- 「災害時の避難に関すること」が21.0%と2割を超えており、令和元年東日本台風の意識が強く残っているものとみられます。

近所の方が困っている場合に手助けや協力できること



5. 市民活動や地域活動等（手助けや協力できること）

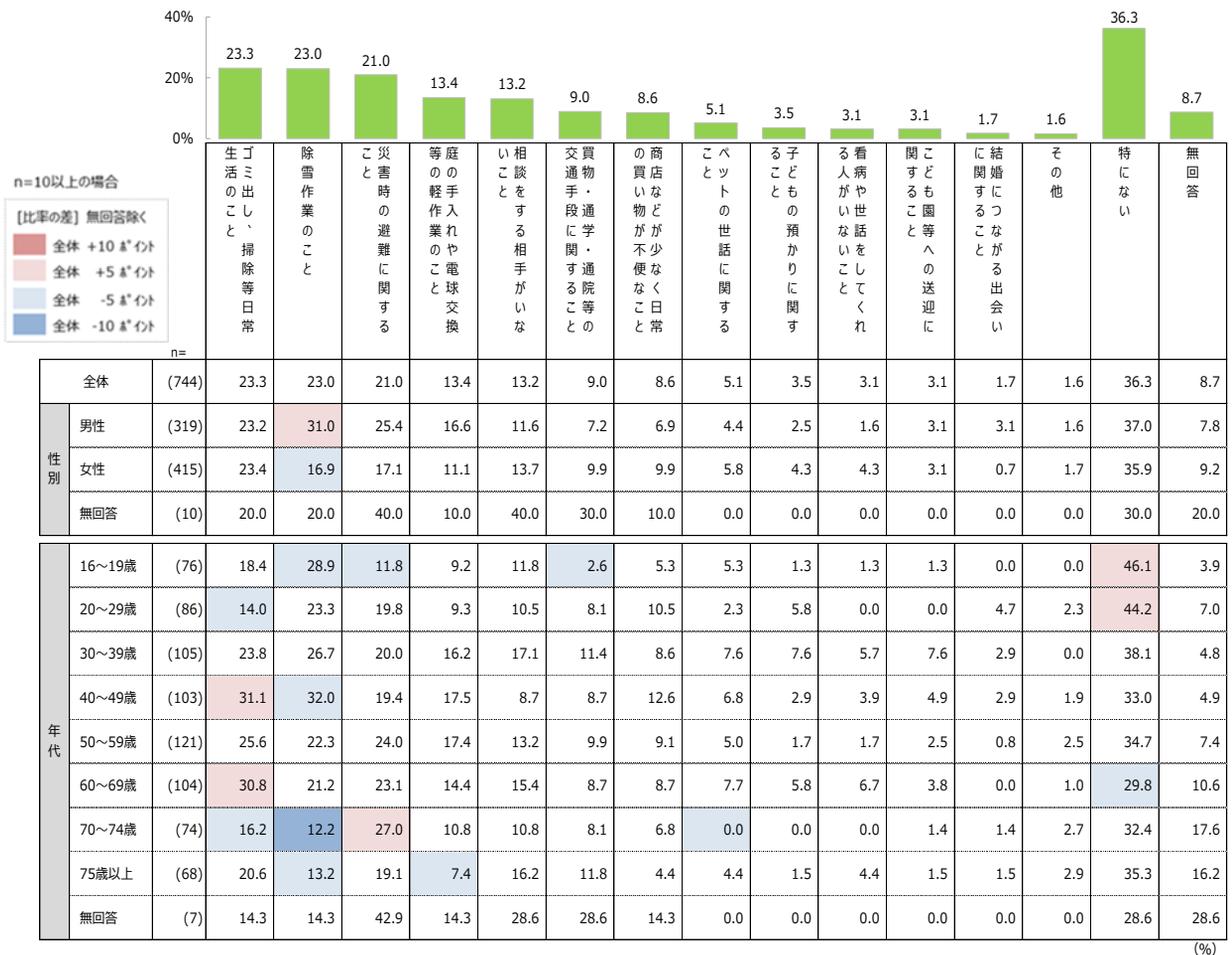
問31 問30の1～14のことで、近所の方が困っている場合、あなた自身が手助けしたり、協力できることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

性別

- 手助けや協力できることについて性別でみると、「除雪作業」「災害時の避難に関すること」は男性からの回答が多くなっています。

年代別

- 年代別でみると、「災害時の避難に関すること」は年代が上がっても多くの回答があり、災害対応の意識が浸透しているものとみられます。



5. 市民活動や地域活動等（手助けや協力できること）

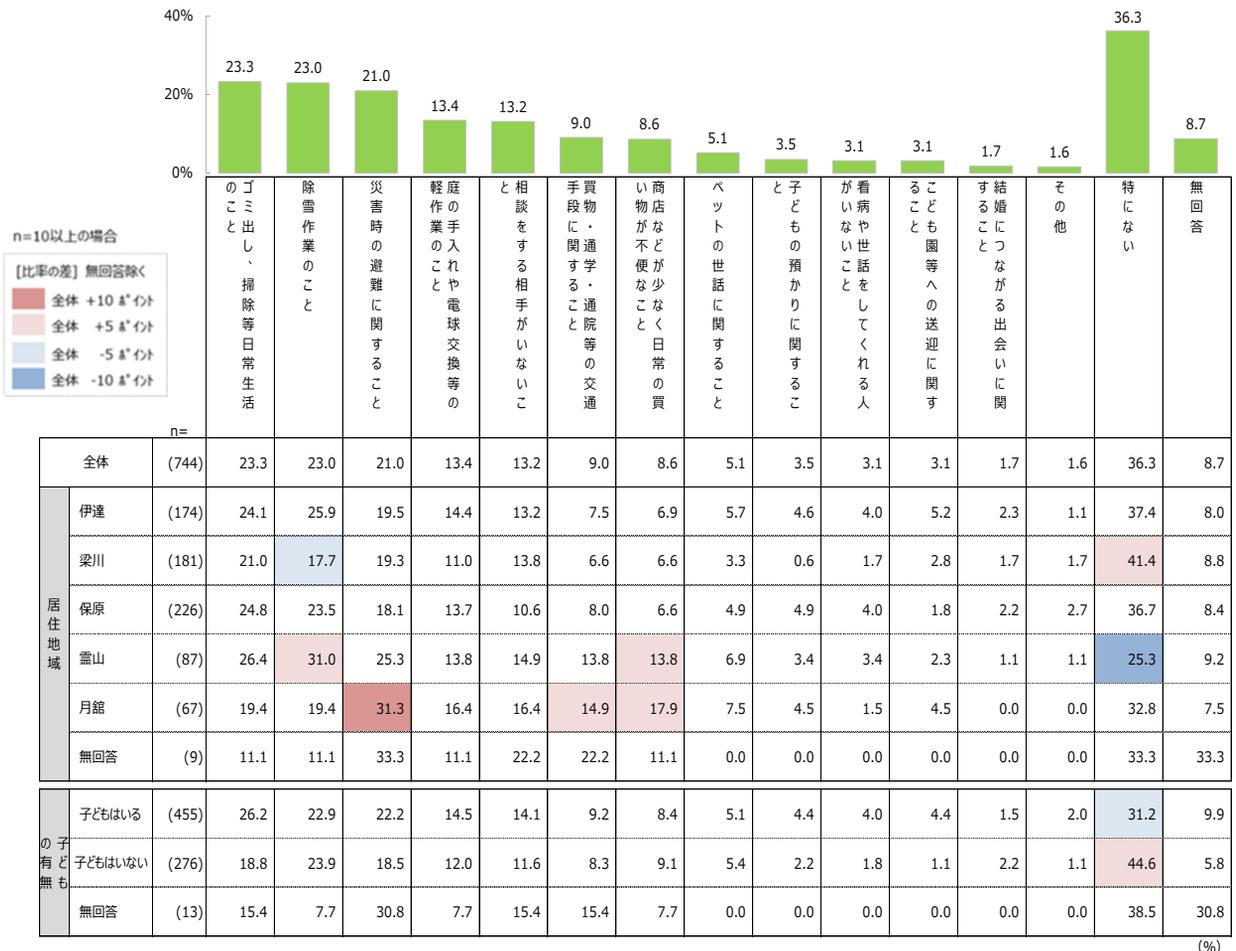
問31 問30の1～14のことで、近所の方が困っている場合、あなた自身が手助けしたり、協力できることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、霊山・月舘地域で多くの項目への回答が目立っています。
- 特に、月舘地域では「災害時の避難に関すること」への回答割合が高くなっています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、子どもがいない人で「特にない」への回答が目立ちました。

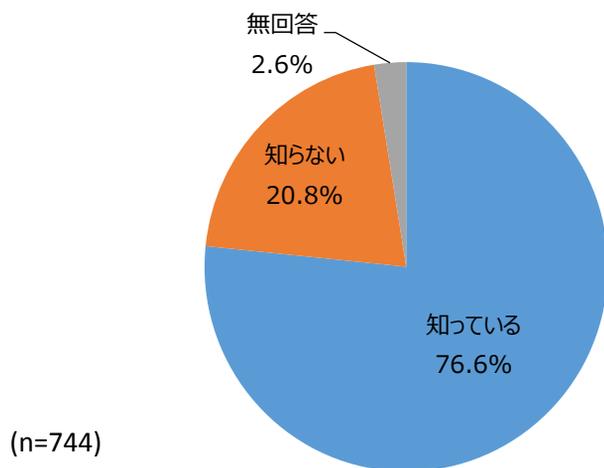


6. 防災について（最寄りの指定避難所の認知度）

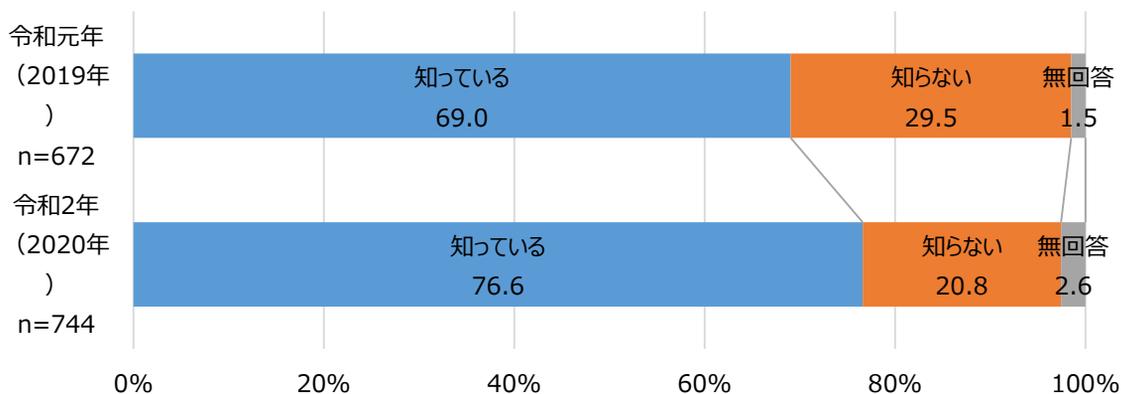
問32 災害発生時のあなたのお住まいの最寄りの指定避難所がどこにあるか知っていますか。【1つだけ選択】

- 災害発生時の最寄りの指定避難所については、「知っている」が76.6%で、「知らない」は20.8%となりました。
- 前年調査との比較では、「知っている」が7.6ポイント増加しており、令和元年東日本台風を経験し、防災意識の高まりが窺えます。

災害発生時の最寄りの指定避難所の認知度



前年調査との比較



6. 防災について（最寄りの指定避難所の認知度）

問32 災害発生時のあなたのお住まいの最寄りの指定避難所がどこにあるか知っていますか。【1つだけ選択】

性別

- 災害発生時の最寄りの指定避難所の認知度を性別で見ると、「知っている」は女性が男性をやや上回りました。

		n=	知っている	知らない	無回答
全体		(744)	76.6	20.8	2.6
性別	男性	(319)	74.3	23.8	1.9
	女性	(415)	78.3	19.0	2.7
	無回答	(10)	80.0		20.0

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、「知っている」は最も少ない「20～29歳」でも60.5%と6割を超え、60代以上では8割を超えています。

		n=	知っている	知らない	無回答
全体		(744)	76.6	20.8	2.6
年代	16～19歳	(76)	72.4	25.0	2.6
	20～29歳	(86)	60.5	38.4	1.2
	30～39歳	(105)	74.3	25.7	
	40～49歳	(103)	79.6	17.5	2.9
	50～59歳	(121)	77.7	19.0	3.3
	60～69歳	(104)	83.7	14.4	1.9
	70～74歳	(74)	83.8	12.2	4.1
	75歳以上	(68)	80.9	16.2	2.9
	無回答	(7)	71.4		28.6

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

6. 防災について（最寄りの指定避難所の認知度）

問32 災害発生時のあなたのお住まいの最寄りの指定避難所がどこにあるか知っていますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、「知っている」は月舘・伊達地域で8割を超えているほか、いずれの地域でも高い割合となっています。

		n=	知っている	知らない	無回答
全体		(744)	76.6	20.8	2.6
居住地域	伊達	(174)	81.0	17.8	1.1
	梁川	(181)	71.3	25.4	3.3
	保原	(226)	74.8	23.0	2.2
	霊山	(87)	79.3	18.4	2.3
	月舘	(67)	82.1	14.9	3.0
	無回答	(9)	77.8		22.2

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、「知っている」は子どもがいる人が82.4%で、子どもがいない人の68.1%を大きく上回っています。

		n=	知っている	知らない	無回答
全体		(744)	76.6	20.8	2.6
子どもの有無	子どもはいる	(455)	82.4	15.8	1.8
	子どもはいない	(276)	68.1	29.3	2.5
	無回答	(13)	53.8	15.4	30.8

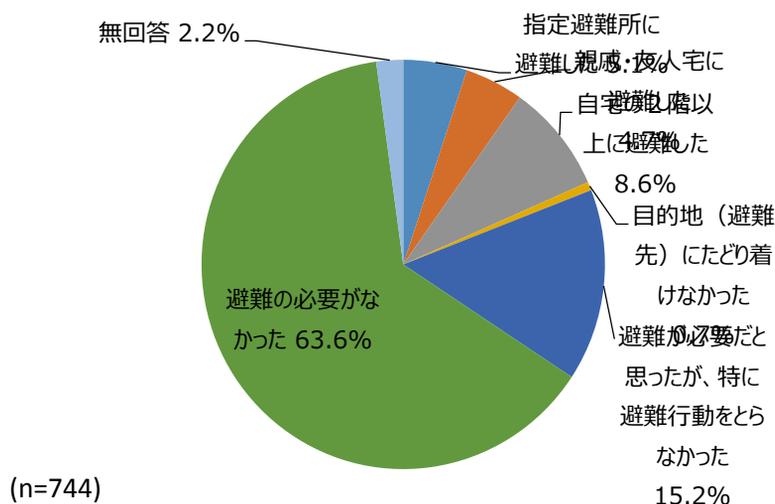
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

6. 防災について（令和元年東日本台風の際の避難行動）

問33 昨年10月の令和元年東日本台風の際に、あなたはどのような避難行動をとりましたか。【1つだけ選択】

- 令和元年東日本台風の際の避難行動については、「避難の必要がなかった」が63.6%で最も多く、次いで「避難が必要だと思ったが、特に避難行動をとらなかった」が15.2%、「自宅の2階以上に避難した」が8.6%、などと続いています。
- 一方、「目的地（避難先）にたどり着けなかった」も少数ながら0.7%ありました。

令和元年東日本台風の際の避難行動



6. 防災について（令和元年東日本台風の際の避難行動）

問33 昨年10月の令和元年東日本台風の際に、あなたはどのような避難行動をとりましたか。【1つだけ選択】

性別

- 避難行動については、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	指定避難所に避難した	親戚・友人宅に避難した	自宅の2階以上に避難した	目的地（避難先）にたどり着けなかった	避難が必要だと思ったが、特に避難行動をとらなかった	避難の必要がなかった	無回答
全体		(744)	5.1	4.7	8.6	15.2	63.6	2.2	
性別	男性	(319)	6.0	3.8	9.1	1.3	12.9	65.2	1.9
	女性	(415)	4.6	5.1	8.2	16.9	63.1	1.9	
	無回答	(10)	20.0		10.0	20.0	30.0	20.0	

1%未満のデータラベルは非表示（%）

年代別

- 年代別でも大きな違いはみられませんでした。が、「指定避難場所に避難した」は60代以上で割合が高めとなっています。

		n=	指定避難所に避難した	親戚・友人宅に避難した	自宅の2階以上に避難した	目的地（避難先）にたどり着けなかった	避難が必要だと思ったが、特に避難行動をとらなかった	避難の必要がなかった	無回答
全体		(744)	5.1	4.7	8.6	15.2	63.6	2.2	
年代	16～19歳	(76)	3.9	7.9	10.5	17.1	57.9	2.6	
	20～29歳	(86)	3.5	4.7	11.6	15.1	64.0	1.2	
	30～39歳	(105)	3.8	6.7	11.4	14.3	63.8		
	40～49歳	(103)	4.9	3.9	8.7	1.9	14.6	65.0	1.0
	50～59歳	(121)	4.1	4.1	6.6	1.7	14.0	66.9	2.5
	60～69歳	(104)	8.7	3.8	8.7	1.0	15.4	60.6	1.9
	70～74歳	(74)	5.4	4.1	5.4	14.9	67.6	2.7	
	75歳以上	(68)	7.4	5.9	16.2	66.2	4.4		
	無回答	(7)	28.6		28.6	14.3	28.6		

1%未満のデータラベルは非表示（%）

6. 防災について（令和元年東日本台風の際の避難行動）

問33 昨年10月の令和元年東日本台風の際に、あなたはどのような避難行動をとりましたか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、保原地域では「避難の必要がなかった」が73.5%と唯一7割を超えています。霊山・月舘地域では「指定避難場所に避難した」が比較的高く10%前後となりました。

		n=	指定避難所に 避難した	親戚・友人宅に 避難した	自宅の2階以上 に避難した	目的地（避難 先）にたどり着けな かった	避難が必要だと思っ たが、特に避難行動をと らなかった	避難の必要が なかった	無回答
全体		(744)	5.1	4.7	8.6	15.2	63.6	2.2	
居住地域	伊達	(174)	6.3	2.9	9.2	17.8	62.1	1.7	
	梁川	(181)	3.3	7.2	11.0	16.0	59.7	2.2	
	保原	(226)	2.7	3.1	5.3	13.3	73.5	1.8	
	霊山	(87)	9.2	4.6	10.3	1.1	16.1	55.2	3.4
	月舘	(67)	10.4	4.5	10.4	3.0	9.0	62.7	
	無回答	(9)		33.3		33.3	11.1	22.2	

1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、「避難の必要がなかった」は子どもがいる人で多くなっています。一方、子どもがいない人では「自宅の2階以上に避難した」が1割を超えています。

		n=	指定避難所に 避難した	親戚・友人宅に 避難した	自宅の2階以上 に避難した	目的地（避難 先）にたどり着けな かった	避難が必要だと思っ たが、特に避難行動をと らなかった	避難の必要が なかった	無回答
全体		(744)	5.1	4.7	8.6	15.2	63.6	2.2	
子どもの有無	子どもはいる	(455)	5.1	4.4	7.5	13.6	67.3	1.3	
	子どもはいない	(276)	5.4	4.7	10.9	17.4	58.7	2.5	
	無回答	(13)		15.4		23.1	38.5	23.1	

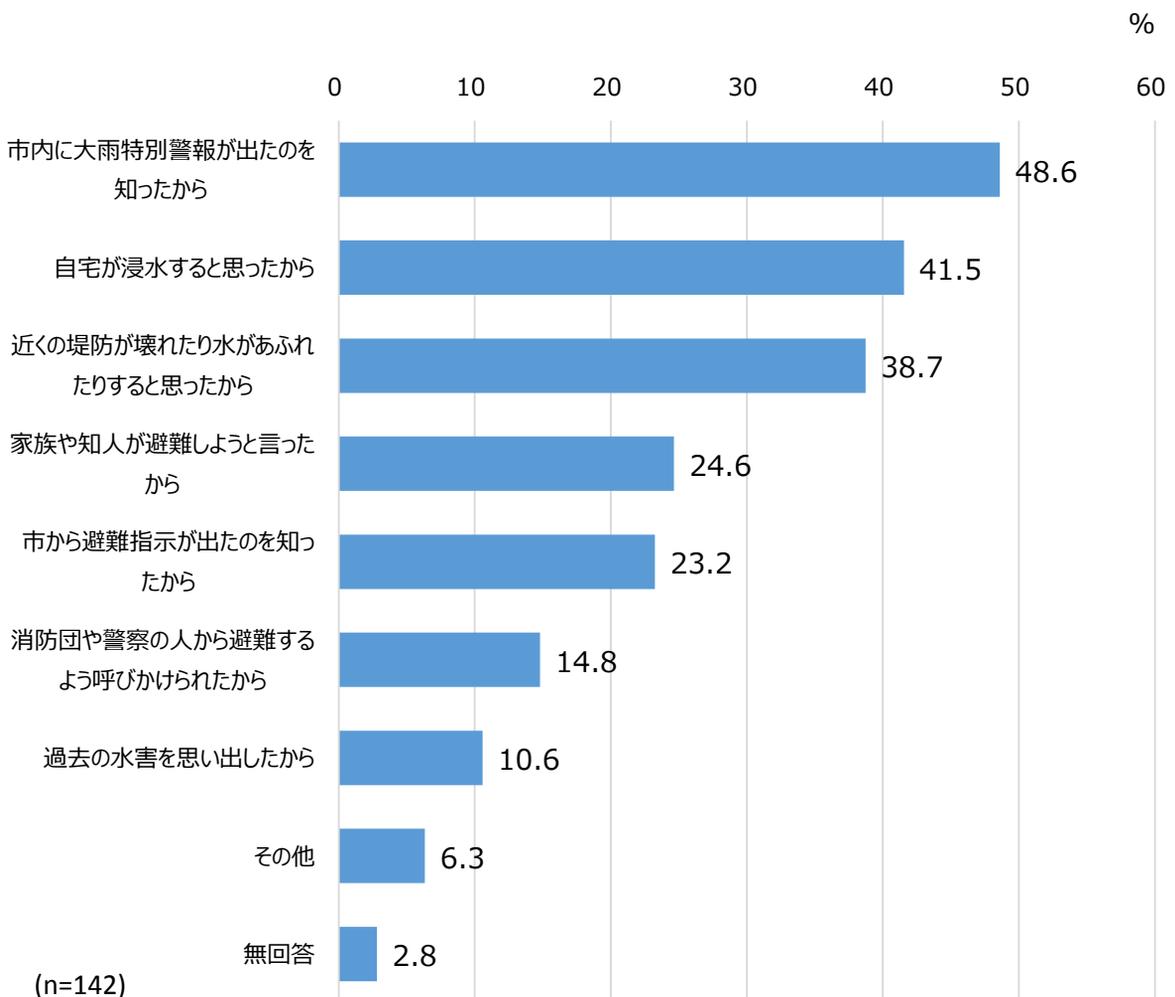
1%未満のデータレベルは非表示（%）

6. 防災について（避難行動をとった理由）

問34 あなたが避難行動をとった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】
【問33で「1～4」と回答した方】

- 令和元年東日本台風の際に、避難行動をとった理由については、「市内に大雨特別警報」が出たのを知ったから」が48.6%で最も多く、次いで「自宅が浸水すると思ったから」が41.5%、「近くの堤防が壊れたり水があふれたりすると思ったから」が38.7%などと続いています。
- 避難行動をとった人の4割以上が、自宅の浸水を現実的なものと捉えていたことがわかります。

令和元年東日本台風の際に避難行動をとった理由



6. 防災について（避難行動をとった理由）

問34 あなたが避難行動をとった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】
【問33で「1～4」と回答した方】

性別

- 避難行動をとった理由を性別でみると、「自宅が浸水と思ったから」は女性からの回答がより目立っています。

年代別

- 年代別でみると、上位項目は若い世代からの回答が目立っており、広い世代に避難行動の意識が広がっていることが窺えます。
- 「自宅が浸水と思ったから」「家族や知人が避難しようと言ったから」は10代と20代で高く、「過去の水害を思い出したから」は75歳以上で高くなっています。



6. 防災について（避難行動をとった理由）

問34 あなたが避難行動をとった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】
【問33で「1～4」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別でみると、「市内に大雨特別警報が出たのを知ったから」は保原地域で61.5%と6割を超えています。伊達地域では「近くの堤防が壊れたり水があふれたりすると思ったから」が50.0%のほか、「家族や知人が避難しようと言ったから」「市から避難指示が出たのを知ったから」への回答も目立っています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別では、「市内に大雨特別警報が出たのを知ったから」は子どもがいない人で多く、「近くの堤防が壊れたり水があふれたりすると思ったから」は子どもがいる人で多くなっています。



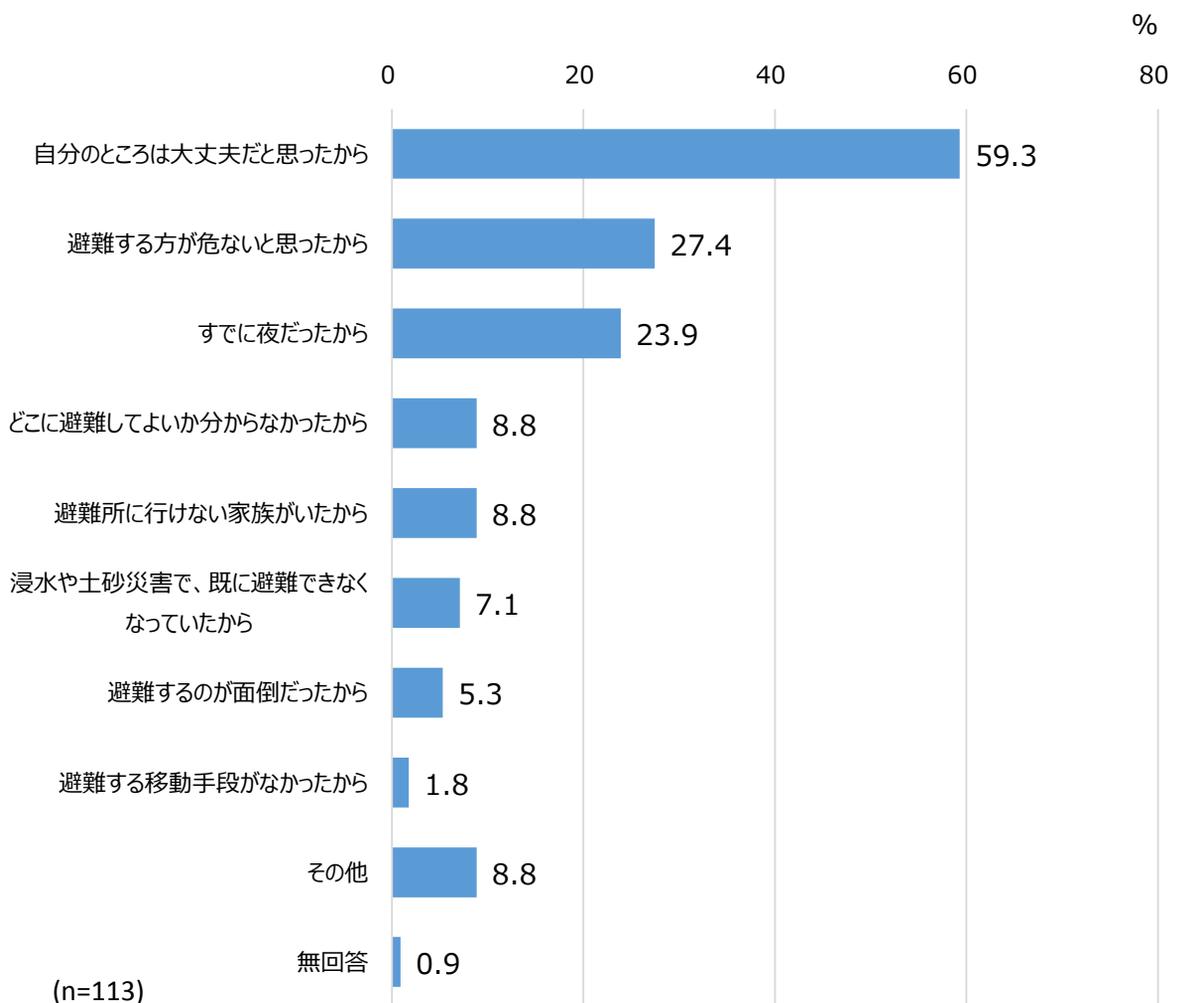
(%)

6. 防災について（避難行動をとらなかった理由）

問35 避難が必要だと思ったにもかかわらず、避難行動をとらなかった理由は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】【問33で「5」と回答した方】

- 避難が必要だと思ったにもかかわらず、避難行動をとらなかった理由については、「自分のところは大丈夫だと思ったから」が59.3%で最も多く、次いで「避難する方が危ないと思ったから」が27.4%、「すでに夜だったから」が23.9%などと続いています。
- 「どこに避難してよいかわからなかったから」、「避難所に行けない家族がいたから」がともに8.8%と、避難に対する課題もみられる結果となりました。

避難が必要だと思ったが、特に避難行動をとらなかった理由



6. 防災について（避難行動をとらなかった理由）

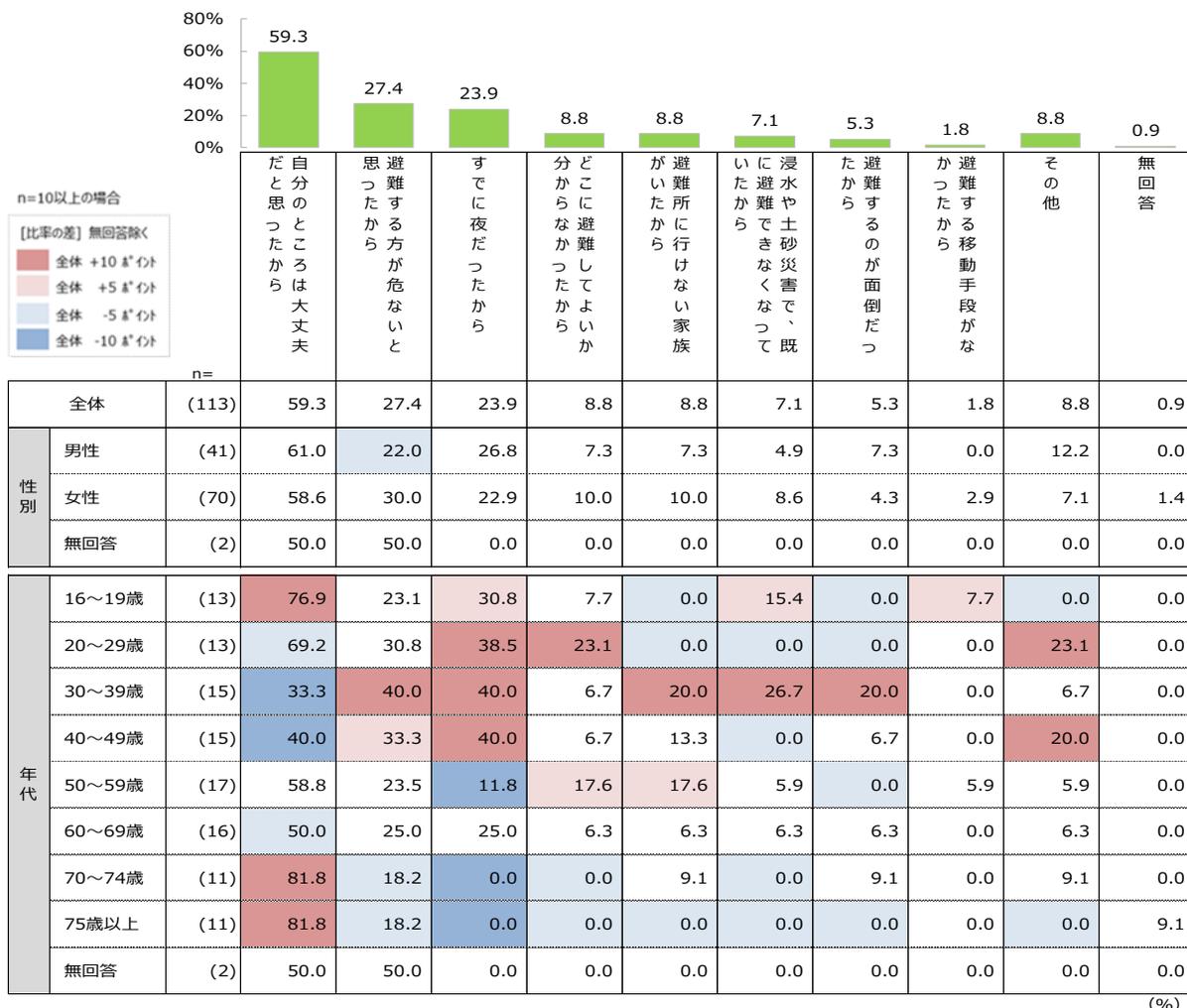
問35 避難が必要だと思ったにもかかわらず、避難行動をとらなかった理由は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】【問33で「5」と回答した方】

性別

- 避難行動をとらなかった理由について、性別による大きな違いはみられませんが、「自分のところは大丈夫だと思ったから」はやや男性が上回り、「避難する方が危ないと思ったから」は女性が上回っています。

年代別

- 年代別でみると、「自分のところは大丈夫だと思ったから」は若年層と高齢層で高い傾向がみられます。各年代により回答の集中度合いが異なり、それぞれ抱えている事情により避難を難しくさせるケースがあるものとみられます。



(%)

6. 防災について（避難行動をとらなかった理由）

問35 避難が必要だと思ったにもかかわらず、避難行動をとらなかった理由は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】【問33で「5」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別でみると、梁川地域では「自分のところは大丈夫だと思ったから」が72.4%で高めとなっています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別では、子どもがいない人の回答割合が全体的に高めとなっています。



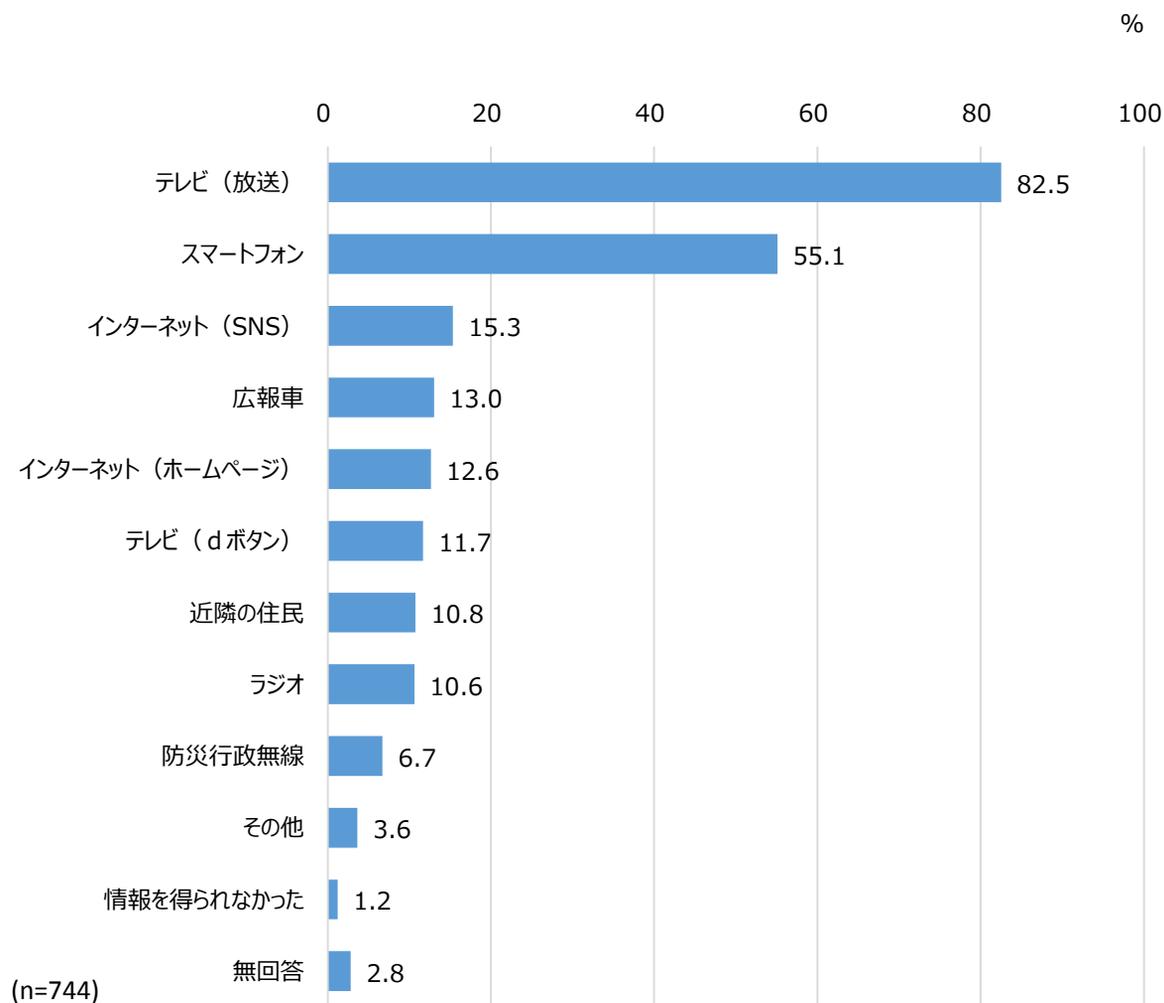
(%)

6. 防災について（令和元年東日本台風の際の情報源）

問36 令和元年東日本台風の際、あなたは何から情報を得ていましたか。【あてはまるものすべてに○】

- 令和元年東日本台風の際の情報源については、「テレビ（放送）」が82.5%で最も多く、次いで「スマートフォン」が55.1%、「インターネット（SNS）」が15.3%などが続いています。
- 「防災行政無線」には6.7%の回答がありましたが、アンケートの特記事項で「雨のせいで聞き取れない」「家の中から聞こえない」などの意見もあり、実効性を上げる取り組みについての検討も必要と考えられます。

令和元年東日本台風の際の情報源



6. 防災について（令和元年東日本台風の際の情報源）

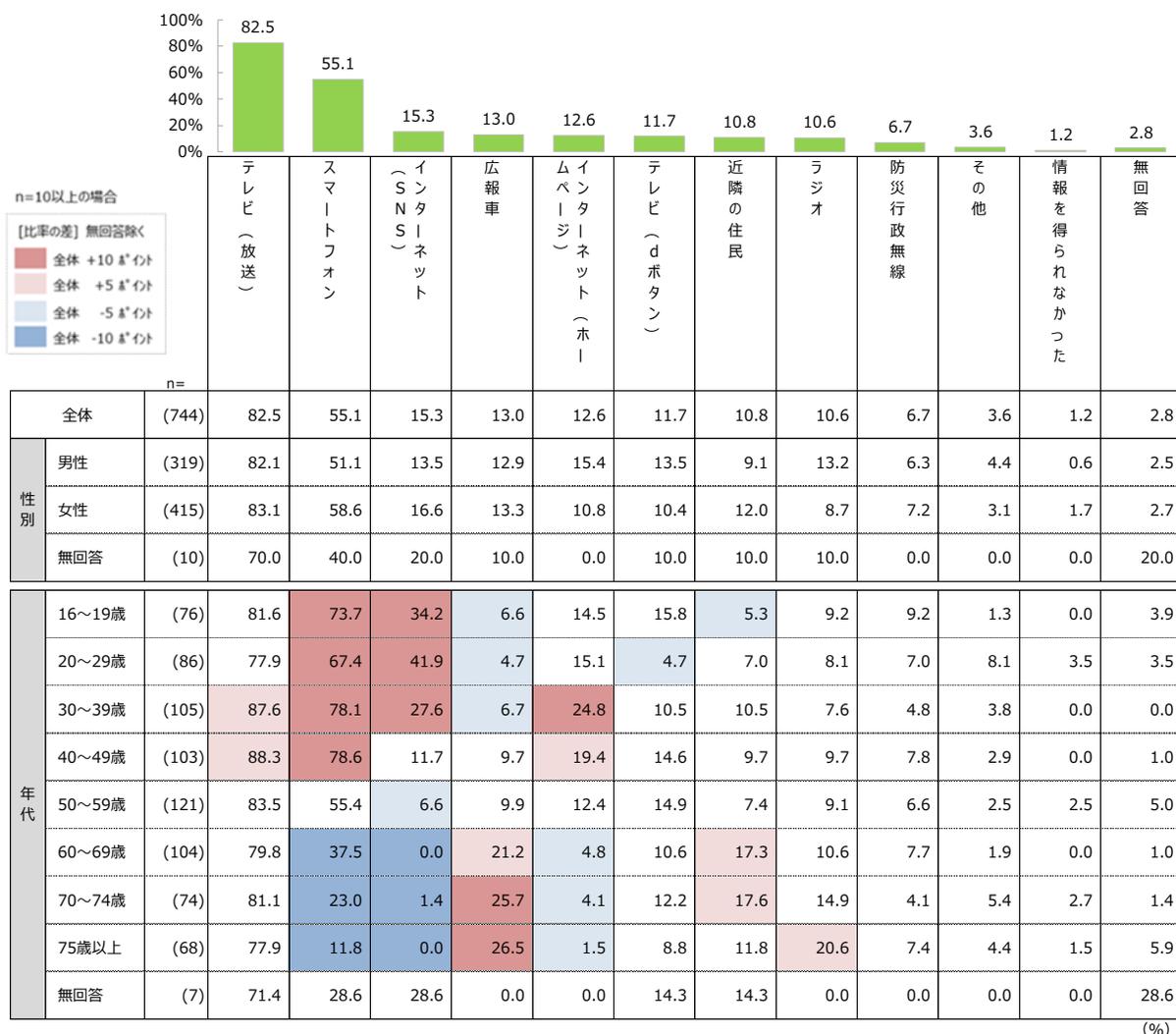
問36 令和元年東日本台風の際、あなたは何かから情報を得ていましたか。【あてはまるものすべてに○】

性別

- 令和元年東日本台風の際の情報源については、性別による大きな違いはみられませんでした。

年代別

- 年代別でみると、「スマートフォン」「インターネット（SNS）」は40代以下で多くなっています。一方、「広報車」は60代以上から多くの回答がありました。



(%)

6. 防災について（令和元年東日本台風の際の情報源）

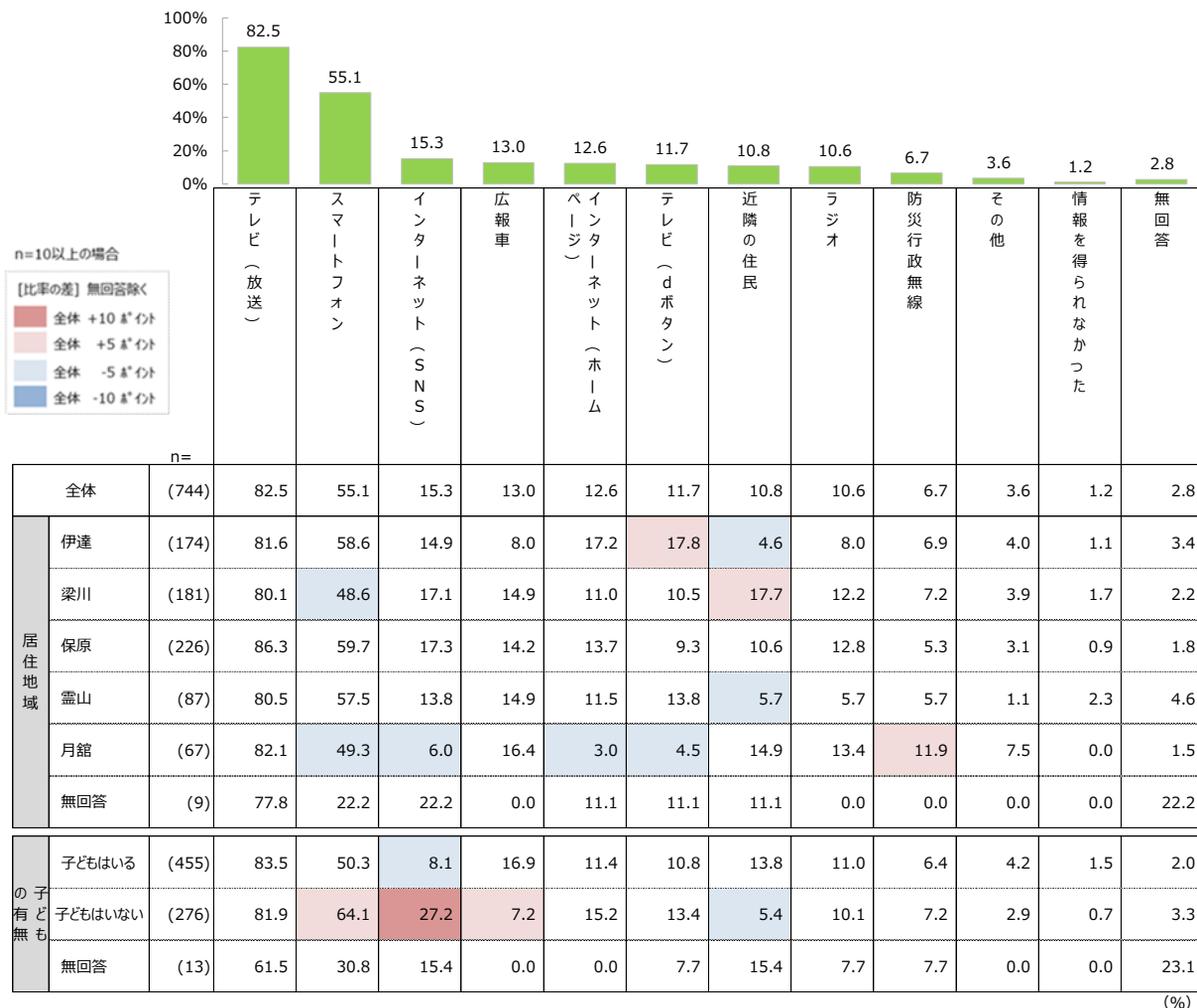
問36 令和元年東日本台風の際、あなたは何かから情報を得ていましたか。【あてはまるものすべてに○】

居住地域別

- 居住地域別でみると、月舘地域では「防災行政無線」が11.9%と唯一1割を超えています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「インターネット（SNS）」は、子どもがいる人と若い世代が多く含まれる子どもがいない人で差が大きく出ています。



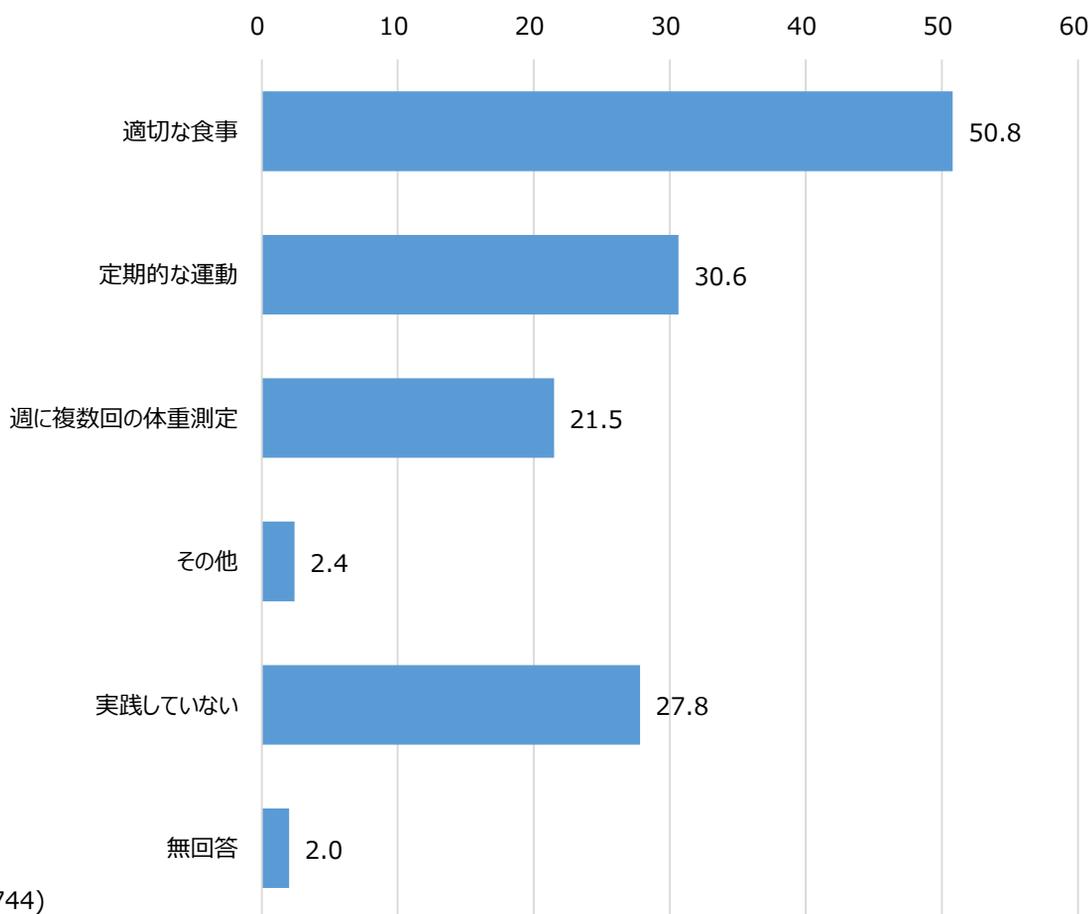
7. 健康について（健康のために実践していること）

問37 あなたは、健康のために実践していることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 健康のために実践していることについては、「適切な食事」が50.8%で最も多く、次いで「定期的な運動」が30.6%、「週に複数回の体重測定」が21.5%、など続いています。
- 一方、「実践していない」は27.8%となっています。

健康のために実践していること

%



7. 健康について（健康のために実践していること）

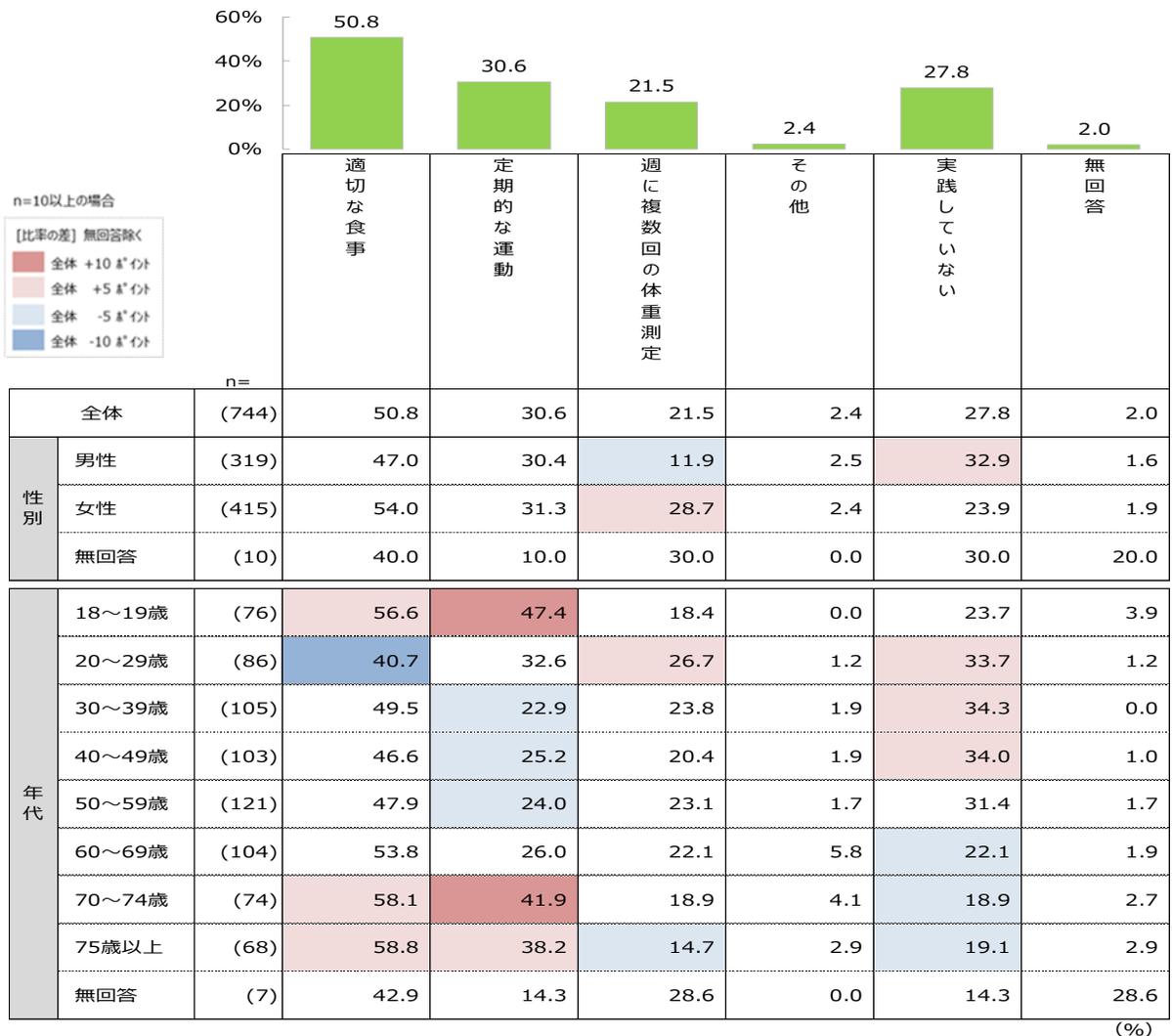
問37 あなたは、健康のために実践していることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

性別

- 健康のために実践していることを性別でみると、「週に複数回の体重測定」は女性が多く、「実践していない」は男性の回答が目立っています。

年代別

- 年代別でみると、若年層と高齢層で回答割合が高く、20代～40代では「実践していない」の回答が多くなっています。



7. 健康について（健康のために実践していること）

問37 あなたは、健康のために実践していることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

居住地域別

- 健康のために実践していることを居住地域別でみると、伊達地域では「定期的な運動」がやや高めとなりました。一方、月館地域は「実践していない」がやや高めとなっています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別による大きな違いはみられませんでした。

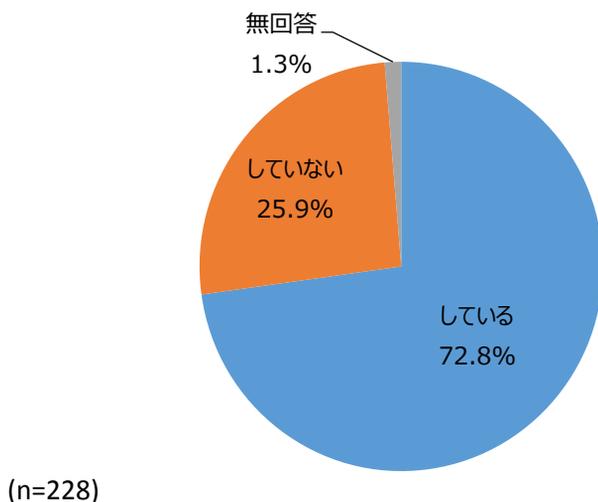


7. 健康について（定期的な運動の有無）

問38 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施していますか。
【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

- 問37で「定期的な運動」を実践していると回答した人で、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施しているか」については、「している」が72.8%、「していない」が25.9%となりました。

1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施



7. 健康について（定期的な運動の有無）

問38 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施していますか。
【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

性別

- 「1回30分以上の軽く汗をかく運動」の実施について、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	している	していない	無回答
全体		(228)	72.8	25.9	1.3
性別	男性	(97)	76.3	23.7	
	女性	(130)	70.0	27.7	2.3
	無回答	(1)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、10代、40代、75歳以上では「している」が8割を超えています。一方、30代は45.8%で唯一5割を下回っています。

		n=	している	していない	無回答
全体		(228)	72.8	25.9	1.3
年代	16～19歳	(36)	88.9	11.1	
	20～29歳	(28)	53.6	46.4	
	30～39歳	(24)	45.8	54.2	
	40～49歳	(26)	84.6	15.4	
	50～59歳	(29)	65.5	34.5	
	60～69歳	(27)	77.8	18.5	3.7
	70～74歳	(31)	77.4	19.4	3.2
	75歳以上	(26)	80.8	15.4	3.8
	無回答	(1)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（定期的な運動の有無）

問38 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施していますか。
【一つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、「している」は伊達地域で8割を超えている一方、梁川地域では7割を下回っています。

		n=	している	していない	無回答
全体		(228)	72.8	25.9	1.3
居住地域	伊達	(63)	81.0	19.0	
	梁川	(49)	65.3	32.7	2.0
	保原	(67)	70.1	29.9	
	霊山	(27)	70.4	25.9	3.7
	月舘	(20)	75.0	20.0	5.0
	無回答	(2)	100.0		

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、子どもがいる人で「している」がやや高めとなっていますが、大きな違いはみられませんでした。

		n=	している	していない	無回答
全体		(228)	72.8	25.9	1.3
子どもの有無	子どもはいる	(131)	74.8	23.7	1.5
	子どもはいない	(95)	70.5	28.4	1.1
	無回答	(2)	50.0	50.0	

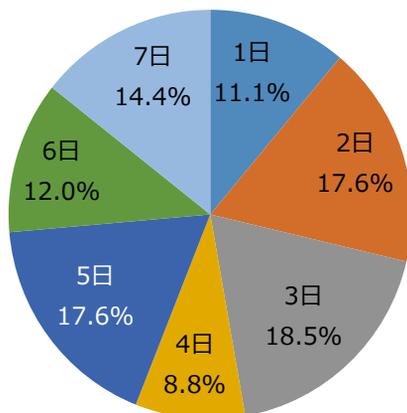
1%未満のデータラベルは非表示 (%)

7. 健康について（1週間で定期的な運動を行った日数）

問39 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日は何日ありましたか。また、その1回あたりの時間はどのくらいですか。【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

- 問37で「定期的な運動」を実践していると回答した人で、1週間で「続けて10分以上」運動を行った日数と時間について、「3日」が18.5%で最も多く、「2日」と「5日」が17.6%、「7日（毎日）」が14.4%となっています。
- 全体で週に「4日以上」が5割を超えています。

1週間で「続けて10分以上」運動を行った日数



(n=216)

7. 健康について（1週間で定期的な運動を行った日数）

問39 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日は何日ありましたか。また、その1回あたりの時間はどのくらいですか。【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

性別

- 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日数については、女性のほうが男性よりも日数が多めの結果となっています。

		n=	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
全体		(216)	11.1	17.6	18.5	8.8	17.6	12.0	14.4
性別	男性	(92)	15.2	17.4	19.6	8.7	13.0	16.3	9.8
	女性	(123)	8.1	17.9	17.1	8.9	21.1	8.9	17.9
	無回答	(1)	100.0						

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、20代～30代と50代では「2日以内」がやや高めとなっています。一方、「70～74歳」は「3日以上」が最も多くなっています。

		n=	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
全体		(216)	11.1	17.6	18.5	8.8	17.6	12.0	14.4
年代	16～19歳	(35)	5.7	14.3	17.1	20.0	14.3	28.6	
	20～29歳	(26)	23.1	15.4	11.5	7.7	34.6	3.8	3.8
	30～39歳	(22)	22.7	18.2	13.6	4.5	18.2	13.6	9.1
	40～49歳	(26)	3.8	26.9	23.1	7.7	15.4	11.5	11.5
	50～59歳	(28)	17.9	21.4	21.4	3.6	7.1	14.3	14.3
	60～69歳	(26)	11.5	23.1	11.5	7.7	15.4	15.4	15.4
	70～74歳	(28)	10.7	10.7	35.7	7.1	21.4	7.1	7.1
	75歳以上	(24)	4.2	25.0	12.5	12.5	8.3	16.7	20.8
	無回答	(1)	100.0						

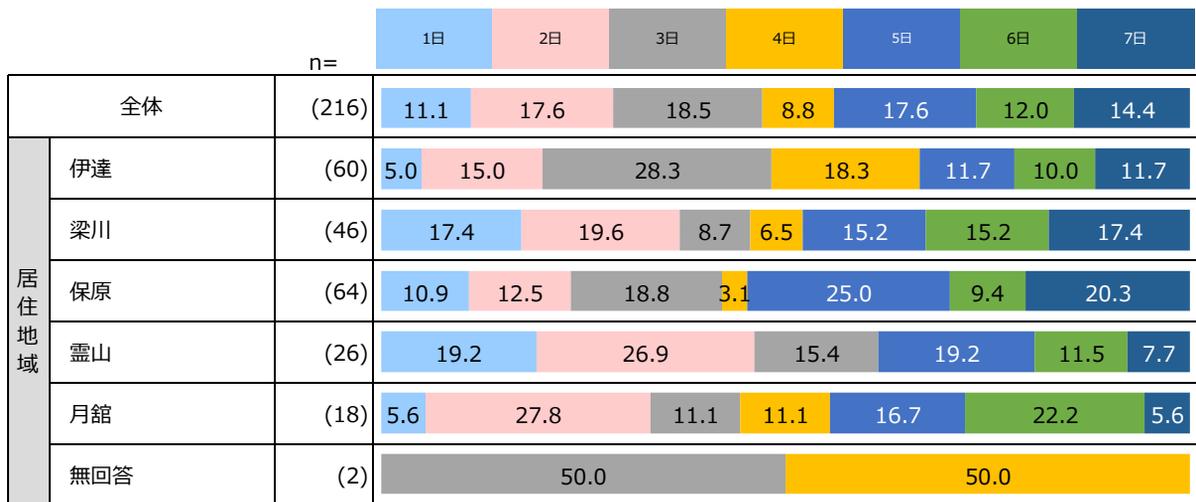
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（1週間で定期的な運動を行った日数）

問39 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日は何日ありましたか。また、その1回あたりの時間はどのくらいですか。【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、伊達・保原地域では「3日以上」が高めとなっています。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、「2日以内」「3日以上」がほぼ同様となり、大きな違いはみられませんでした。



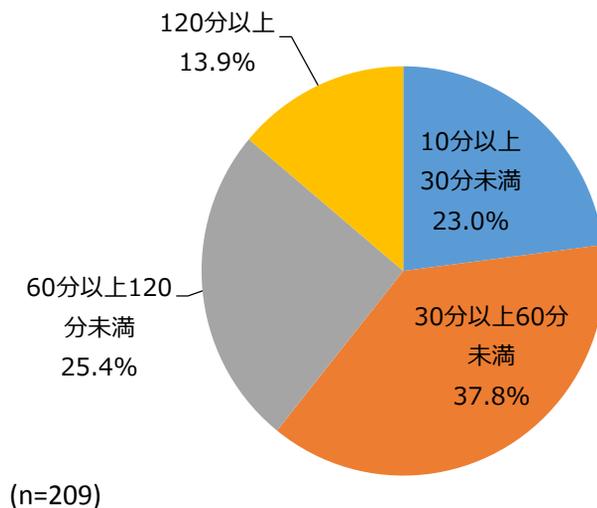
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（定期的な運動の1回あたりの時間）

問39 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日は何日ありましたか。また、その1回あたりの時間はどのくらいですか。【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

- 1週間で「続けて10分以上」運動を行った時の1回あたりの時間については、「30分以上60分未満」が37.8%で最も多く、次いで「60分以上120分未満」が25.4%、「10分以上30分未満」が23.0%、「120分以上」が13.9%となっています。
- 全体で、「60分未満」が6割を占めています。

「続けて10分以上」運動を行った時の1回あたりの時間



7. 健康について（定期的な運動の1回あたりの時間）

問39 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日は何日ありましたか。また、その1回あたりの時間はどのくらいですか。【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

性別

- 1回あたりの運動時間について、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	10分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上
全体		(209)	23.0	37.8	25.4	13.9
性別	男性	(90)	21.1	34.4	26.7	17.8
	女性	(119)	24.4	40.3	24.4	10.9
	無回答	(0)				

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別で見ると、部活動を実施する人が含まれる「16～19歳」と「60～69歳」では「60分以上」が5割を超えています。一方、「30～39歳」は「60分未満」が7割を超えています。

		n=	10分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上
全体		(209)	23.0	37.8	25.4	13.9
年代	16～19歳	(35)	14.3	31.4	28.6	25.7
	20～29歳	(26)	19.2	42.3	15.4	23.1
	30～39歳	(22)	36.4	36.4	18.2	9.1
	40～49歳	(25)	28.0	36.0	24.0	12.0
	50～59歳	(26)	26.9	50.0	15.4	7.7
	60～69歳	(25)	12.0	36.0	44.0	8.0
	70～74歳	(27)	29.6	40.7	22.2	7.4
	75歳以上	(23)	21.7	30.4	34.8	13.0
	無回答	(0)				

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（定期的な運動の1回あたりの時間）

問39 1週間で「続けて10分以上」運動を行った日は何日ありましたか。また、その1回あたりの時間はどのくらいですか。【1つだけ選択】 【問37で「2」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別でみると、月舘地域では「60分未満」がやや多くなっているほか、大きな違いはみられませんでした。

		n=	10分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	
全体		(209)	23.0	37.8	25.4	13.9	
居住地域	伊達	(56)	17.9	35.7	32.1	14.3	
	梁川	(45)	22.2	33.3	24.4	20.0	
	保原	(63)	23.8	42.9	23.8	9.5	
	霊山	(27)	22.2	40.7	14.8	22.2	
	月舘	(17)	41.2	35.3	23.5		
	無回答	(1)	100.0				

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で大きな違いはみられませんが、学生が多く含まれる子どもがいない人では「60分以上」がやや高めとなっています。

		n=	10分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上
全体		(209)	23.0	37.8	25.4	13.9
子どもの有無	子どもはいる	(116)	25.0	40.5	26.7	7.8
	子どもはいない	(92)	20.7	34.8	23.9	20.7
	無回答	(1)	100.0			

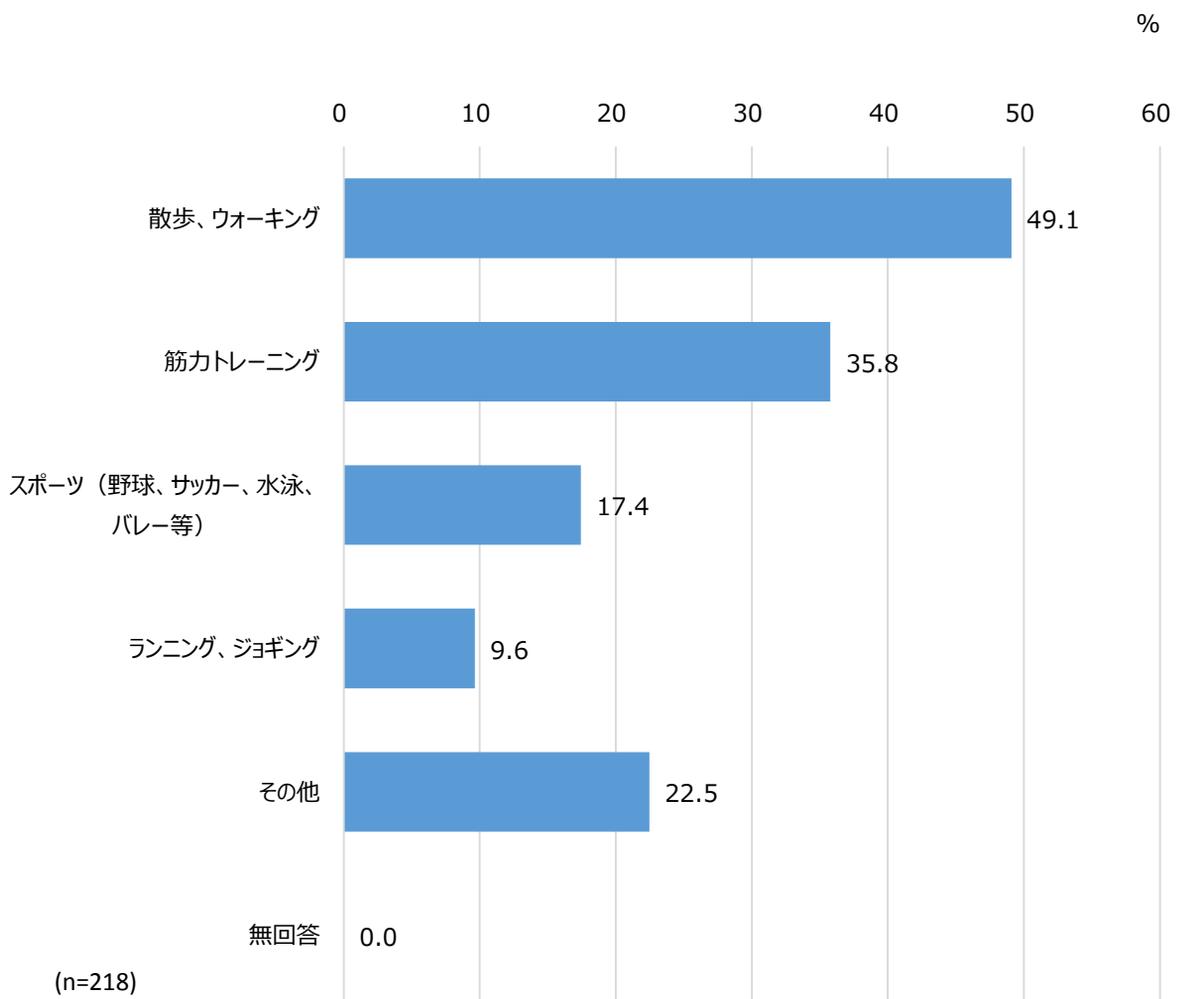
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（定期的な運動の具体的な内容）

問40 運動の具体的な内容は何ですか。【あてはまるものすべてに○】 【問39に回答した方】

- 定期的な運動の具体的な内容については、「散歩、ウォーキング」が49.1%で最も多く、次いで「筋力トレーニング」が35.8%、「スポーツ（野球、サッカー、水泳、バレー等）」が17.4%、「ランニング、ジョギング」が9.6%と続いています。
- その他では、「ラジオ体操」「ストレッチ」「ジャズダンス」「グランドゴルフ」「サイクリング」などの回答がありました。

定期的な運動の具体的な内容



7. 健康について（定期的な運動の具体的な内容）

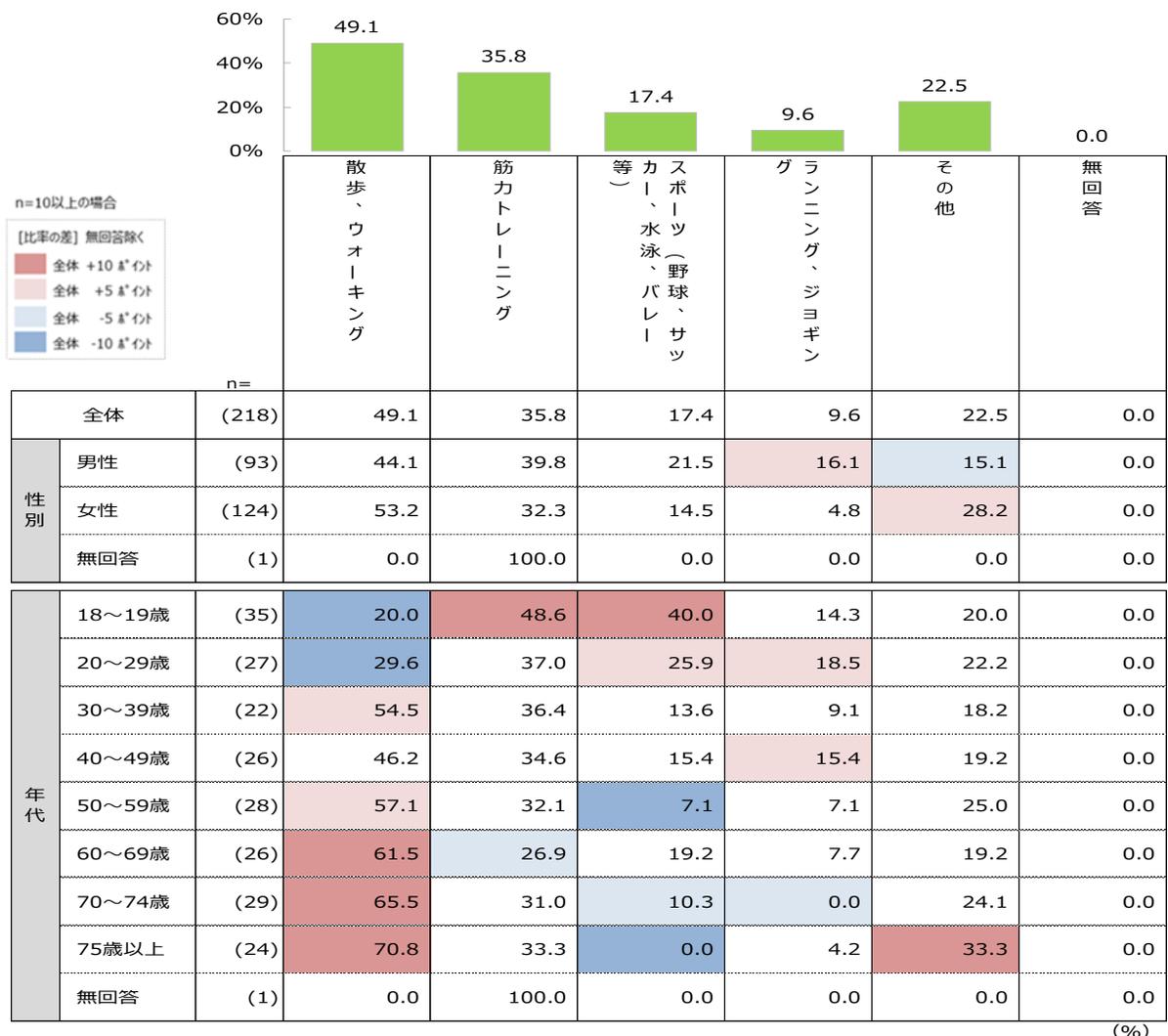
問40 運動の具体的な内容は何ですか。【あてはまるものすべてに○】 【問39に回答した方】

性別

- 定期的な運動の具体的な内容を性別でみると、「ランニング、ジョギング」は男性が多くなっています。一方、女性は「散歩、ウォーキング」に加え「その他」が多く、「ラジオ体操」「ストレッチ」など、自宅で手軽にできる運動への回答が目立っています。

年代別

- 年代別でみると、「散歩、ウォーキング」は60代以上の回答が多く、筋力トレーニングや激しいスポーツなどの運動は若い世代で多くなっています。



7. 健康について（定期的な運動の具体的な内容）

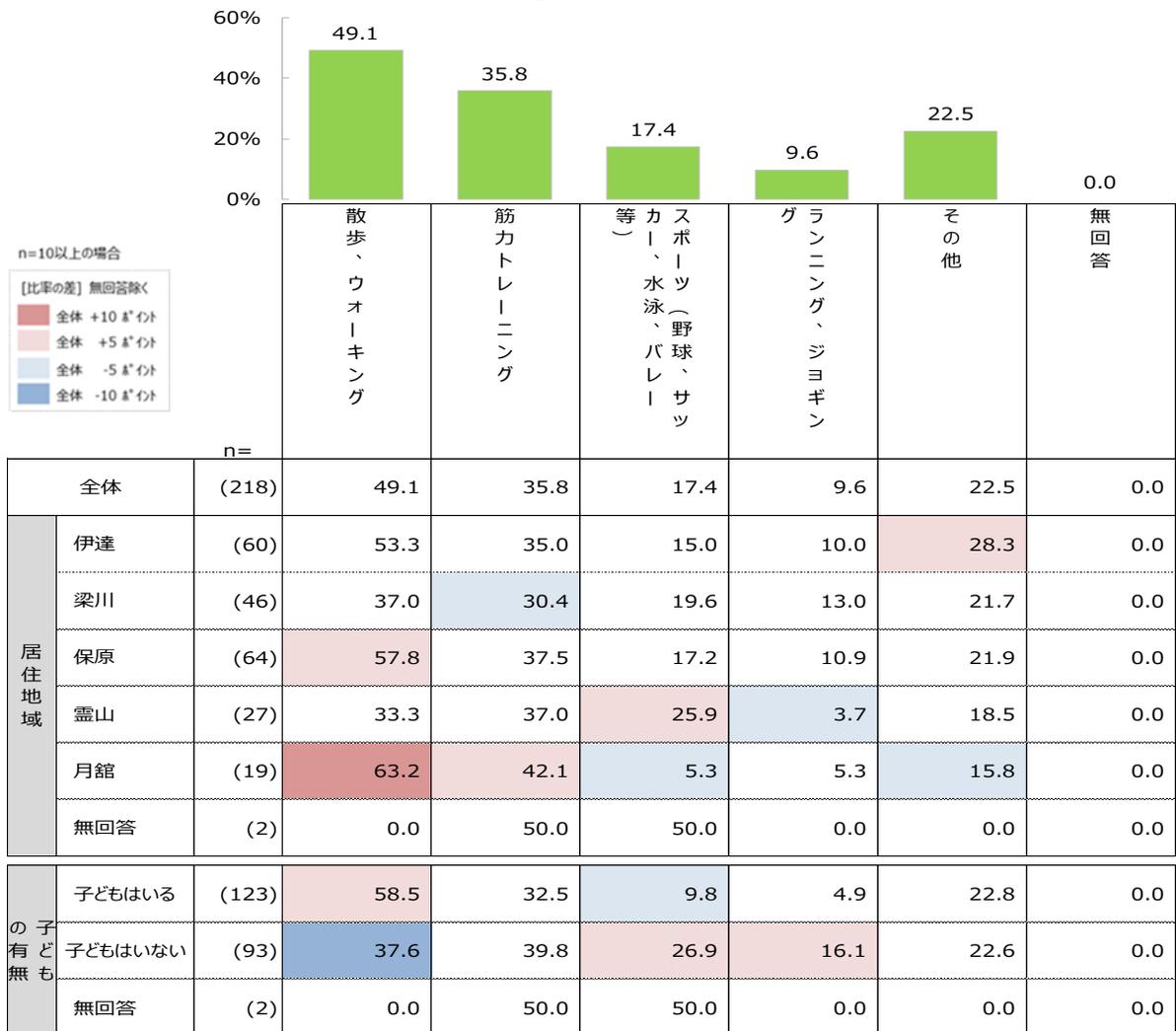
問40 運動の具体的な内容は何ですか。【あてはまるものすべてに○】 【問39に回答した方】

居住地域別

- 居住地域別でみると、月舘地域では「散歩、ウォーキング」が6割を超えています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、「散歩、ウォーキング」は子どもがいる人で多く、激しい運動は若い世代が多い子どもがいない人で多い傾向がみられます。



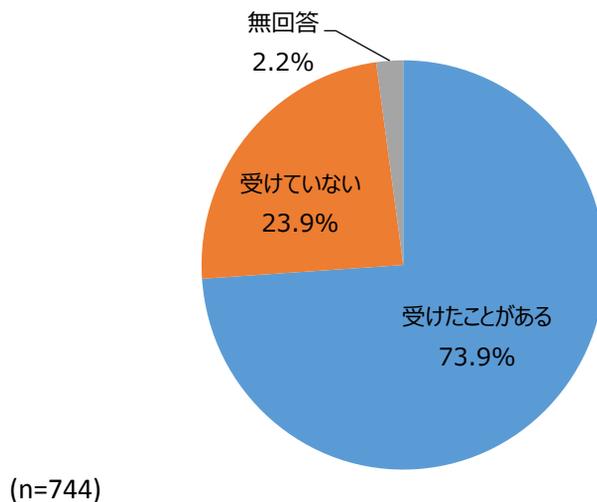
(%)

7. 健康について（健診や人間ドックの受診）

問41 あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けたことがありますか。【1つだけ選択】

- 過去1年間の、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診については、「受けたことがある」が73.9%、「受けていない」が23.9%となりました。
- 全体で7割以上が何らかの受診をしている結果となりました。

過去1年間に健診や人間ドックの受診の有無



7. 健康について（健診や人間ドックの受診）

問41 あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けたことがありますか。【1つだけ選択】

性別

- 過去1年間の、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診について、性別による大きな違いはみられませんでした。

		n=	受けたことがある	受けていない	無回答
全体		(744)	73.9	23.9	2.2
性別	男性	(319)	76.5	20.7	2.8
	女性	(415)	72.0	26.5	1.4
	無回答	(10)	70.0	20.0	10.0

1%未満のデータレベルは非表示（%）

年代別

- 年代別でみると、「受けたことがある」は若い「16～19歳」では35.5%にとどまりますが、40代～70代前半にかけては80%を超えています。

		n=	受けたことがある	受けていない	無回答
全体		(744)	73.9	23.9	2.2
年代	16～19歳	(76)	35.5	61.8	2.6
	20～29歳	(86)	72.1	26.7	1.2
	30～39歳	(105)	75.2	24.8	
	40～49歳	(103)	84.5	15.5	
	50～59歳	(121)	80.2	16.5	3.3
	60～69歳	(104)	80.8	15.4	3.8
	70～74歳	(74)	81.1	16.2	2.7
	75歳以上	(68)	70.6	26.5	2.9
	無回答	(7)	85.7		14.3

1%未満のデータレベルは非表示（%）

7. 健康について（健診や人間ドックの受診）

問41 あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けたことがありますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、大きな違いはみられませんでした。伊達地域では「受けたことがある」が7割を下回っています。

		n=	受けたことがある	受けていない	無回答
全体		(744)	73.9	23.9	2.2
居住地域	伊達	(174)	68.4	29.3	2.3
	梁川	(181)	74.0	23.2	2.8
	保原	(226)	76.1	23.0	
	霊山	(87)	74.7	21.8	3.4
	月舘	(67)	79.1	19.4	1.5
	無回答	(9)	77.8	11.1	11.1

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、子どもがいる人の約8割が「受けたことがある」と回答しています。

		n=	受けたことがある	受けていない	無回答
全体		(744)	73.9	23.9	2.2
子どもの有無	子どもはいる	(455)	79.1	18.9	2.0
	子どもはいない	(276)	64.9	33.0	2.2
	無回答	(13)	84.6	7.7	7.7

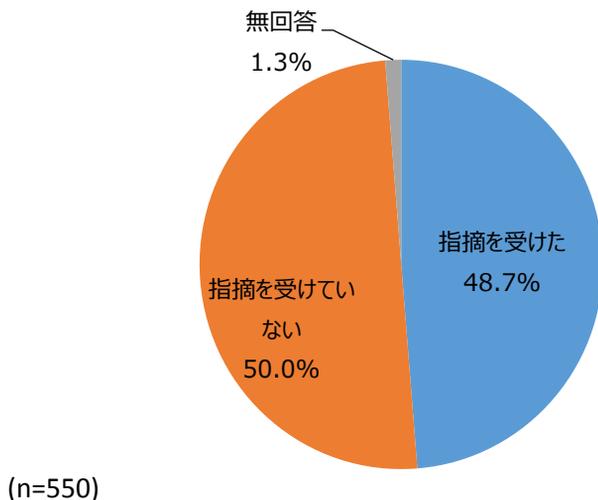
1%未満のデータラベルは非表示 (%)

7. 健康について（健診や人間ドックを受診した際の指摘の有無）

問42 健診の結果、肥満、高血圧症（血圧が高い）、糖尿病（血糖が高い）、血中脂質異常（総コレステロール、LDL（悪玉）コレステロールや中性脂肪が高い、またはHDLコレステロールが低い）に関する指摘を受けましたか。【1つだけ選択】

- 健診の結果、肥満、高血圧症、糖尿病などに関する指摘を受けたかについては、「指摘を受けた」が48.7%、「指摘を受けていない」が50.0%となりました。

健診や人間ドックを受診した際の指摘の有無

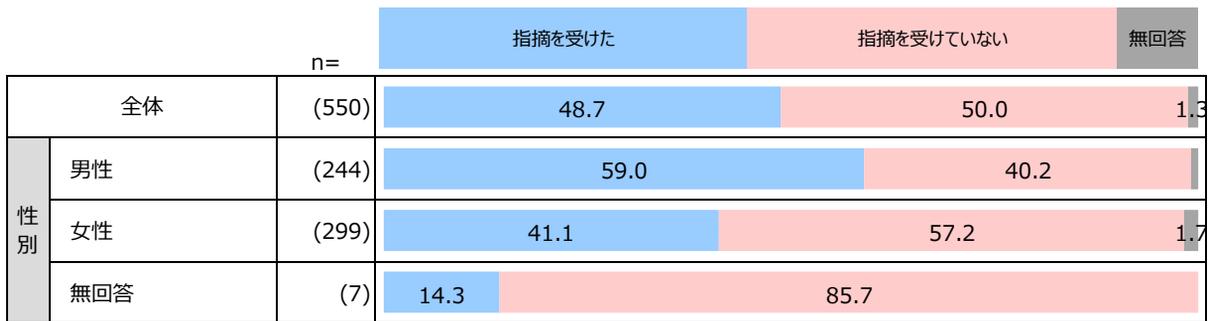


7. 健康について（健診や人間ドックを受診した際の指摘の有無）

問42 健診の結果、肥満、高血圧症（血圧が高い）、糖尿病（血糖が高い）、血中脂質異常（総コレステロール、LDL（悪玉）コレステロールや中性脂肪が高い、またはHDLコレステロールが低い）に関する指摘を受けましたか。【1つだけ選択】

性別

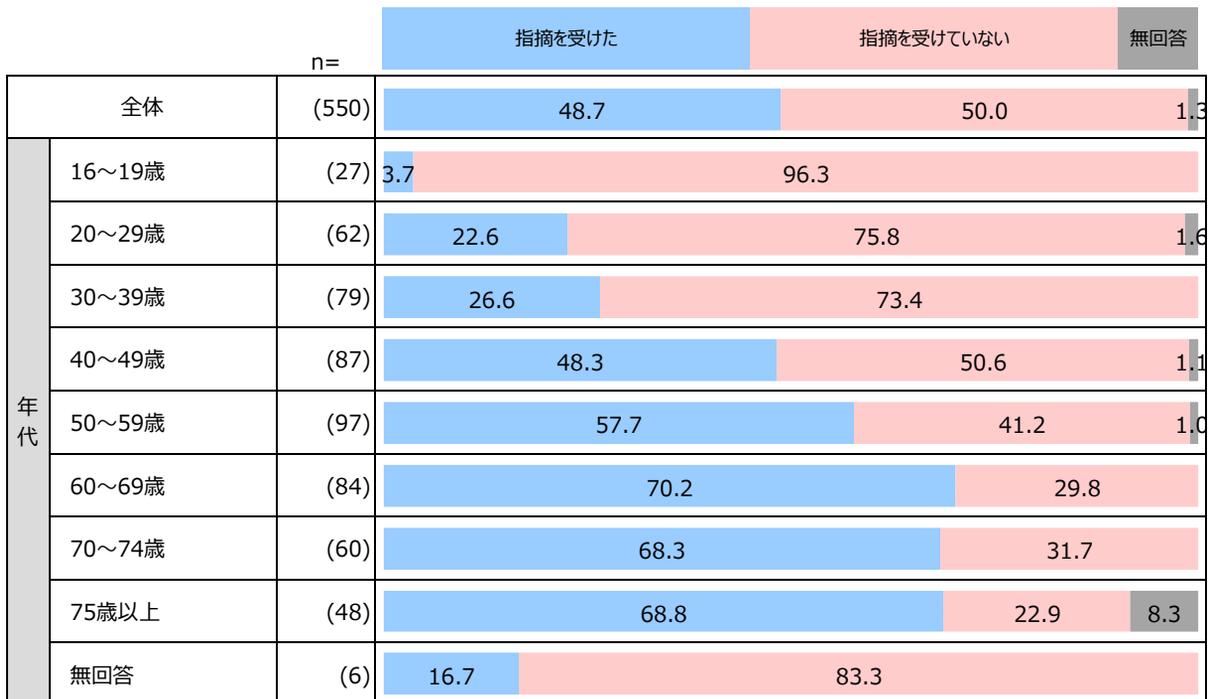
- 健診による指摘の有無について性別でみると、「指摘を受けた」は男性が約6割と、女性よりも多くなっています。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、年代が上がるほど「指摘を受けた」も多くなる傾向がみられます。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（健診や人間ドックを受診した際の指摘の有無）

問42 健診の結果、肥満、高血圧症（血圧が高い）、糖尿病（血糖が高い）、血中脂質異常（総コレステロール、LDL（悪玉）コレステロールや中性脂肪が高い、またはHDLコレステロールが低い）に関する指摘を受けましたか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別でみると、霊山地域で「指摘を受けた」が63.1%と最も多くなっています。

		n=	指摘を受けた	指摘を受けていない	無回答
全体		(550)	48.7	50.0	1.3
居住地域	伊達	(119)	51.3	48.7	
	梁川	(134)	50.7	47.8	1.5
	保原	(172)	41.9	56.4	1.7
	霊山	(65)	63.1	36.9	
	月舘	(53)	47.2	49.1	3.8
	無回答	(7)	14.3	85.7	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別でみると、若い世代が多い子どもがいない人では「指摘を受けていない」が63.7%と6割を超えています。

		n=	指摘を受けた	指摘を受けていない	無回答
全体		(550)	48.7	50.0	1.3
子どもの有無	子どもはいる	(360)	56.4	42.5	1.1
	子どもはいない	(179)	34.6	63.7	1.7
	無回答	(11)	27.3	72.7	

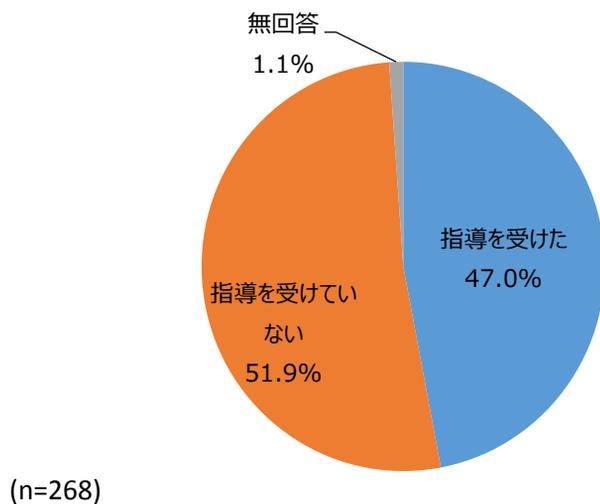
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（保健指導）

問43 指摘を受けたことについては保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。【1つだけ選択】 【問42で「1」と回答した方】

- 指摘を受けたことについて保健指導を受けたかについては、「指導を受けた」が47.0%、「指導を受けていない」が51.9%で、指導を受けていない割合が上回りました。

指摘を受けたことについての保健指導の有無



7. 健康について（保健指導）

問43 指摘を受けたことについては保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。【1つだけ選択】 【問42で「1」と回答した方】

性別

- 保健指導の有無については、男性は約半々となりましたが、女性は「指導を受けていない」が上回っています。

		n=	指導を受けた	指導を受けていない	無回答
全体		(268)	47.0	51.9	1.1
性別	男性	(144)	50.0	49.3	
	女性	(123)	43.1	55.3	1.6
	無回答	(1)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 指摘の内容や深刻さの度合いも違うと考えられますが、年代別でみると、若い年代ほど「指導を受けていない」が多くなっています。

		n=	指導を受けた	指導を受けていない	無回答
全体		(268)	47.0	51.9	1.1
年代	16～19歳	(1)	100.0		
	20～29歳	(14)	21.4	78.6	
	30～39歳	(21)	23.8	76.2	
	40～49歳	(42)	42.9	57.1	
	50～59歳	(56)	41.1	58.9	
	60～69歳	(59)	49.2	50.8	
	70～74歳	(41)	61.0	36.6	2.4
	75歳以上	(33)	66.7	27.3	6.1
	無回答	(1)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（保健指導）

問43 指摘を受けたことについては保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。【1つだけ選択】 【問42で「1」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、霊山地域では「指導を受けていない」が4割を下回っています。

		n=	指導を受けた	指導を受けていない	無回答
全体		(268)	47.0	51.9	1.1
居住地域	伊達	(61)	45.9	54.1	
	梁川	(68)	54.4	45.6	
	保原	(72)	47.2	51.4	1.4
	霊山	(41)	36.6	58.5	4.9
	月舘	(25)	44.0	56.0	
	無回答	(1)	100.0		

1%未満のデータレベルは非表示（%）

子どもの有無別

- 子どもの有無別では、大きな違いはみられませんでした。

		n=	指導を受けた	指導を受けていない	無回答
全体		(268)	47.0	51.9	1.1
子どもの有無	子どもはいる	(203)	47.3	51.7	1.0
	子どもはいない	(62)	45.2	53.2	1.6
	無回答	(3)	66.7	33.3	

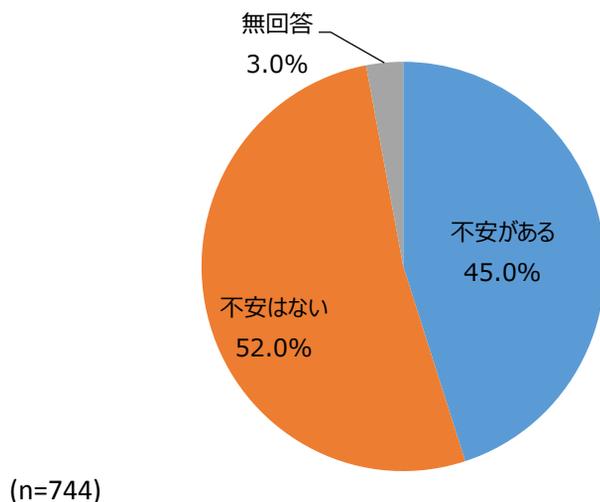
1%未満のデータレベルは非表示（%）

7. 健康について（震災後の不安）

問44 東日本大震災から9年が経過しましたが、あなたは現在、震災後の不安はありますか。【1つだけ選択】

- 震災後の不安については、「不安がある」が45.0%、「不安はない」が52.0%で、「不安はない」が上回りました。
- 依然として4割以上の方が「不安がある」と回答しています。

震災後の不安の有無

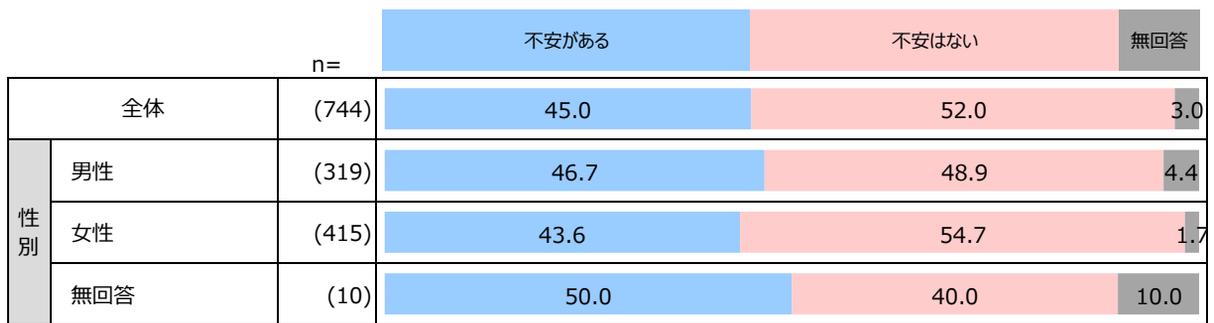


7. 健康について（震災後の不安）

問44 東日本大震災から9年が経過しましたが、あなたは現在、震災後の不安はありますか。【1つだけ選択】

性別

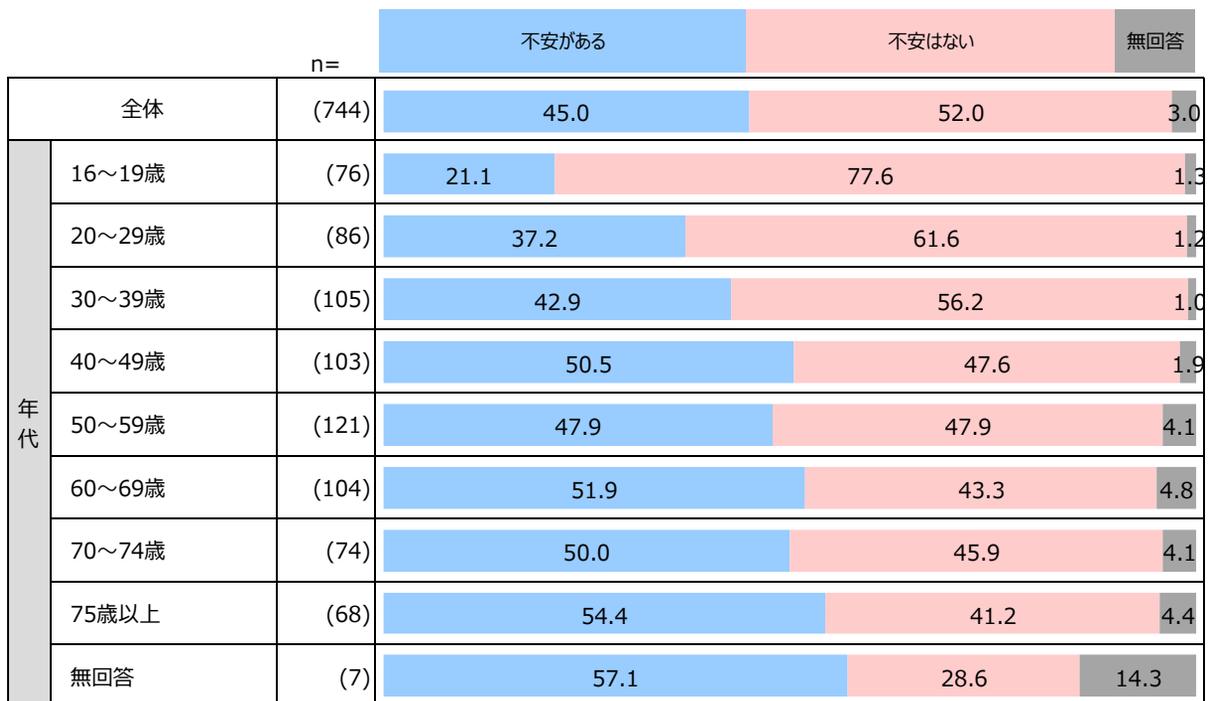
- 震災後の不安の有無について、性別による大きな違いはみられませんでした。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

年代別

- 年代別でみると、年代が上がるほど「不安がある」が多くなる傾向にあり、10代では「不安はない」が77.6%に上っています。



1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（震災後の不安）

問44 東日本大震災から9年が経過しましたが、あなたは現在、震災後の不安はありますか。【1つだけ選択】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、霊山地域では「不安がある」がやや少なかった以外に、大きな違いはみられませんでした。

		n=	不安がある	不安はない	無回答
全体		(744)	45.0	52.0	3.0
居住地域	伊達	(174)	42.5	54.0	3.4
	梁川	(181)	49.2	48.1	2.8
	保原	(226)	46.0	53.1	
	霊山	(87)	37.9	55.2	6.9
	月舘	(67)	43.3	53.7	3.0
	無回答	(9)	66.7	22.2	11.1

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、子どもがいる人では「不安がある」が約5割に上っており、年代との関連が大きいものとみられます。

		n=	不安がある	不安はない	無回答
全体		(744)	45.0	52.0	3.0
子どもの有無	子どもはいる	(455)	49.5	47.3	3.3
	子どもはいない	(276)	37.3	60.5	2.2
	無回答	(13)	53.8	38.5	7.7

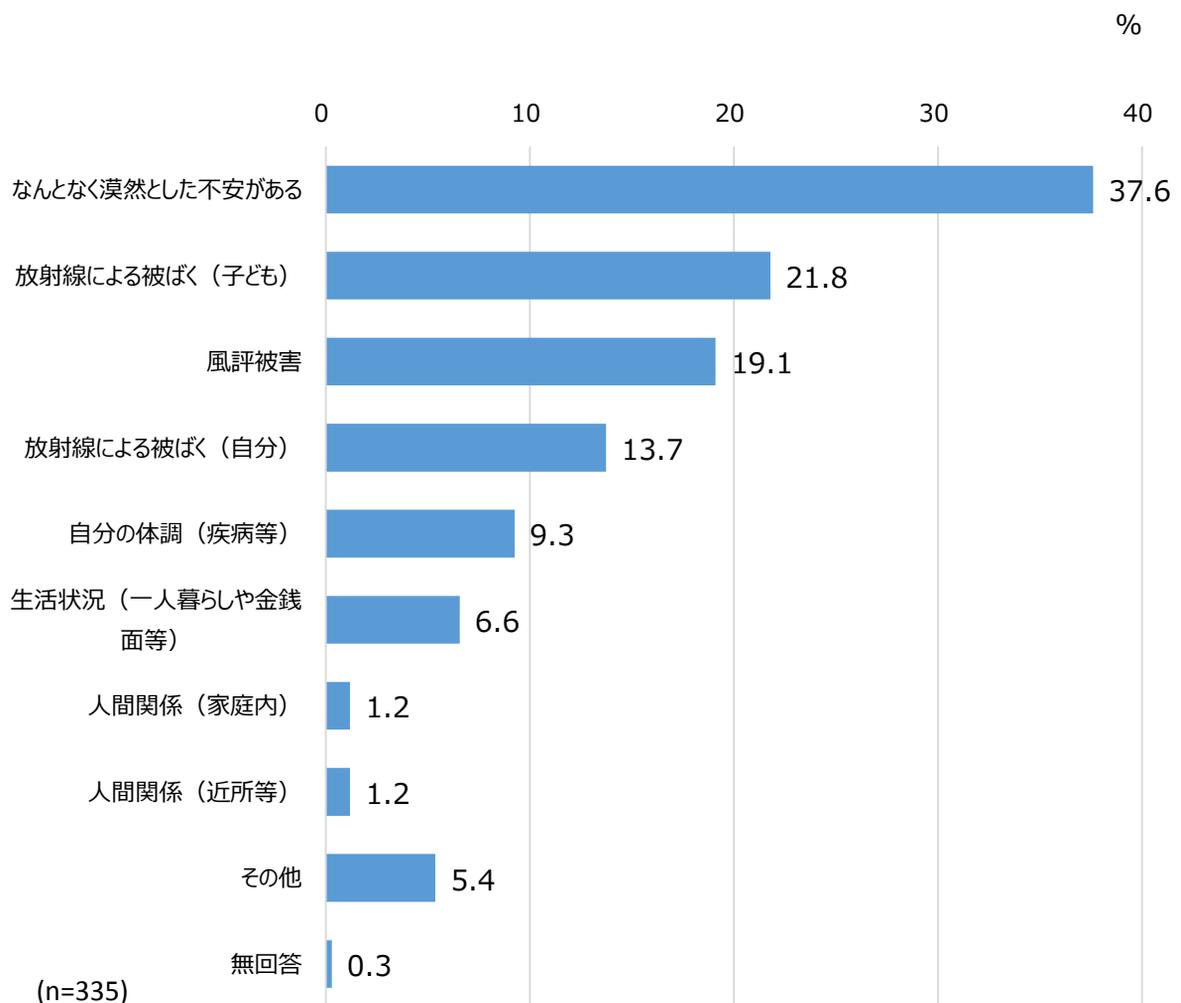
1%未満のデータレベルは非表示 (%)

7. 健康について（震災後の不安）

問45 特に不安なことはどんなことですか。【1つだけ選択】 【問44で「1」と回答した方】

- 問44で「不安がある」と回答した人の具体的な内容については、「なんとなく漠然とした不安がある」が37.6%で最も多く、次いで「放射線による被ばく（子ども）」が21.8%、「風評被害」が19.1%などが続いています。
- 「放射線による被ばく（自分）」は13.7%で、被ばくに関する不安は合わせて3割以上に上っています。

特に不安なこと



7. 健康について（震災後の不安）

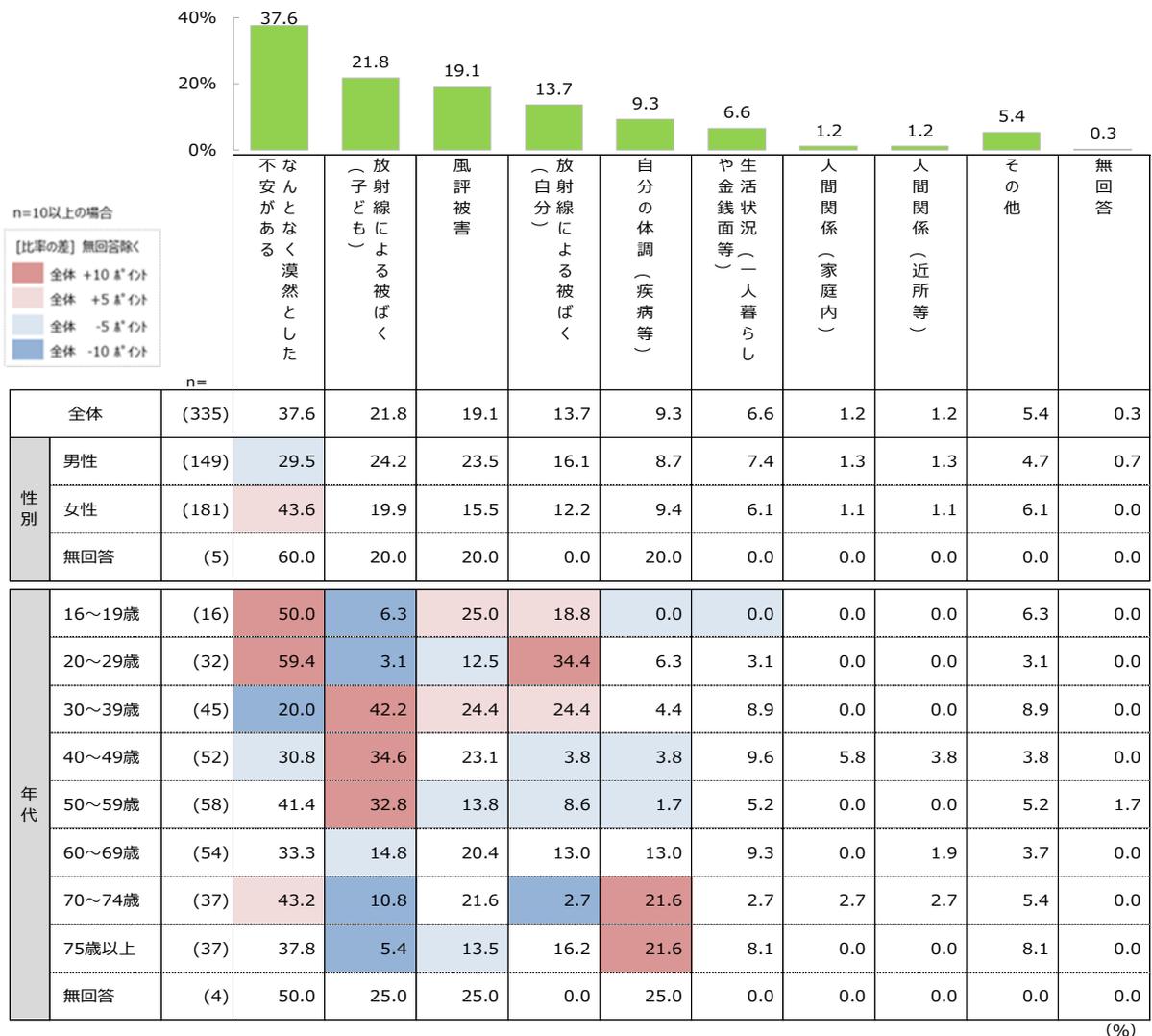
問45 特に不安なことはどんなことですか。【1つだけ選択】 【問44で「1」と回答した方】

性別

- 震災後の不安について性別でみると、「なんとなく漠然とした不安がある」は女性からの回答が多くなっています。

年代別

- 年代別でみると、「なんとなく漠然とした不安がある」は20代以下で目立っています。一方、「自分の体調（疾病等）」は70代以上で多く、年代による違いもみられます。



7. 健康について（震災後の不安）

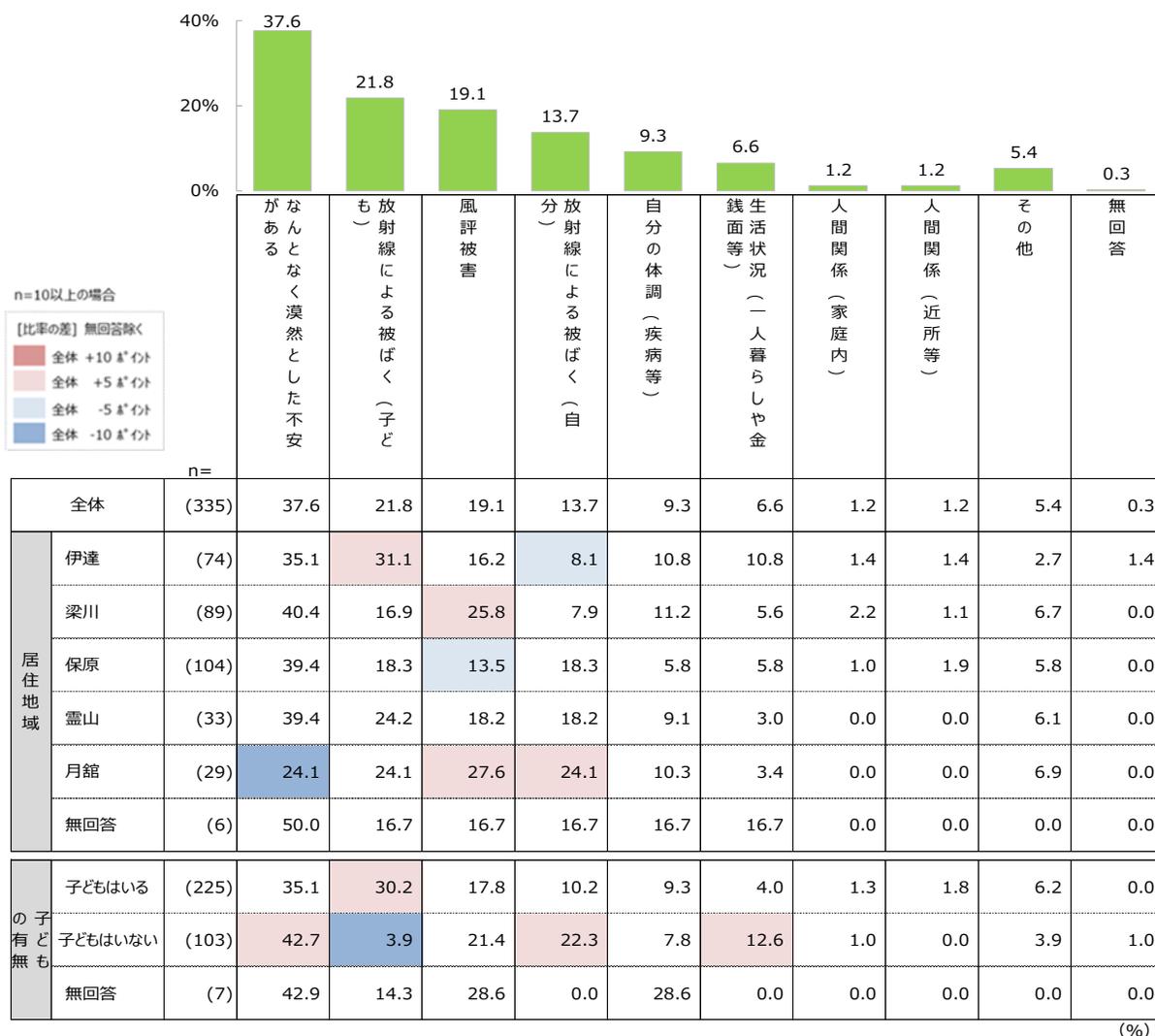
問45 特に不安なことはどんなことですか。【1つだけ選択】 【問44で「1」と回答した方】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、「風評被害」は月舘・梁川地域で多くなっています。
- 伊達地域では「放射線による被ばく（子ども）」が3割を超えています。

子どもの有無別

- 子どもの有無にかかわらず「なんとなく漠然とした不安がある」には多くの回答が寄せられました。

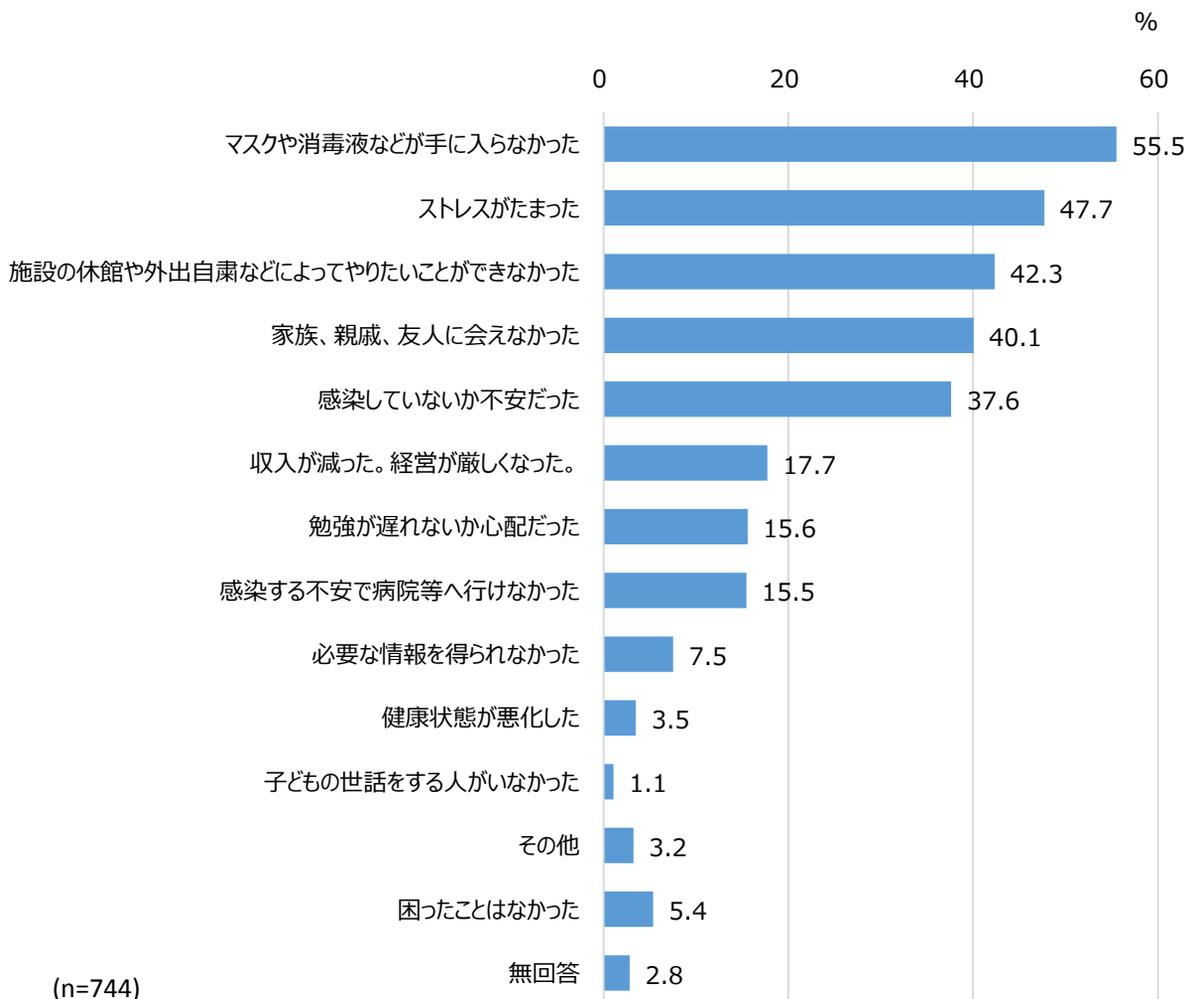


8. 新型コロナウイルス感染症について（困ったこと）

問46 新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで困ったことはありましたか。
【あてはまるものすべてに○】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことについては、「マスクや消毒液などが手に入らなかった」が55.5%で最も多く、次いで「ストレスがたまった」が47.7%、「施設の休館や外出自粛などによってやりたいことができなかった」が42.3%などと続いています。
- 実際に「健康状態が悪化した」は3.5%でした。

新型コロナウイルス感染症の影響で困ったこと



8. 新型コロナウイルス感染症について（困ったこと）

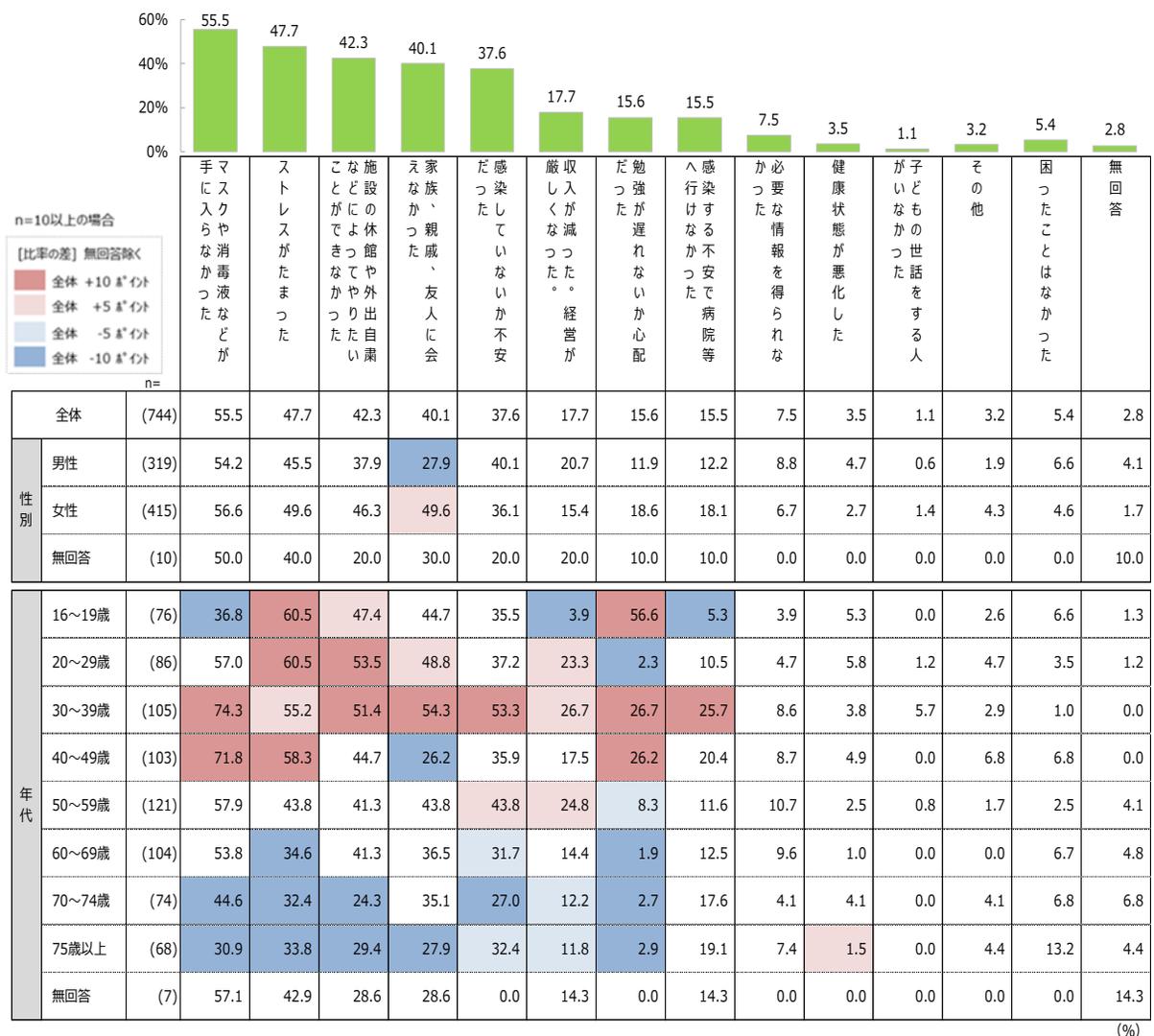
問46 新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで困ったことはありましたか。
【あてはまるものすべてに○】

性別

- 新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことを性別でみると、女性は「家族、親戚、友人に会えなかった」への回答が多くみられました。

年代別

- 年代別でみると、50歳未満の回答割合が高い項目が多く、高齢層との違いがみられます。

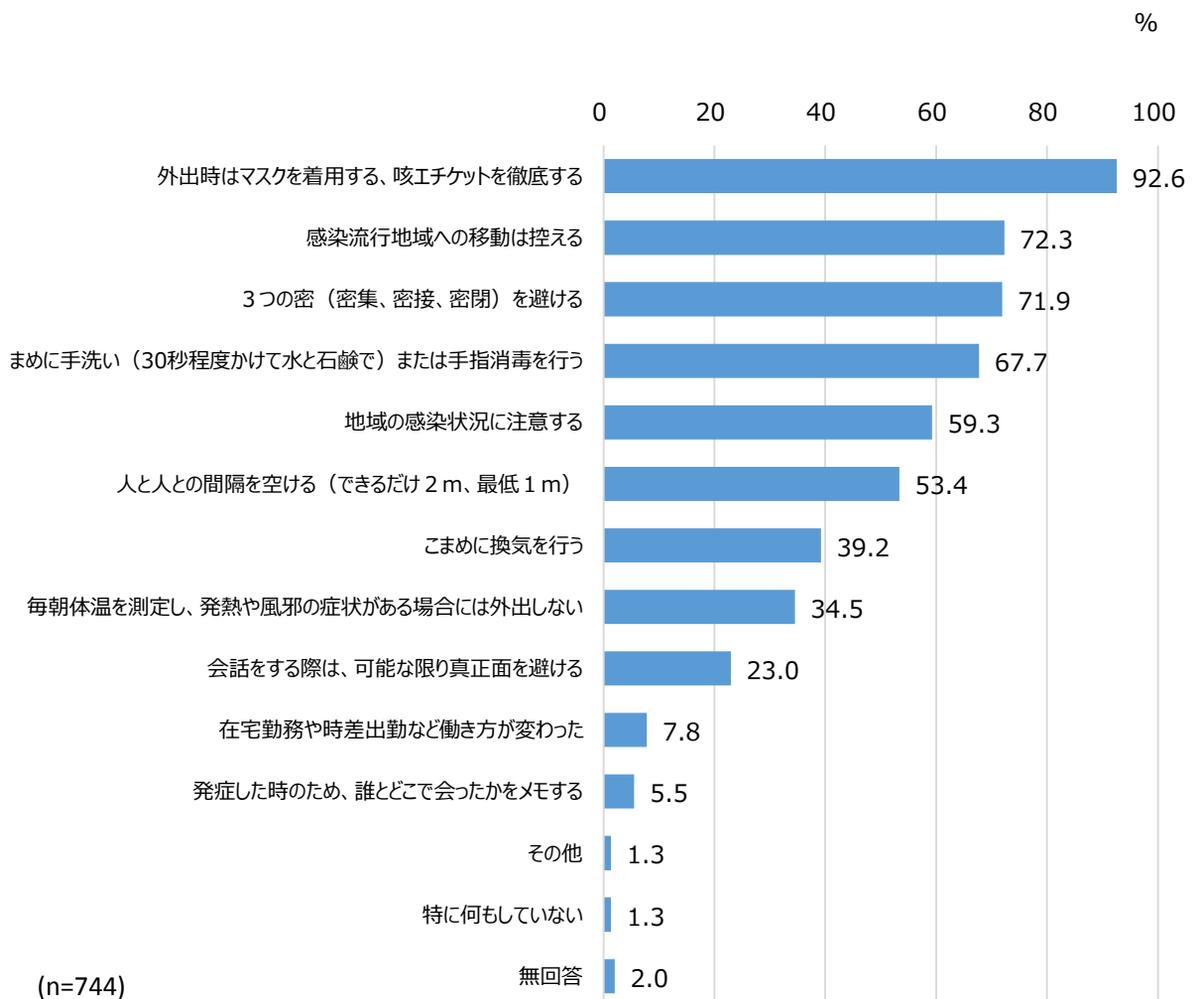


8. 新型コロナウイルス感染症について（新しい生活様式）

問47 新型コロナウイルス感染症拡大防止には基本的な感染症対策や「新しい生活様式」の実践が重要ですが、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

- 「新しい生活様式」の実践で取り組んでいることについては、「外出時はマスクを着用する、咳エチケットを徹底する」が92.6%で最も多く、次いで「感染流行地域への移動は控える」が72.3%、「3つの密（密集、密接、密閉）を避ける」が71.9%などが続いています。
- 「在宅勤務や時差出勤など働き方が変わった」は7.8%となりました。

「新しい生活様式」の実践で取り組んでいること



8. 新型コロナウイルス感染症について（新しい生活様式）

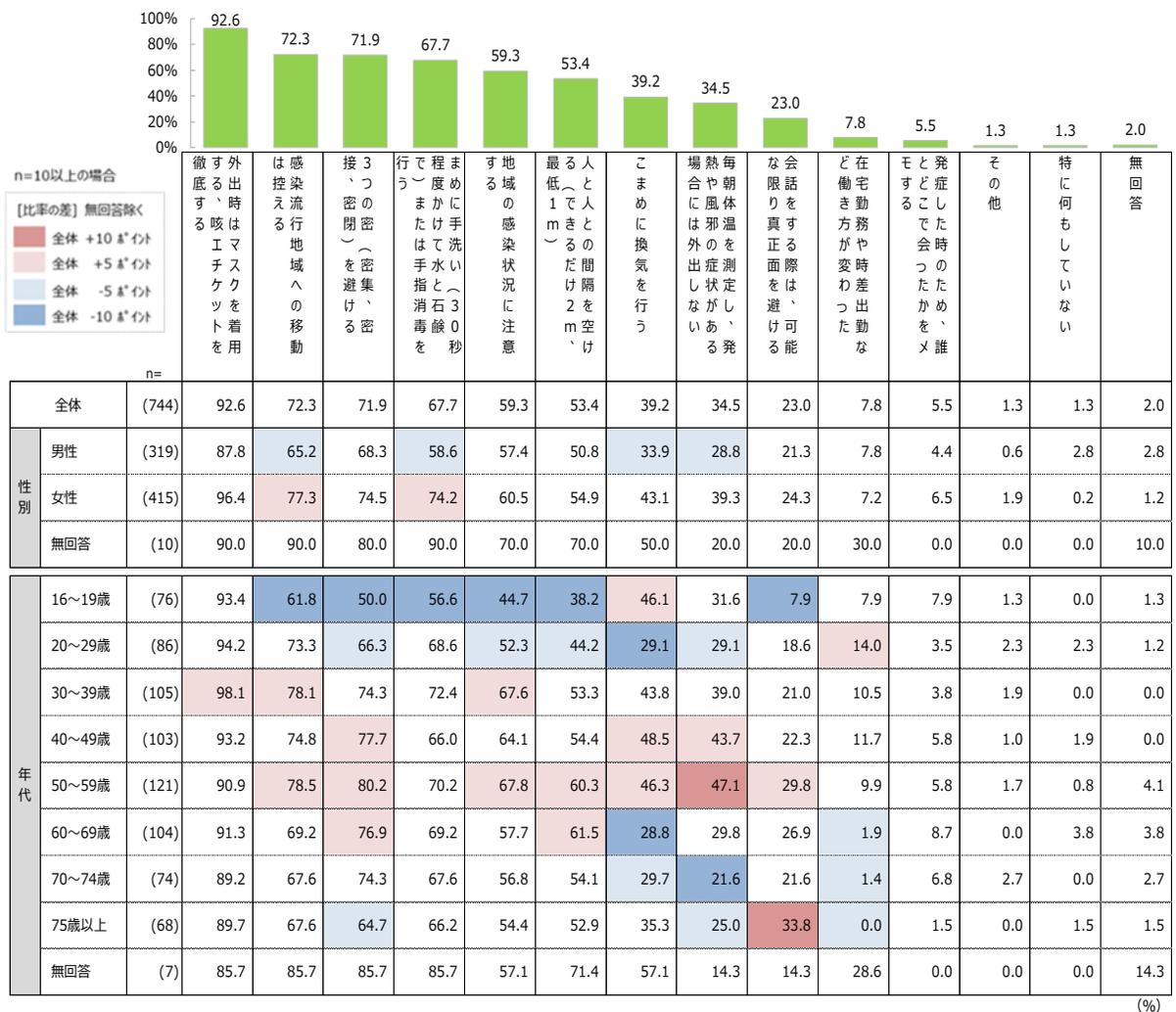
問47 新型コロナウイルス感染症拡大防止には基本的な感染症対策や「新しい生活様式」の実践が重要ですが、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

性別

- 「新しい生活様式」の実践に取り組んでいることを性別で見ると、全体的に女性からの回答が多く、女性の意識が高めであることが窺えます。

年代別

- 年代別で見ると、「16～19歳」では「こまめに換気を行う」を除き、全体的に回答が少なめとなっています。



8. 新型コロナウイルス感染症について（新しい生活様式）

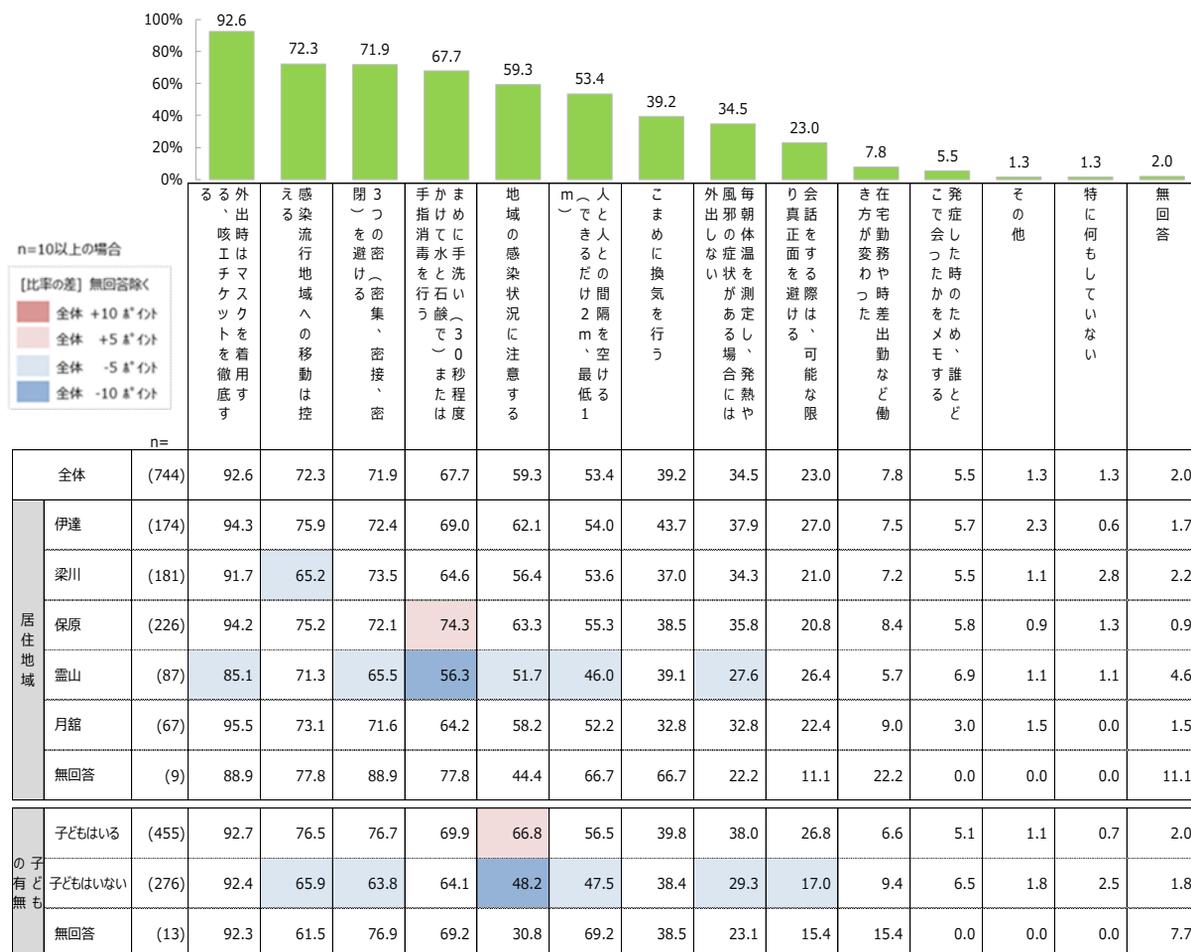
問47 新型コロナウイルス感染症拡大防止には基本的な感染症対策や「新しい生活様式」の実践が重要ですが、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

居住地域別

- 居住地域別で見ると、霊山地域では全体的に回答が少なめとなっています。

子どもの有無別

- 子どもの有無別で見ると、子どもがいる人では「地域の感染状況に注意する」が66.8%と高く、小さな子どもを持つ親の不安の大きさが窺えます。



(%)

令和2年度「まちづくりアンケート調査」報告書
令和2年9月

発行 伊達市

編集 伊達市役所 市長直轄 総合政策課 地域創生係
〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地
TEL : 024-575-1111 (代表)
<https://www.city.fukushima-date.lg.jp/>